止水に生息する種類で、成虫で越冬する。山麓の堰堤及び山中の新たに造られた池などで確認された。

ホソミオツネントンボ　Indolestes peregrinus

止水に生息する種類で、成虫で越冬する。山麓の林道沿いで確認された。

2.1.23.3. カワトンボ科　Calopterygidae

ハグロトンボ　Calopteryx atrata

主として河川の中・下流域に生息する種類であるが、本調査では河川上流域で確認された。

ミヤマカワトンボ　Calopteryx cornelia

流水に生息する種類で、河川上流域で確認された。丹沢山地に見られる流水性種の中では、最も普通に見られるが、西丹沢での記録は少ない。

カワトンボ　Mnais pruinosa costalis

流水に生息する種類で、河川上流域で確認された。一般に山地の渓流には普通に見られるが、西丹沢では確認できない沢があるのは興味深い。なお、本種の分類については未だ諸説入り乱れた状態であり、結論はでていない。ここでは便宜的に亜種ヒガシカワトンボをあてておく。

2.1.23.4. ムカシトンボ科　Epiophlebiidae

ムカシトンボ　Epiophlebia superstes

渓流域に産するが、丹沢では既知産地も少なく、特に西丹沢での記録はほとんどなかった。本種は砂防ダムによる流水の分断の影響を強く受けているのではないかと考えられる。

2.1.23.5. ムカシヤンマ科　Petaluridae

ムカシヤンマ　Tanypteryx preyeri

丘陵地から山地の水のしみだす斜面に幼虫が穴を掘って生息するという、変わった生活史をもつトンボで、県内での記録はごく少ない。

2.1.23.6. サナエトンボ科　Gomphidae

ヤマサナエ　Asiagomphus melaenops

丘陵地の小流などに生息する。

ミヤマサナエ　Anisogomphus maacki

平地から低山地の河川に生息するが、羽化後山頂部に集まる習性がある。成熟するとまた低地に降りる。

アオサナエ　Nihonogomphus viridis

河川中流域に見られるが、全国的にも激減している。

ダビドサナエ　Davidius nanus

河川に広く分布する。

クロサナエ　Davidius fujiama

河川源流域に生息する種類である。これまで記録の少なかった種であるが、丹沢山地には広く分布するものと考えられる。

ヒメクロサナエ　Lanthus fujiacus

河川源流域に生息する種類である。県内での記録は少ない。

オジロサナエ　Stylogomphus suzukii

渓流域に生息する種であるが、産地は限られる。

ヒメサナエ　Sinogomphus flavolimbatus

成虫は河川上流域で活動するが、幼虫は中流で見られることが多い。県内では記録の少ない種である。

オナガサナエ　Onychogomphus viridicostus

中流域に生息するが、県内の記録は少ない。

コオニヤンマ　Sieboldius albardae

河川上流から中流にかけて生息する。丹沢山地の山麓部には広く分布するものと考えられる。

ウチワヤンマ　Ictinogomphus clavatus

池沼に生息する。県内では少ない種である。

2.1.23.7. オニヤンマ科　Cordulegastridae

オニヤンマ　Anotogaster sieboldii

流水に生息する種類で、小川から渓流まで広く生息する。丹沢山地各地で確認された。

2.1.23.8. ヤンマ科　Aeshnidae

サラサヤンマ　Oligoaeschna pryeri

丘陵地の湿地に生息するが、県内では数か所しか記録のない稀種である。

コシボソヤンマ　Boyeria maclachlani

ゆるやかな流れの中小河川に棲息する種類で、山麓の河川で確認された。

ミルンヤンマ　Planaeschna milnei

上流域に広く見られる種類で、山中から山麓の河川で確認された。

アオヤンマ　Aeschnophlebia longistigma

抽水植物の豊富な池沼に生息するが、全国的にも減少著しい種である。県内の記録はこの七沢での採集例を最後に途絶えている。

カトリヤンマ　Gynacantha japonica

止水に生息する種類で、山麓の湿地で確認された。

ヤブヤンマ　Polycanthagyna melanictera

薄暗い池や貯水槽などに発生する。成虫は黄昏活動性が強い。

ルリボシヤンマ　Aeshna juncea

山地の池・湿地・休耕田に見られる。県内ではかつて珍しい種と考えられてい

たが、近年山麓部で発見例が増えている。新たに出現した水域へも早い時期に飛来・定着するようである。丹沢山地には広く分布するものと考えられる。なお、従来西丹沢での記録はなかったが、1995 年 8 月 5 日、高桑によって本種と思われる 2♂が山北町白石沢の堰堤で目撃されている。ただし、これは目撃場所が遠く確実に本種と特定できる記録ではないので参考までに記した。

オオルリボシヤンマ Aeshna nigroflava

本種も近年になって記録が増えた種類で、今のところ厚木市北部から相模湖町にかけての池で発見されている。東沢の池のように新たに造成した池にも飛来するようなので、今後各地の堰堤のたまり水なども調査する必要があろう。

マルタンヤンマ Anaciaeshchna martini

丘陵地の湿地に生息し、本県では休耕田をおもな発生源としている。今回の調査では新たに造成された池への飛来も確認されている。本種も黄昏飛翔性が強い。

ギンヤンマ Anax parthenope julius

県内各地に分布するヤンマであるが、面積の広い池がほとんど存在しない丹沢では、記録も少ない。

クロスジギンヤンマ Anax nigrofasciatus nigrofasciatus

薄暗い池を好むヤンマで、小規模な水域にも生息する。

2.1.23.9. エゾトンボ科 Corduliidae

コヤマトンボ Macromia amphigena amphigena

中小河川に生息する。山麓部には広く分布するものと考えられる。

オオヤマトンボ Epophtalmia elegans

開放的な池に生息する。池のほとんどない丹沢では少ない。

タカネトンボ Somatochlora uchidai

樹陰の多い止水に生息する種類で、小規模な池や湿地で確認された。

2.1.23.10. トンボ科 Libellulidae

ハラビロトンボ Lyriothemis pachygastra

休耕田などの湿地に生息する。

シオカラトンボ Orthetrum albistylum speciosum

止水や緩やかな流水に生息する種類で、尾根から山麓にかけての地域で確認された。

シオヤトンボ Orthetrum japonicum japonicum

谷戸の湿田や湿地などに生息する種類で、山麓の湿地で確認された。

オオシオカラトンボ Orthetrum triangulare melania

止水に生息する種類で、山中の新たに造られた池及び山麓の小規模な池や湿地で確認された。

ヨツボシトンボ Libellula quadrimaculata asahinai

休耕田等の湿地に生息する。県内では 80 年代に一時増加したが、近年減少している。

コフキトンボ Deielia phaon

抽水植物のある池沼に生息する。

ショウジョウトンボ Crocothemis servilia mariannae

止水に生息する種類で、山中の新たに造られた池及び山麓の小規模な水たまりで確認された。

アキアカネ Sympetrum frequens

止水に生息する種類で、尾根部から山麓で確認された。初夏に平地で羽化後、未熟な時期を山岳地帯ですごし、秋になるとふたたび平地に戻るという生活史をもっている。

ナツアカネ Sympetrum darwinianum

山麓の水田に生息する。

マユタテアカネ Sympetrum eroticum eroticum

山麓の水田や湿地などに生息する。

ヒメアカネ Sympetrum parvulum

山麓の水田や湿地に生息するが、産地は限られる。

ミヤマアカネ Sympetrum pedemontanum elatum

池や湿地、河原などで確認された。

ノシメトンボ Sympetrum infuscatum

低地の止水に生息する種類で、かなり移動を行うことで知られている。沢沿いの林道や池・湿地で確認された。

コノシメトンボ Sympetrum baccha matutinum

県内では北部を分布の中心とする種で、一般に個体数は少ないが調査地域に隣接する愛川町・相模原市などには多産する。今回の調査では山中、山麓の池や湿地、水田などで確認された。

リスアカネ Sympetrum risi risi

一般に樹陰の多い池に生息する種類で、山麓の比較的小規模な止水で確認された。

キトンボ Sympetrum croceolum

晩秋にあらわれるアカトンボで、水質の良い池に生息する。県内でも減少著しく、近年の記録はほとんどない。

ネキトンボ Sympetrum speciosum speciosum

丘陵地から山地にかけての池に見られ、造成直後の池など新しい環境への進出も早い種である。また、羽化後は一時池を離れて尾根筋の見晴らしの良い場

所に集まる習性がある。今回の調査でも山麓部各地の池及び尾根部で確認された。

コシアキトンボ　Pseudothemis zonata

樹陰のある池を好み、水質汚染にも強い種である。

チョウトンボ　Rhyothemis fuliginosa

環境の良い池沼に生息するが、ときおり意外な場所でも移動個体と思われるものが見られることがある。偶産と考えられる 2 例のみ。

ウスバキトンボ　Pantala flavescens

非常に移動力が強い種で世界中の温暖な地域ならどこでも見られる種である。特に盛夏から初秋のころには多数の群飛を見る機会が多い。

2.1.24. カゲロウ類

2.1.24.1. コカゲロウ科　*Baetidae*

ミジカオフタバコカゲロウ属の 1 種　Acentrella sp.

小型のコカゲロウ(約 1.5mm)で、中胸前縁が上に大きく膨らんでいる。幼虫は不詳である。

フタバコカゲロウ　Baetiella japonica

日本に広く分布するコカゲロウで、幼虫は流速の速い石の表面に生息する。

サホコカゲロウ　Baetis sahoensis

比較的有機汚染に強い種で、相模川の本流では春から秋にかけて幼虫がよくみられる。

シロハラコカゲロウ　Baetis thermicus

渓流でよくみられる種であり、幼虫は流速の速い川底の石の表面に生息する。丹沢では幼虫は垂直な砂防堰堤上でしばしば採集された。本流では秋から冬にかけてよく見られる。

コカゲロウ属の 1 種　Baetis sp.F

小林(1987)の整理番号によった。シロハラコカゲロウによく似ていて、上流域の緩やかな流れに生息する。

コカゲロウ属の 1 種　Baetis sp.G

小林(1987)の整理番号によった。幼虫はコカゲロウ属のなかでも大型で細長く、湧水の流れによくみられる。

フタバカゲロウ　Cloeon dipterum

緩やかな流れの水際、湖沼などでみられる。一般に渓流では少ないようで、湧水から得られた。

2.1.24.2. ヒメフタオカゲロウ科　*Ameletidae*

マエグロヒメフタオカゲロウ　Ameletus costalis

山地渓流に普通で、早春に羽化するヒメフタオカゲロウである。丹沢では、成

虫は3・4月に採集された。

ヒメフタオカゲロウ　Ameletus montanus

山地渓流に普通で、初夏に羽化するヒメフタオカゲロウである。丹沢では、成虫は5・6月に多く採集された。

ヒメフタオカゲロウ属の1種　Ameletus sp.1

マエグロヒメフタオカゲロウ Ameletus costalis によく似ているが、雄交尾器が異なり、大型である。山地渓流に普通で、早春に羽化する。丹沢では、成虫は 3・4月に採集された。

ヒメフタオカゲロウ属の1種　Ameletus sp.2

中型(約 10mm)のヒメフタオカゲロウである。現在まで、日本では秋に採集されたヒメフタオカゲロウの例はない。原小屋沢で11月に採集された。

2.1.24.3. ガガンボカゲロウ科　Dipteromimudae

ガガンボカゲロウ　Dipteromimus tipuliformis

日本特産種で1科1属1種。本州中部以南から琉球列島にかけて分布し、幼虫の生息場所は森林内の小流である。丹沢では、山地渓流の枝沢で採集された。現在までの記録では、分布の東限に当たる。なお、石綿、野崎(1980)、石綿(1981a)は酒匂川、金目川に本種の分布記録をあげているが、コカゲロウ属 Baetis spp.の誤同定である。

2.1.24.4. オフタオカゲロウ科　Sphlonuridae

オオフタオカゲロウ　Siphlonurus binotatus

中下流の水質のやや汚染された水域に分布する種である。丹沢では採集例が少ない。

ナミフタオカゲロウ　Siphlonurus sanukensis

上中流に分布する種である。丹沢では中流域で採集された。

ヨシノフタオカゲロウ　Siphlonurus yoshinoensis

上中流に分布する種である。丹沢では上流域で採集されているが、中流の岡田でも採集された。成虫は6・7月に採集された。

2.1.24.5. チラカゲロウ科　Isonychiidae

チラカゲロウ　Isonychia japinoca

北海道から沖縄に分布し、年2世代(5・6月,9・10月)である。しかし、沖縄の分布は疑問視される。神奈川県内での分布は広い。

2.1.24.6. ヒラタカゲロウ科　Heptageniidae

オビカゲロウ　Bleptus fasciatus

日本の固有種とあるが、韓国からの報告がある。カゲロウ幼虫のなかで特異な場所に生息するヒラタカゲロウで、小谷や滝など水の飛沫を浴びる石上にはい上がって生活する。丹沢では、本川や支川の源流部で採集された。境川のような低

標高の丘陵地帯の源流部にも生息している。

ミヤマタニガワカゲロウ属の1種　Cinygmula sp.1

胸部側面に黒班がある。ミヤマタニガワカゲロウ Cinygmula hirasana の成虫と思えるが詳細は検討していない。

ミヤマタニガワカゲロウ属の1種　Cinygmula sp.2

胸部側面に黒班がない。雄交尾器も前種とは異なる。

キブネタニガワカゲロウ　Ecdyonurus kibunensis

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流の石レキ底に生息し、成虫は初夏に羽化する(年 1 世代)。しかし、雄交尾器の形態からこの成虫と思われるものが相模川下流域で初夏に、また、上流域で初冬に採集された。

シロタニガワカゲロウ　Ecdyonurus levis

日本に広く分布する普通種で、河川の中下流の流れの緩やかな川岸のレキ下、湖沼の湖岸に分布し、5･6月に羽化する(年1世代)。後で述べるタニガワカゲロウ属の1種Ecdyonurus sp.1と混同されている可能性が高い。丹沢では成虫は4月から 9 月に採集され中下流に多い。以前、使われていた学名 Ecdyonurus yoshidae は Bae et al.(1994)によって標記学名に変更されている。

マダラタニガワカゲロウ　Ecdyonurus tigris

日本に広く分布する普通種で、山地渓流に生息し、晩秋から初夏に羽化する(年1世代)。丹沢では成虫は9･10月に採集された。

クロタニガワカゲロウ　Ecdyonurus tobiironis

日本に広く分布し、山地渓流に生息し、4･5 月に羽化する(年 1 世代)。丹沢では幼虫は枝沢の緩やかな流れで採集された。

タニガワカゲロウ属の1種　Ecdyonuras sp.1

前種に酷似している。成虫の胸部側面に黒班がない。丹沢では成虫は 6 月から9月に採集され上中流部に多い。

タニガワカゲロウ属の1種　Ecdyonuras sp.2

キブネタニガワカゲロウの幼虫によく似ている。雄交尾器が異なる。丹沢では成虫は5月から11月に採集された。

キイロヒラタカゲロウ　Epeorus aesculus

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流の急流の石の表面に生息する。丹沢では成虫は5月から7月に採集された。

ユミモンヒラタカゲロウ　Epeorus curvatulus

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流の激流部に生息するといわれているが、山崎(1987)の多摩川の報告では中速流に生息する。丹沢では成虫は6月から10月まで採集された。

オナガヒラタカゲロウ　Epeorus hiemalis

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流の激流部に生息する。晩秋に羽化する(年 1 世代)。

ナミヒラタカゲロウ　Epeorus ikanonis

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流の激流部に生息する。早春に羽化する(年 1 世代)。

エルモンヒラタカゲロウ　Epeorus latifolium

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流に広く分布する普通種で、晩春から初夏、初秋から晩秋に羽化する(年 2 世代)。後で述べるヒラタカゲロウ属の 1 種 Epeorus sp.2 によく似ていることから、これら 2 種は混同されている可能性が高い。丹沢では成虫は 5 月から 7 月と 9 月から 11 月に採集された。

タニヒラタカゲロウ　Epeorus napaeus

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流に生息する。早春に羽化する(年 1 世代)。群飛が渓流上部の橋上や渓流脇の林道で確認された。

ウエノヒラタカゲロウ　Epeorus uenoi

日本に広く分布し、幼虫は山地渓流の激流部に生息し、春と秋に羽化する(年 2 世代)。神奈川県では山地から平地まで広く分布している。丹沢では成虫は 5 月から 9 月に採集された。

ヒラタカゲロウ属の 1 種　Epeorus sp.1

Imanishi(1941)は、本種とユミモンヒラタカゲロウ Epeorus curvatulus を比較して、両種の体型や体色の違いが連続的であるとし、本種をひとつの型"form"と判断じたが、Epeorus curvatulus cumulus として扱い区分している。Imanishi(1941)は型"form"と明記している以上命名規約の管理外におくべきであろう。竹門(1990)は分布域、羽化期の違いから別種であると推定しているが、雄交尾器、成虫の翅色、斑紋が異なることなどから明らかに別種である。丹沢では、幼虫がオビカゲロウと同所的に生息することがしばしば確認され、小谷や滝など水の飛沫を浴びる石上に生息する。このほか砂防堰堤などにも幼虫の生息が確認された。

ヒラタカゲロウ属の 1 種　Epeorus sp.2

エルモンヒラタカゲロウ Epeorus latifolium によく似ており、前翅の基部に Z 字状の黒斑があるが、複眼がより大きい。また、雄交尾器も異なる。全国に広く分布しており、山地渓流に普通である。丹沢では成虫は 5 月から 9 月に採集された。

キハダヒラタカゲロウの 1 種　Heptagenia sp.

キョウトキハダヒラタカゲロウ Heptagenia kihada に似ているが、雄交尾器および模様が異なる。胸部から腹部にかけて側面に一対の黒線が走るのが大きな特徴である。相模川本流から採集された。幼虫は不明。丹沢では成虫は 5 月から 7 月に採集された。

ヒメヒラタカゲロウ　Rhithrogena japonica

日本に広く分布する普通種で幼虫は上中流の早瀬に生息し、中春から晩春にかけて羽化する(年 1 世代)。丹沢では成虫は 4 月から 11 月に採集された。

ミナズキヒメヒラタカゲロウ　Rhithrogena minazuki

日本に広く分布する種で幼虫は上流域の急流に生息し、初夏から夏にかけて羽化する。丹沢で成虫が 6 月から 11 月に採集された。

サツキヒメヒラタカゲロウ　Rhithrogena　satsuki

日本に広く分布する種で幼虫は上流域の急流に生息し、春から初夏にかけて羽化する(年 1 世代)。丹沢で成虫が 5 月から 11 月に採集された。

2.1.24.7. トビイロカゲロウ科　Leptophlebiidae

ヒメトビイロカゲロウ　Choroterpes trifurcata

本属は日本産 1 種のみ。幼虫は中下流域の流れの緩い川岸に生息し、晩春から夏に羽化する。

ナミトビイロカゲロウ　Paraleptophlebia chocolata

中春に羽化する広域性の種であり、丹沢で成虫が 4 月から 6 月に採集された。

ウェストントビイロカゲロウ　Paraleptophlebia westoni

寒地性の種とされているが、神奈川県では今回丹沢で採集されている他、横浜での記録や三浦半島など他の丘陵地帯でも採集されており一般的な種といえる。幼虫は流量の少ない枝沢で採集される場合が多い。丹沢で成虫が 8･10･11 月に採集されたが、三浦半島などの丘陵地帯では成虫は春先に羽化する。なお、御勢(1962)の Paraleptophlebia sp.PA および Ueno(1928)および今西(1940)の Paraleptophlebia cincta?はこの幼虫と思われる。

トビイロカゲロウ属の 1 種　Paraleptophlebia sp.

緩やかな流れのある渓流の付近で採集された。幼虫は不明である。

2.1.24.8. モンカゲロウ科　Ephemeridae

フタスジモンカゲロウ　Ephemera japonica

日本に広く分布し、河川上中流部の砂泥底に生息する。夏より晩夏に成虫が羽化する(年 1 世代)。丹沢では上流から中流にかけて広く分布しており、成虫が 5 月から 10 月に採集された。

トウヨウモンカゲロウ　Ephemera orientalis

日本に広く分布し、幼虫は河川の下流部や湖沼の砂泥底に生息する。生活環については、香川県の葛谷川では、終令幼虫が 4 月から 7 月および 9 月から 10 月に出現することから、年 2 世代と推定している。また、京都市内を流れる琵琶湖疏水では、8 月以降連続して羽化がみられるという。丹沢では相模川の本流および酒匂川の一部で採集された。震生湖からの報告がある。

モンカゲロウ　Ephemera strigata

日本に広く分布し、河川の中下流部に生息する。晩春に羽化する(年 1 世代)。

丹沢では相模川の本流および酒匂川の一部で採集された。

2.1.24.9. シロカゲロウ科　*Polymitarcyidae*

オオシロカゲロウ　Ephoron shigae

本州、四国、九州に分布する。幼虫の生活型は堀潜型で、早瀬の石の下の砂泥中に巣穴をつくり生息し、9月中旬に集中羽化する(年1世代)。相模川本川で採集された。

2.1.24.10. カワカゲロウ科　*Potamanthidae*

キイロカワカゲロウ　Potamanthus formosus

日本では広く分布し、神奈川県でも広域に分布する。従来、日本では1属1種で、本種のみが報告されていたが、琵琶湖からもう1種報告されている。幼虫は緩やかな流れの河川や湖沼に生息し、生活形は半掘潜型である。生活環は年1世代で、初夏から中夏に羽化するとしているが、いくつかのコホートの存在を指摘している。

2.1.24.11. マダラカゲロウ科　*Ephemerellidae*

クロマダラカゲロウ　Cincticostella nigra

日本では広く分布し、神奈川県での分布も広い。丹沢では山地に多く、成虫は6月に採集された。次種とよく似ていることから、これら2種は混同されている可能性が高い。幼虫では、本種が腿節上に顆粒状の小突起があること、成虫の羽化期が次種より約1か月遅れることなどで区別できる。

オオクママダラカゲロウ　Cincticostella okumai

北海道、本州、四国、九州に広く分布し、神奈川県でも分布は広い。丹沢では成虫が4月頃採集され、群飛は渓流上や付近の林道周辺でしばしば確認された。

チェルノバマダラカゲロウ　Cincticostella tshernovae

日本に広く分布する種とされているが、中国地方以西北海道までと考えられる。丹沢では中津川の一部でも採集されているが、分布域は狭いようである。前2種同様、トウヨウマダラカゲロウ属に属するが、幼虫、成虫とも区別は容易である。丹沢では幼虫のみ採集されており、成虫の羽化期は不詳であるが、石綿(1989)は4月と推定している。

オオマダラカゲロウ　Drunella basalis

日本産トゲマダラカゲロウ属中、最も大型で、幼虫、成虫とも区別は容易である。日本では九州以西北海道まで広く分布しており、丹沢でも分布域は広い。

フタコブマダラカゲロウ　Drunella bicornis

小型のトゲマダラカゲロウ属で、幼虫のみが記載されている。トゲマダラカゲロウ属の1種Drunella sp.に似ているが、本種の幼虫には後頭部に一対の瘤があることにより容易に区別できる。丹沢では上流域で採集された。

フタマタマダラカゲロウ　Drunella bifurcata

中型のトゲマダラカゲロウ属で、幼虫のみが記載されている。幼虫は次に述べるコオノマダラカゲロウ Drunella kohnoae、ミツトゲマダラカゲロウ Drunella trispina に似ているが、後頭部の長毛の有無、腿節状の顆粒状突起の形態の違いによって区別できる。日本では九州以西北海道まで広く分布している。神奈川県では分布は広い。

ヨシノマダラカゲロウ　Drunella cryptomeria

幼虫、成虫の関連に問題がある種と思える。ここでは御勢(1985)のいう幼虫とその幼虫から羽化させて得た成虫と同じ形態をもつものを本種とした。日本では九州以西北海道まで広く分布しており、神奈川県でも分布は広い。

コオノマダラカゲロウ　Drunella kohnoae

中型のトゲマダラカゲロウ属で、本州(福島県)から幼虫のみが記載されている。そのほか九州、四国からの報告がある。

ミツトゲマダラカゲロウ　Drunella trispina

中型のトゲマダラカゲロウ属で、日本に広く分布している。神奈川県では分布が広く、丹沢では山地渓流で採集された。

トゲマダラカゲロウ属の1種　Drunella sp.

小型のトゲマダラカゲロウ属で、前に述べたフタコブマダラカゲロウ Drunella bicornis に似ているが、本種の幼虫には後頭部に一対の瘤がない。丹沢では中流域で採集された。

シリナガマダラカゲロウ　Ephacerella longicaudata

日本では広く分布するが、丹沢では相模川本流の淵や岸よりの緩流域で採集されており分布域は狭い。この他県内では、芦ノ湖、境川上流および三浦半島の森戸川でも採集されている。日本では1属1種で、本種のみが報告されており、幼虫は緩やかな流れの石レキ底、川岸あるいは湖岸に生息する。3･4 月に羽化する(年1世代)。以前使われていた学名 Acerella longicaudata は Paclt(1994)によって標記学名に変更されている。

アタゴマダラカゲロウ　Ephemerella atagosana

小型のマダラカゲロウ属で、幼虫との関連はついていない。本種は、後で述べるホソバマダラカゲロウ　Ephacerella denticula と同じ種と思われる。灯火で採集された。

ツノマダラカゲロウ　Ephemerella cornuta

中型のマダラカゲロウ属で、幼虫のみが記載されているが、模式産地は不詳である。福岡、四国からの報告があり、東北地方にも分布している。淵、岸よりの緩流域で採集された。

ホソバマダラカゲロウ　Ephemerella denticula

中型のマダラカゲロウ属で、本州(栃木県)から幼虫のみが記載されている。福岡、四国からの報告がある。

イマニシマダラカゲロウ　Ephemerella imanishii

小型のマダラカゲロウ属で、幼虫のみが記載されているが、模式産地は不詳である。福岡、四国からの報告がある。淵、岸よりの緩流域で採集された。

イシワタマダラカゲロウ　Ephemerella ishiwatai

小型のマダラカゲロウ属で、幼虫のみが記載されている。模式産地は不詳であるが、筆者の採集した標本に基づき記載されたものと思える。生息域は、下流の水草中にしばしばみられる。福岡にも分布する。

クシゲマダラカゲロウ　Ephemerella setigra

小型のマダラカゲロウ属で、日本の河川の中下流部に広く分布する。神奈川県では分布は広く、丹沢では上流域でも採集された。

マダラカゲロウ属の1種　Ephemerella sp.1

小型のマダラカゲロウ属で、石綿(1989)の未記載種クロヒメマダラカゲロウおよび八田・石綿(1990)の Ephemerella sp.に相当する。幼虫は中下流の緩流域に生息する。本州、四国、九州に分布し、神奈川県でも分布は広いようである。

マダラカゲロウ属の1種　Ephemerella sp.2

小型のマダラカゲロウ属で、石綿(1989)の未記載種キオビマダラカゲロウおよび石綿ほか(1991)の Ephemerella sp.2 に相当する。幼虫は中下流の緩流域に生息する。北海道、本州、四国、九州に分布し、神奈川県でも分布は広いようである。

エラブタマダラカゲロウ　Torleya japonica

小型のエラブタマダラカゲロウ属である。一般に分布範囲は狭いとされているが、神奈川県では分布は広く、丹沢では中流から上流域で採集された。本州中部、四国、福岡県からの報告があるので、日本での分布域は広いようである。

アカマダラカゲロウ　Uracanthella rufa

小型のアカマダラカゲロウ属で、日本に広く分布する。神奈川県では分布は広く丹沢では中下流部で広く採集された。

2.1.24.12. ヒメカゲロウ科　Caenidae

日本産の本科の成虫の記載はない。幼虫が記号で整理されている。

ヒメカゲロウ属の1種　Caenis sp.1

ヒメカゲロウ属の1種　Caenis sp.2

2.2.1.唇脚類

2.2.1.1.ゲジ科　*Scutigeridae*

ゲジ　Thereuonema tuberculata

オオゲジ　Thereuopoda clunifera ☆

2.2.1.2.イシムカデ科　*Lithobiidae*

ダテイッスンムカデ　Bothropolys acutidens

イッスンムカデ　Bothropolys asperatus

トリイイッスンムカデ　Bothropolys curvatus ※

コマイッスンムカデ　Bothropolys richthofeni ※

モモブトイシムカデ　Lithobius pachypedatus

スジイシムカデ　Lithobius sulcipes sulcipes

イシムカデ属の 1 種　Lithobius sp. ※

ダイダイヒトフシムカデ　Monotarsobius elegans

ホルストヒトフシムカデ　Monotarsobius holstii

ヒトフシムカデ属の 1 種　Monotarsobius sp.(No.1) ※

ヒトフシムカデ属の 1 種　Monotarsobius sp.(No.2) ※

ゲジムカデ　Esastigmatobius japonicus

ゲジムカデ属の 1 種　Esastigmatobius sp. ※

2.2.1.3.トゲイシムカデ科　*Henicopidae*

ニホントゲイシムカデ　Lamyctes guamus koshiyamai

2.2.1.4.オオムカデ科　*Scolopendridae*

トビズムカデ　Scolopendra subspinipes mutilans ☆

アオズムカデ　Scolopendra subspinipes japonica

2.2.1.5.メナシムカデ科　*Cryptopidae*

ニホンメナシムカデ　Cryptops japonicus

スジメナシムカデ　Cryptops striatus ☆

ケアカムカデ　Scolopocryptopus elegans ☆

ヨスジアカムカデ　Scolopocryptops quadristriatus

セズジアカムカデ　Scolopocryptops rubiginosus

アカムカデ　Scolopocryptops nipponicus ☆

オガワアカムカデ　Scolopocryptops ogawai ※

ムサシアカムカデ　Scolopocryptops musashiensis ※

2.2.1.6.オビジムカデ科　*Himantariidae*

ヨシヤジムカデ　Californiphilus japonicus

2.2.1.7.マツジムカデ科　*Schendylidae*

イガラシエスカリジムカデ　Escaryus igarashii

チチブエスカリジムカデ Escaryuschi chichibuensis ☆

2.2.1.8. *ナガズジムカデ科 Mecistocephalidae*

ヒロズジムカデ Dicellophillus latifron

ニホンナガズジムカデ Mecistocephalus japonicus ☆

ニブズジムカデの 1 種 Nodocephalus sp. ※

ツメジムカデ Prolamnonyx holstii

2.2.1.9. *ツチムカデ科 Geophilidae*

スミジムカデ属の 1 種 Brachygeophilus sp. ☆

ツチムカデ属の 1 種 Geophilus sp.(No.1) ☆

ツチムカデ属の 1 種 Geophilus sp.(No.2) ☆

ヨコジムカデ Pleurogeophilus procerus

ツメナシミドリジムカデ Cheiletha macropalpus

ヒトアナミドリジムカデ Cheiletha monoporus ☆

フチケミドリジムカデ Cheiletha trichochila

ミドリジムカデ Cheiletha viridicans

ヤマトベニジムカデ Strigamia martitima japonica

カチベニジムカデ Strigamia transsilvanica ※

ツツヅメベニジムカデ Strigamia alokosternum

ホソヅメベニジムカデ Strigamia tenuiungulata ☆

ベニジムカデ属の 1 種 Strigamia sp. ※

2.2.1.10. *タマヤスデ科 Glomeridae*

ヤマトタマヤスデ Hyleoglomeris japonica ☆

タマヤスデ属の 1 種 Hyleoglomeris sp.(No.1) ※

タマヤスデ属の 1 種 Hyleoglomeris sp.(No.1) ☆

2.2.1.11. *イトヤスデ科 Hirudisomatidae*

イトヤスデ Orsiboe ichigomensis ☆

イトヤスデの 1 種 Orsiboe sp.

2.2.1.12. *ヒラタヤスデ科 Platydesmidae*

ヒラタヤスデ Brachycybe nodulosa

アカヒラタヤスデ Symphyopleurium hirsutum ☆

2.2.1.13. *カザアナヤスデ科 Nemasomatidae*

カザアナヤスデ属の 1 種 Antrokoreana sp. ※

ヨシダヒメヤスデの 1 種 Yosidaiulus sp.(No.1) ※

ヨシダヒメヤスデの 1 種 Yosidaiulus sp.(No.2) ※

2.2.1.14. *コウライホタルヤスデ科 Mogoliulidae*

ホタルヒメヤスデ Kopidoiulus caecus ※

リュウガヤスデ属の 1 種　Skleroprotopns sp.

コウライホタルヤスデ科の 1 属　Mongoliulidae gen. ※

2.2.1.15. クロヒメヤスデ科　*Parajulidae*

クロヒメヤスデ　Karteroiulus niger

2.2.1.16. ヒメヤスデ科　*Julidae*

シマフジヤスデ　Anaulaciulus quadratus

フジヤスデ属の 1 種　Anaulaciulus sp. ※

2.2.1.17. ミコシヤスデ科　*Diplomaragnidae*

ミヤコヤスデ属の 1 種　Syntelopodeuma sp.

フトケヤスデ　Tokyosoma takakuwai

2.2.1.18. ババヤスデ科　*Xystodesmidae*

ニクイロババヤスデ　Parafontaria acutidens

アマビコヤスデ属の 1 種　Rhysodesmus sp. ☆

タカクワヤスデ　Xystodesmus martensii

2.2.1.19. ヤケヤスデ科　*Paradoxosmatidae*

モリヤスデ　Haplogonosoma silvestre silvestre

アカヤスデ　Nedyopus tambanus tambanus

ウマガエシアカヤスデ　Nedyopus tambanus mangaesinus ※

ヤケヤスデ　Oxidus gracilis ☆

2.2.1.20. オビヤスデ科　*Polydesmidae*

イエゲルオビヤスデ　Epanerchodus jaegerskioeldi jaegerskioeldi ※

フジオビヤスデ　Epanerchodus mammillatus

ナナメオビヤスデ　Epanerchodus obliquitruncatus ☆

ヒガシオビヤスデ　Epanerchodus orientalis

オビヤスデ属の 1 種　Epanerchodus sp.(No.1) ※

オビヤスデ属の 1 種　Epanerchodus sp.(No.2)

2.2.1.21. タメトモヤスデ科　*Doratodesmidae*

ウチカケヤスデ　Eucondylodesmus elegans

2.2.1.22. シロハダヤスデ科　*Cryptodesmidae*

ケナガシロハダヤスデ　Kiusiunum longisetum

シロハダヤスデ属の 1 種　Kiusiunum sp. ☆

マクラギヤスデ　Niponia nodulosa

2.2.1.23. ハガヤスデ科　*Pyrgodesmidae*

ハガヤスデ　Ampelodesmus granulosa ☆

ハガヤスデ属の 1 種　Ampelodesmus sp.

オオギヤスデ　Cryptocorypha japonica ※

キレコミヤスデ　Rhipidopeltis sinuata ☆

2.3.丹沢山地のクモ類

2.3.1.1.カネコトタテグモ科　Antrodiaetidae

カネコトタテグモ　Antrodiaetus roretzi

山麓から山地にかけて生息。崖地に横穴を掘って住居を作り、入口に両開きの扉をつける。

2.3.1.2.トタテグモ科　Ctenizidae

キシノウエトタテグモ　Latouchia typica

都市型のクモで、神社、寺院の境内、公園等に多い。平らな地面に縦穴を掘り(崖地に作る場合もある)、入口に 1 枚扉をつける。

キノボリトタテグモ　Ummidia fragaria

サクラ、エノキ、クス等の樹皮面に住居を作り、入口に 1 枚扉をつける。

2.3.1.3.ジグモ科　Atypidae

ジグモ　Atypus karschi

平地から山地まで広く分布している。

2.3.1.4.ハグモ科　Dictynidae

ネコハグモ　Dyctyna felis

都市型のクモで人家の周囲に多い。窓枠、壁、塀、庭木の葉上等にボロ網を張る。葉上に張られた網に天幕を付ける個体もある。

ヒナハグモ　Dyctyna foliicola

カレハグモ　Lathys humilis

平地から山地にかけて生息。樹皮上、スギ、ヒノキなどの葉上にボロ網を張る。

キイロカレハグモ　Lathys puta

ムツメカレハグモ　Lathys sexoculata

2.3.1.5.ガケジグモ科　Amaurobiidae

ヤマトガケジグモ　Titanoeca albofasciata

河原の石の間、石垣などにボロ網を張る。

セスジガケジグモ　Amaurobius flavidorsalis

樹木の表面に大型のボロ網を張る。

2.3.1.6.ウズグモ科　Uloboridae

オウギグモ　Hyptiotes affinis

山麓部の林縁、林内に生息する。三角形の扇網を張る。

マネキグモ　Miagrammopes orientalis

平地部の林から山地にかけて広く生息。

トウキョウウズグモ　Octonoba sinensis

都市型のクモ。人家の周囲に多い。

ウズグモ　Octonoba varians

山地の崖地、下草の間等に水平円網を張る。

カタハリウズグモ　Octonoba sybotides

平野部から山地まで広く生息。崖地、岩垣のすき間、下草の間等に水平円網を張る。

エゾウズグモ　Octonoba yesoensis

山麓から山地にかけて生息する。上記3種とも同一環境に生息するため同定はきわめて難しい。網は直径 7〜15cm の水平円網(絹糸帯円網)で、網の中心部に渦巻状または直線状のカクレオビを付ける。

2.3.1.7. チリグモ科　*Oecobiidae*

チルグモ　Oecobius annulipes

屋内性のクモ。天井や壁の隅、石塀の隅、窓枠等に小さな天幕状の網を張る。

2.3.1.8. エンマグモ科　*Segestriidae*

ミヤグモ　Ariadona lateralis

平地から山麓まで生息する。スギ、ヒノキ等の樹皮の割れ目、神社や寺院等の建物の柱や塀等の割れ目に 3〜5cm ほどの管状の住居を作り、入口から放射状に多数の受信糸を引く。

コマツエンマグモ　Segestria nipponica

山麓に生息する。習性は全種と同じ。

2.3.1.9. タマゴグモ科　*Oonopidae*

ナルトミダニグモ　Ischnothyreus narutomii

山麓の落葉、土壌中に生息する。

シャラクダニグモ　Opopaea sharakui

全国的にみても採集記録は少ない。草上を徘徊するが詳しい習性は不明。

オキツハネグモ　Orchestina okitsui

屋内性のクモであるが、丹沢では屋外に多く採集される。

アカハネグモ　Orchestina sanguinea

山麓に生息する。葉上を歩きまわって微小昆虫を捕える。

2.3.1.10. ヤギヌマグモ科　*Telemidae*

ヤマトヤギヌマグモ　Telema nipponica

洞穴性のクモであるが、丹沢では山地の落葉、土壌中に生息する。シート網を張り、トビムシ等の微小昆虫を捕食する。

2.3.1.11. マシラグモ科　*Leptonetidae*

ヨウザワマシラグモ　Leptoneta musculina

山麓の落葉、土壌、地中のすき間、モグラやネズミの穴などにシート網を張る。

ヨコフマシラグモ　Leptoneta striata

山麓に生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.12. ヤマシログモ科　Scytodidae

ユカタヤマシログモ　Scytodes thoracicus

平地性のクモ。屋内外の暗所に生息し、近くを通りかかる昆虫、クモ等を捕える。口(上顎の先端)から瞬時に粘液を射出し、投網状に獲物にかぶせる。

2.3.1.13. ユウレイグモ科　Pholcidae

ユウレイグモ　Pholcus crypticolens

山麓に生息する。崖地のくぼみ、石垣等に不規則網を張る。

イエユウレイグモ　Pholcus phalangioides

都市型のクモ。屋内の暗所に不規則網を張る。神社、寺院の周囲にも見られる。

アケボノユウレイグモ　Spermophora akebona

洞穴性のクモであるが、丹沢では山地の湿った岩場や崖地に生息する。不規則網を張り、クモは岩面に張りつくように静止している。

シモングモ　Spermophora senoculata

都市型のクモ。屋内の暗所に不規則網を張る。壁の隅、ソファーの下、植木鉢のわき等に小さな網を張る。

2.3.1.14. ヒメグモ科　Theridiidae

ツリガネヒメグモ　Achaearanea angulithorax

山麓に生息する。崖地、石垣、樹木の根元等に、土、砂、枯葉等を吊して釣鐘状の住居を作り、その下に不規則網を張る。獲物は主にアリが多い。

カグヤヒメグモ　Achaearanea culicivola

山麓に生息する。樹木の枝に不規則網を張り、中心に占座している。

オオヒメグモ　Achaearanea tepidariorum

都市部から山地まで広く生息する。家の内外に多く、部屋の隅、縁の下、軒下等に不規則網を張り上部に占座する。野外では崖地、石垣等に生息する。日本で最も普通に見られるクモである。

ヒザブトヒメグモ　Achaearanea ferrumequinum

ツリガネヒメグモと同じような釣鐘状の住居を作るが、釣鐘を作る土や砂は小粒のものを利用する。南方系のクモで当地が北限となっている。

ヒメグモ　Achaearanea japonica

平地から山地にかけて広く生息する。草間、樹木の葉の間に不規則網を張り、その下にシート網を造る。不規則網の上部には枯葉を吊して住居とする。

コンピラヒメグモ　Achaearanea kompirensis

山麓に生息する。ヒメグモに似ているが、草の間に下部シート網の無い不規則網を張る。

キヨヒメグモ　Achaearanea oculiprominentis

山麓に生息する。下草の間、樹木の枝の間等に不規則網を張る。

オオツリガネヒメグモ　Achaearanea tabulata

山麓に生息する。崖地、石垣等に土、砂、枯葉等を吊して釣鐘状の住居を作る。ツリガネヒメグモ、ヒザブトヒメグモの住居と似ているが、本種が最も大型である。

アジブトヒメグモ　Anelosimus crassipes

平地から山地にかけて広く生息している。樹木の葉裏、枝先等に目の細かい不規則網を張る。

イワワキアシブトヒメグモ　Anelosimus iwawakiensis

山麓に生息する。前種と同じ習慣で、よく似ていることから混同されている可能性がある。

シロカネイソウロウグモ　Argrodes bonadea

平地から山麓にかけて生息している。オニグモ、ジョロウグモ等、円網を張るクモの網の中に侵入し網の主が食べている獲物や食べ残し、あるいは網にかかっている小昆虫を食べている。本種は明瞭な北上傾向を示している。

ビジロイソウロウグモ　Argyrodes cylindratus

山麓に生息する。主にアシナガグモ科の水平円網の中に侵入する。前種と共に北上傾向を示しており、15 年前までは神奈川県内で 1 回採集されているのみであった。

オナガグモ　Argyrodes cylindrogaster

山麓に生息する。樹木の葉や枝の間に数本の糸からなる条網を張る。網には粘性がなく、これを渡って来るクモを捕食する。

チリイソウロウグモ　Argyrodes fissifrons

山麓に生息する。主にクサグモ、コクサグモの網の中で居候生活をする。

フタオイソウロウグモ　Argyrodes fur

平地から山麓にかけて広く生息している。コクサグモ、サラグモ類、ヒメグモ類の網に居候生活する。

ツノナガイソウロウグモ　Argyrodes nipponicus

山麓に生息する。イソウロウグモ類では珍しく不規則網を張ることが知られている。

ヤリグモ　Argyrodes saganus

山麓に生息する。他のクモの網に侵入し、その網の主を捕食する習性がある。

オダカグモ　Chrysso argyrodiformis

山麓に生息する。固体数はきわめて少ない。カシ、ツバキ、アオキ等の葉裏に不規則網を張る。

ホシミドリヒメグモ　Chrysso puncutifera

山麓から山地にかけて広く生息している。広葉樹の葉裏に不規則網を張る。今回の調査では、カラフトオニグモと共に、山麓から蛭ヶ岳山頂まで生息していることが確認され、分布範囲、個体数の両面で最優占種となっている。

コガネヒメグモ Chrysso venusta

山麓から山地にかけて生息している。習性は前種と同じ。

ヤホシサヤヒメグモ Coleosoma octomaculatum

河原、水田に生息している。草の間、葉裏に不規則網を張る。

ボカシミジングモ Dipoena castrata

山麓に生息する。葉上、葉裏、枝の上等で待機し、近くを通りかかるアリにすばやく粘糸をかけて捕える。

アカミジングモ Dipoena chikunii

山麓に生息する。習性等は不明。

キベリミジングモ Dipoena flavomarginata

山麓に生息する。アリを捕える習性がある。

カニミジングモ Dipoena mustelina

山麓から山地まで広く生息している。アリを捕える習性がある。

コアカクロミジングモ Dipoena mulilata

山麓から山地にかけて生息する。アリを捕える習性がある。

クロミジングモ Dipoena okumae

山麓に生息する。アリを捕える習性がある。

シモフリミジングモ Dipoena punctisparsa

山麓に生息する。前記ミジングモ類がいずれも大型のアリを 1 頭捕えるのに比べて、本種は小型のアリを多数捕える習性がある。

ヤマトコノハグモ Enoplognatha japonica

水田や河原草原に生息する。休耕田の稲株の下部、畔の草間、土の割れ目に不規則網を張る。

カレハヒメグモ Enoplognatha transversifoveata

都市型のクモ。平地から山地にかけて生息する。石垣、人家の塀、石灯籠、樹皮の割れ目等に目の細かい不規則網を張る。

シロタマヒメグモ Enoplognatha margarita

山地に生息する。広葉樹、ササ、ススキ等の葉裏に不規則網を張る。高山性のクモで主に 1000 m以上の高原に出現する。

ヒシガタグモ Episinus affinis

山麓から山地にかけて生息する。樹枝間、草間に多く、2 本糸を引いて、糸の中間点で第 4 脚を後の 2 本に、第 1 脚の前の 2 本をかけて静止している。前脚先の糸の足場との接点には粘球がついており、これにふれたアリを捕食する。

ハラナガヒシガタグモ　Moneta caudifer

山麓から山地にかけて生息する。前種と同じ習性である。

ムラクモヒシガタグモ　Episinus nubilus

山麓から山地にかけて広く生息する。習性は前種と同じ。

ハラダカツクネグモ　Phoroncidia altiventris

山麓から山地にかけて生息する。習性はツクネグモと同じと思われるが確認されていない。

ツクネグモ　Phoroncidia pilula

山麓から山地にかけて生息する。樹枝間(スギが多い)、草間に 1 本の糸を引いてその上端に静止する。糸には粘着力があり、網の役目をしている(条網)。

クロマルイソウロウグモ　Spheropistha melanosoma

平地から山麓にかけて生息する。オオヒメグモの網に侵入し、網の主および卵のうからでてくる子グモを捕食する。南方系の稀産種で、当地が北限になっている。

ゴマダラヒメグモ　Steatoda albomaculata

河原に生息する。石の間にひそみ、不規則網を張る。

ハンゲツオスナキグモ　Steatoda cavernicola

平地から山麓にかけて生息する。崖や石垣の割れ目にトンネル状の住居を作り、そこから不規則網を張り出す。

スネグロオチバヒメグモ　Stemmops nipponicus

平地から山麓にかけて生息する。落葉のすき間、倒木の下のすき間に不規則網を張る。

サトヒメグモ　Theridion adamsoni

平地に生息する。オオヒメグモ、バラギヒメグモ等とヒメグモ科のクモの網に侵入し、網の主を捕食する。都市型のクモで建物の周囲に多い。

バラギヒメグモ　Theridion Chikunii

平地から山地まで広く生息する。木や草の葉裏にひそみ、そこからテント状の不規則網を張り出す。

ヒロハヒメグモ　Theridion latifelium

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

シモフリヒメグモ　Theridion lyricum

山麓から山地にかけて生息する。葉裏に不規則網を張る。

タカネヒメグモ　Theridion nigrolimbatum

山地に生息する。葉裏に不規則網を張る。北方系のクモで 1000 m以上の山地に多く分布している。当地は南限にあたる。

ムナグロヒメグモ　Theridion pinastri

平地から山麓に生息する。葉裏、樹枝間、建物の周囲に目の細かい不規則網を張る。

ギボシヒメグモ　Theridion rapulum

山麓から山地にかけて生息する。葉裏に不規則網を張る。

ムナボシヒメグモ　Theridion sterninotatum

平地から山地まで広く生息している。他のクモの網に侵入して、網の主を捕食する。ヒメグモ科、サラグモ科のクモがよく攻撃される。

コケヒメグモ　Theridion subadultum

平地から山地にかけて生息する。樹皮面、岩場、石灯籠、樹木の枝葉間等に不規則網を張る。

ハイイロヒメグモ　Theridion subpallens

平地から山地まで生息する。河原の石のすき間に多いが、草間でもよく採集される。

タカユヒメグモ　Theridion takayense

山地から山麓にかけて生息する。葉裏に不規則網を張る。

ユノハマヒメグモ　Theridion yunohamense

山地に生息する。湿った岩場、洞穴の入口付近等に多く不規則網を張る。

コホラヒメグモ　Nesticus brevipes

山麓から山地に生息する。落葉のすき間、倒木や石の下のすき間に不規則網を張る。

チビホラヒメグモ　Nesticus mogera

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.15. センシュウグモ科　Mimetidae

センシュウグモ　Ero japonica

山麓から山地にかけて生息する。他のクモの網に侵入して網の主を捕食する。

ハラビロセンシュウグモ　Mimetus japonicus

山麓に生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.16. サラグモ科　Linyphiidae

コサラグモ　Aprifrontalia mascula

山麓から山地にかけて生息する。草間より採集されるが、習性は不明。

タマヤマサラグモ　Arcuphantes tamaensis

山地に生息する。岩のすき間、洞穴内、下草の地表付近にシート網を張る。

ザラアカムネグモ　Asperthorax communis

山麓から山地にかけて生息する。落葉、土壌のすき間にシート網を張る。

テナガグモ　Bathyphantes orientis

平地から山麓にかけて生息する。水田の下草間、落葉中にシート網を張る。

クロテナガグモ　Bathyphantes robustus

山地に生息する。岩場、石垣のすき間、河原の石の下等にシート網を張る。

タテヤマテナガグモ　Bathyphantes tateyamaensis

平地から山麓にかけて生息する。落葉、土壌中のほか、草間からも採集される。

ナラヌカグモ　Dicornua naraensis

山麓に生息する。

ハラジロムナキグモ　Diplocephaloides saganus

平地から山地まで広く生息している。水田の下草間、草原、山道の草の間にシート網を張る。

デーニッツサラグモ　Doenitzius peniculus

平地から山麓にかけて生息する。河原の崖地のくぼみ、下草の間にシート網を張る。

コデーニッツサラグモ Doenitzius pruvus

平地から山麓にかけて生息する。落葉、土壌のすき間、樹木の根元付近、崖地等にシート網を張る。

コトヒザグモ　Erigone lila

原記載以降 90 年間で 3 回の記録しか無いため、生息環境、分布状況不明。

ノコギリヒザグモ　Erigone prominens

平地に生息する。詳しい生態は不明。

ナニワナンキングモ　Erigonidium naniwaense

平地に生息する。落葉、土壌のすき間にシート網を張る。

ハシグロナンキングモ　Erigonidium nigriterminorum

山麓から山地にかけて生息する。草間より採集されるが生態は不明。

ハナサラグモ　Floronia bucculenta

山麓から山地にかけて生息する。ササの中、下草の地表より 10～20cm の場所に大型のシート網を張る。

ヤマアカムネグモ　Gnathonarium dentatum

平地に生息する。水田付近の草間、地表近くにシート網を張る。

ニセアカムネグモ　Gnathonarium exiccatum

平地に生息する。習性は前種と同じ。

セムシアカムネグモ　Gnathonarium gibberum

平地に生息する。習性は前種と同じ。

アリマケズネグモ　Gonatium arimaense

平地に生息する。落葉の上、下草の間にシート網を張る。

ヤマトケズネグモ　Gonatium japonicum

平地に生息する。習性は前種と同じ。

クロナンキングモ　Hylyphantes graminicora

平地から山地にかけて生息する。樹木の葉裏、草間から採集される。

アシヨレグモ　Labulla contortipes

山麓から山地にかけて生息する。樹皮のすき間にひそみ、そこからシート網を斜めに張り出す。

キヌキリグモ　Lepthyphates cericeus

山地に生息する。北方系のクモで 1000 m以上の山地に分布している。当地が南限となっている。ササ、下草の間、樹木、草の葉裏にシート網を張る。

ヤセサラグモ　Lepthyphantes japonicus

山麓に生息する。

ノコバヤセサラグモ　Lepthyphantes serratus

山麓に生息する。

ヤガスリサアラグモ　Linyphia albolimbata

山麓から山地にかけて生息する。

コウシサラグモ　Linyphia chathrata

山麓から山地にかけて生息する。

シバサラグモ　Linyphia herbosa

山麓から山地にかけて生息する。

ヘリジロサラグモ　Linyphia oidedicata

平地から山地まで広く生息する。

フタスジサラグモ　Prolinyphia limbatinella

山麓から山地にかけて生息する。スギ、ヒノキの枝葉間、広葉樹の葉裏、下草の間等に浅いドーム網を張る。

アシナガサラグモ　Prolinyphia longipedella

山麓から山地にかけて広く生息する。

シロブチサラグモ　Prolinyphia radiata

平地から山麓にかけて生息する。前種アシナガサラグモが山道の草間に多いのに対して、本種は草原、河原等の開けた場所に生息する。網は深いドーム網である。

コシロブチサラグモ　Prolinyphia marginella

山地に生息する。樹木の枝や葉の間にドーム網を張る。北方系のクモで 1000 m以上の山地に出現する。当地が南限となっている。

ユノハマサラグモ　Prolinyphia yunohamensis

山麓から山地にかけて生息する。林道沿いの樹木の枝の間、草間に浅いドーム網を張る。

ハンモックサラグモ　Neolinyphia angulifera

山地に生息する。林道沿いの樹木の枝葉間にハンモック状の網を張る。

クスミサラグモ　Neolinyphia fusca

山麓から山地にかけて生息する。林道沿い、渓流上等に多く、新芽の出ていない枝先、針葉樹の枝先、枯れ枝等にハンモック網を張る。

ツリサラグモ　Neolinphia japonica

山麓から山地にかけて生息する。生息環境、習性は前種と同じ。深いハンモック網を張り、網の底の部分に背中を上にして静止する。

ムネグロサラグモ　Neolinyphia nigripectoris

山麓から山地にかけて生息する。習性はクスミサラグモと同じ。

クボミケシグモ　Meioneta concava

平地から山麓にかけて生息する。落葉上にシート網を張る。

キアシケシグモ　Meioneta flavipes

本州新記録。生息環境、生態は不明。

クロケシグモ　Meioneta nigra

平地から山麓にかけて生息する。

ナナメケシグモ　Meioneta obliqua

平地から山麓にかけて生息する。

ツノケシグモ　Meioneta projecta

平地から山地にかけて生息する。

ツメケシグモ　Meioneta ungulata

平地から山地にかけて生息する。

ゴカクケシグモ　Meioneta pentagona

平地から山麓にかけて生息する。

ヒロテゴマグモ　Micrargus latitegulatus

山麓から山地にかけて生息する。

チビアカサラグモ　Nematogmus sangunolentus

平地から山地まで広く生息する。落葉上、下草の間等にシート網を張る。

イマダテテングヌカグモ　Oia imadatei

平地から山麓にかけて生息する。

スソグロサラグモ　Ostearius melanopygius

平地から山麓にかけて生息する。

オオイワヤマジコナグモ　Paratapinocyba oiwai

山地に生息する。

アリマネグモ　Solenysa mellotteei

平地から山地まで生息する。

ヨツボシサラグモ　Strandella quadrimacurata

山麓から山地まで広く生息している。広葉樹の葉裏にシート網を張る。

ヒメヨツボシサラグモ　Strandella yaginumai

山地に生息する。習性は前種と同じ。

カナコキグモ　Tapinopa guttata

山地に生息する。崖地、樹木の根元等に袋状網を張る。

ヌカグモ　Tmeticus japonicus

平地から山地にかけて生息する。落葉のすき間、石や倒木の下のすき間にシート網を張る。

コトガリアカムネグモ　Ummeliata angulituberis

平地に生息する。水田に多い。習性は前種と同じ。

トウキョウアカムネグモ　Ummeliata feminea

平地に生息する。水田に多い。習性は前種と同じ。

セスジアカムネグモ　Ummeliata insecticeps

平地に生息する。生息環境、習性は前種と同じ。

オオサカアカムネグモ　Ummeliata osakaensis

平地に生息する。生息環境、習性は前種と同じ。

フタエツノヌカグモ　Walckenaria keikoae

平地から山麓にかけて生息する。

ネングヌカグモ　Walckenaria mira

平地から山麓にかけて生息する。落葉のすき間、地面のくぼみ、石や倒木の下のすき間、芝生等にシート網を張る。

コテングヌカグモ　Walckenaria rulgaris

平地から山麓にかけて生息する。生息環境、習性は前種と同じ。

2.3.1.17. カラカラグモ科　Theridiosomatidae

ヤマジグモ　Ogulnius pullus

平地から山地にかけて生息する。崖地、下草の根元付近に水平円網がくずれたような形の網(立体円網)を張る。

カラカラグモ　Theridiosoma epeiroides

山麓から山地にかけて生息する。山道の下草の根元付近、渓流上の石や岩の間、湿った崖地等に円錐形垂直円網を張る。

ナルコグモ　Wendilgarda sp.

山麓から山地にかけて生息する。渓流の石の間に糸を引き、そこから数ミリ間隔に数本の粘糸を水面におろす。

2.3.1.18. ヨリメグモ科　Anapidae

ヨリメグモ　Conoculus lyugadinus

山麓から山地にかけて生息する。渓流水面上の岩と水面の間に、円網、不規

則網および両方の網が 1 つになったような立体的な網の 3 形式の網を張る。

ヨロイヒメグモ　Comaroma maculosum

平地から山麓にかけて生息する。土壌のすき間に 2〜3 本の糸からなる不規則網を張る。科の所属については問題があるが、とりあえずヨリメグモ科に含めた。

2.3.1.19. コツブグモ科　Mysmenidae

ナンブコツブグモ　Mysmenella jobi

平地から山地まで広く生息する。崖のくぼみ、下草の間に 1.5〜2cm の小型の球状円網を張る。

2.3.1.20. コガネグモ科　Araneidae

ハツリグモ　Acusilas coccineus

平地から山地にかけて広く生息する。地上 10cm 以内の草間にキレ網を張り、中心に枯れ葉を吊してクモはその中にひそむ。

キジロオヒキグモ　Arachnura logio

山麓から山地にかけて生息する。樹木の枝のつけ根付近に多い。その他枝葉間、草間等にキレ網を張り中心に止まる。

キザハシオニグモ　Araneus abscissus

平地から山地にかけて生息する。河原、草原のススキ、アシ等の間に水平円網を張る。

ナカムラオニグモ　Araneus cornutus

平地から山麓にかけて生息する。河原、水田等のイネ科植物の間、橋や建物の周囲に垂直円網を張る。

ヌサオニグモ　Araneus ejusmodi

山麓から山地にかけて生息する。草間に円網を張り、網の一端の葉裏にひそむ。

ヤミイロオニグモ　Araneus fuscocoloratus

山麓から山地にかけて生息する。樹木の枝葉間に垂直円網またはキレ網を張る。

イシサワオニグモ　Araneus ishisawai

山麓から山地にかけて生息する。樹間、草間に大型の垂直円網を張る。

ヤエンオニグモ　Araneus macacus

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ビジョオニグモ　Araneus mitificus

平地から山地にかけて生息する。樹間にキレ網を張り、その一端の葉を少しまるめて天幕を張って住居を作る。

アオオニグモ　Araneus pentagrammicus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

トガリオニグモ　Araneus pseudocentrodes

山麓から山地にかけて生息する。樹間に垂直円網を張り中心に止まる。

マルズメオニグモ　Araneus semilunaris

山麓から山地にかけて生息する。樹間の 2 m以上の所に垂直円網を張る。

マメオニグモ　Araneus sp.

山麓から山地にかけて生息する。樹間に円網を張る。

コケオニグモ　Araneus tartaricus

山麓から山地にかけて生息する。樹間に垂直円網を張る。全国的にみて採集記録は少ない。神奈川県内における採集記録は 1 回。

ツノオニグモ　Araneus tsuno

山地に生息する。樹間、草間に垂直円網を張る。

ヤマオニグモ　Araneus uyemurai

山麓から山地に生息する。樹間に垂直円網を張る。

ニシキオニグモ　Araneus variegatus

山麓から山地にかけて生息する。

オニグモ　Araneus ventricosus

平地から山地まで広く生息している。人家、寺院等の軒先に垂直円網を張る。樹間にも見られる。

カラオニグモ　Araneus viperifer

山麓から山地にかけて生息する。広葉樹の葉の表面または葉間に、垂直あるいは斜めに円網を張る。

ハラビロミドリオニグモ　Araneus viridiventris

山麓から山地にかけて生息する。樹間の 2 m以上の所に垂直円網を張る。

ムツボシオニグモ　Araniella yaginumai

山麓から山地にかけて生息する。広葉樹、クマザサ等の表面または裏側に直径 5～10cm の小さな円網を張る。

コガネグモ　Argiope amoena

平地から山麓にかけて生息する。草原、河原、水田の草間、庭木の間等に大きな垂直円網を張る。

チョウガタコガネグモ　Argiope boesenbergi

山麓から山地にかけて生息する。樹間、草間に垂直円網を張る。

ナガコガネグモ　Argiope bruennichii

平地から山地まで生息する。草間に垂直円網を張る。

コガタコガネグモ　Argiope minuta

平地から山地まで生息する。寺社林内の草間に多く、垂直円網を張る。

ヤマトカナエグモ　Chorizopes nipponicus

平地から山地にかけて生息する。他のクモの網の中に侵入し、網の主を捕食する。コガネグモ科、ヒメグモ科、サラグモ科のクモがよく捕えられる。

ギンメッキゴミグモ Cyclosa argenteoalba

平地から山地にかけて広く生息する。樹間、樹木の枝葉間、草間に垂直円網を張り、中心部に頭を上にして止まる。網の周辺部あるいは網の中央にカクレオビ、ゴミなどを付ける。

カギヅメカラスゴミグモ Cyclosa hamulata

平地から山地にかけて生息する。草間の地表近くに垂直円網を張り、中心に横向き、あるいは斜めに止まる。細い直線状のカクレオビを付ける個体もある。

クマダギンナガゴミグモ Cyclosa kumadai

山地に生息する。習性はギンメッキゴミグモに似るが、ゴミや白い糸を放射状に付けることが多い。

ヤマトゴミグモ Cyclosa japonica

山麓から山地にかけて生息する。樹枝葉間、草間に垂直円網を張り、網にはカクレオビまたはゴミを並べる。

キジロゴミグモ Cyclosa laticauda

山麓から山地にかけて生息する。樹枝葉間、草間に垂直円網を張り、中心部に縦にゴミを並べる。

ヤマゴミグモ Cyclosa monticola

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ゴミグモ Cyclosa octotuberculata

平地から山麓にかけて生息する。庭木の間、生垣などに多い。樹間、樹枝葉間、草間に垂直円網を張り、中心部にゴミを縦に並べる。

オノゴミグモ Cyclosa onoi

平地から山麓にかけて生息する。造網位置は低い。

ヨツデゴミグモ Cyclosa sedeculata

平地から山地まで広く生息している。樹枝葉間、草間に垂直円網を張り、中心部にゴミを縦に並べる。幼体期は渦状にカクレオビを付ける。

トリノフンダマシ Cyrtrachne bufo

平地から山麓にかけて生息する。桑畑、栗林、ススキ原、林縁、林道などの植物の葉裏にひそみ、夕方から夜間にかけて同心円のくずれたような水平円網を張る。主にヤガの類を捕える。

オオトリノフンダマシ Cyrtarachne inaequalis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種に同じ。

ソメワケトリノフンダマシ Cyrtarachne induta

山麓に生息する。習性は前種と同じ。

シロオビトリノフンダマシ　Cyrtarachne nagasakiensis

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

クロトリノフンダマシ　Cyrtarachne nigra

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

アカイロトリノフンダマシ　Cyrtarachne yunoharuensis

山麓に生息する。習性は前種と同じ。

スズミグモ　Cyrtophora moluccensis

平地から山麓にかけて生息する。風通しの良い樹間にドーム網網を張る。

トゲグモ　Gasteracantha kuhlii

山麓から山地にかけて生息する。樹間に垂直円網を張り中心に止まる。

シロスジショウジョウグモ　Hypsosinga pygmaea

平地から山地にかけて生息する。樹枝葉間、草間に垂直円網を張る。

コガネグモダマシ　Larinia argiopiformis

平地から山麓にかけて生息する。河原、草原などの草間に垂直円網を張る。

ドヨウオニグモ　Neoscona adianta

平地から山麓にかけて生息する。河原、水田、草原などの草間に垂直円網(地方によっては水平円網)を張る。

ワキグロサツマノミダマシ　Neoscona mellotteei

平地から山地にかけて広く生息する。樹間、草間に垂直円網を張る。

イエオニグモ　Neoscona nautica

平地から山麓にかけて生息する。人家の周囲に多く、軒下に垂直円網を張る。

コゲチャオニグモ　Neoscona punctigera

山麓から山地にかけて広く生息する。樹間、草間に垂直円網を張る。

ヤマシロオニグモ　Neoscona scylla

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

サツマノミダマシ　Neoscona scylloides

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

マメイタイセキグモ　Ordgarius hobsoni

山麓に生息する。葉裏にひそみ、夜間第 2 脚先端より粘球を下げ、それを回転させてガ類を捕える。日本の代表的稀産種で今回の調査期間中には採集できなかった。現在までの丹沢地域での記録は次の通りである。

ムツトゲイセキグモ　Ordgarius sexspinosus

山麓に生息する。習性は前種と同じ。今回の調査期間中に、県内では 31 年ぶりに発見された稀産種。

サカグチトリノフンダマシ　Paraplectana sakaguchii

山麓に生息する。葉裏にひそみ、夜間同心円状水平円網を張る。前種同様日

本を代表する稀産種で、県内での記録は4回。今回の調査期間中には採集できなかった。現在までの丹沢地域での記録は次の通りである。

ゲホウグモ Poltys illepidus

平地から山麓にかけて生息する。樹間に垂直円網を張る。

コオニグモモドキ Pronous minutus

山麓から山地にかけて生息する。3～4 齢幼体までは水平円網を張るが、その後は網を張らず、近くを通る昆虫を捕える。丹沢山地に広く分布している北方系のクモである。

ナガテオニグモ Singa hamata

山麓から山地にかけて生息する。草間に垂直円網を張る。

ズグロオニグモ Yaginumia sia

平地から山麓にかけて生息する。人家の周囲、橋のらんかん、電話ボックスなどに垂直円網を張る。

サガオニグモ Zilla astridae

平地から山地にかけて生息する。樹間、草間に垂直円網を張る。

カラフトオニグモ Zilla sachalinensis

平地から山地にかけて広く生息している。習性は前種と同じ。

ショロウグモ Nephila clavata

平地から山地にかけて広く生息している。樹間の目の細かい蹄形円網を張る。

2.3.1.21. アシナガグモ科　Tetragnatihidae

ヨツボシヒメアシナガグモ Dyschiriognatha quadrimaculata

平地に生息する。水田に多い。3～4 齢幼体は水平円網を張るが、成長するに従って網を張らなくなり、稲株の間、草間を徘徊する。

ヒメアシナガグモ Dyschiriognatha tenera

平地に生息する。習性は前種と同じ。

オオシロカネグモ Leucauge magnifica

平地から山地にかけて生息する。水辺の樹間、草間に水平円網を張る。

コシロカネグモ Leucauge subblanda

平地から山地にかけて生息する。林道、水辺の樹間、草間に水平円網を張る。

キラシロカネグモ Leucauge subgemmea

平地から山地にかけて生息する。草間に水平円網を張る。

キンヨウグモ Menosira ornata

山麓に生息する。樹間、草間に 1～2 本の糸を引き、近くを通る昆虫を捕える。3～4 齢幼体は水平円網を張る。

サンロウドヨウグモ Meta japonica

洞窟内、岩場の暗所に水平円網を張る。

ヤマジドヨウグモ　Meta reticuloides

山麓から山地にかけて生息する。湿った崖地に斜めに円網を張る。

タニマノドヨウグモ　Metleucauge kompirensis

山麓から山地にかけて生息する。水辺の樹間、草間に水平円網を張る。

メガネドヨウグモ　Metleucauge yunohamensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

アゴブトグモ　Pachygnatha clercki

平地に生息する。水田の稲株、草間を徘徊する。

トガリアシナガグモ　Tetragnatha caudicula

平地に生息する。河原、水田、草原などの草間に水平円網を張る。

ハラビロアシナガグモ　Tetragnatha extensa

平地から山麓にかけて生息する。水辺の樹間、草間に水平円網を張る。

ヤサガタアシナガグモ　Tetragnatha maxillosa

平地から山地にかけてに生息する。習性は前種と同じ。

ミドリアシナガグモ　Tetragnatha pinicola

山地に生息する。樹間、樹枝葉間に水平円網を張る。

アシナガグモ　Tetragnatha praedonia

平地から山地にかけて生息する。水辺の樹間、草間に水平円網を張る。

シナノアシナガグモ　Tetragnatha shinanoensis

山麓から山地にかけて生息する。樹枝葉間、草間に水平円網を張る。

ウロコアシナガグモ　Tetragnatha squamata

平地から山地まで広く生息している。樹枝葉間、草間に水平円網を張る。

シコクアシナガグモ　Tetragnatha vermiformis

平地に生息する。習性はトガリアシナガグモと同じ。

エゾアシナガグモ　Tetragnatha yesoensis

山麓から山地にかけて生息する。習性はウロコアシナガグモと同じ。

2.3.1.22. ヒラタグモ科　urocoteidae

ヒラタグモ　Uroctea compactilis

平地から山麓にかけて生息する。建物の周囲、塀、壁などに白色の円盤状の住居を作り、放射状に受信糸を引く。

2.3.1.23. ホウシグモ科　Zodariidae

ドウシグモ　Asceua japonica

平地から山麓にかけて生息する表面を徘徊する。

2.3.1.24. タナグモ科　Agelenidae

イナズマクサグモ　Agelena labyrinthica

山地に生息する。草間に棚網を張る。

クサグモ　Agelena limbata

平地から山地にかけて生息する。庭木、生垣、山道の草間などに棚網を張る。

コクサグモ　Agelena opulenta

平地から山地にかけて広く生息する。習性は前種と同じ。

コタナグモ　Cicurina japonica

平地から山麓に生息する。落葉、倒木の下、下水道、洞窟などに小さな棚網を張る。

ホラズミヤチグモ　Coelotes antri

山麓から山地にかけて生息する。岩場に棚網を張る。

ヤマヤチグモ　Coelotes corasides

山麓から山地にかけて生息する。崖地、草間に棚網を張る。

ヤチグモ　Coelotes exitialis

平地から山地にかけて生息する。崖地に漏斗網を張る。

フタバヤチグモ　Coelotes hamamurai

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

シモフリヤチグモ　Coelotes insidiosus

平地から山麓にかけて生息する。家の周囲、石垣、崖地などに漏斗網を張る。

メガネヤチグモ　Coelotes luctuosus

平地から山麓にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヒメシモフリヤチグモ　Coelotes interunus

山麓に生息する。習性は前種と同じ。

アズマヤチグモ　Coelotes kitazawai

平地から山地にかけて生息する。下草の間に漏斗網を張る。

ムサシヤチグモ　Coelotes musashiensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.25. ナミハグモ科　Cybaeidae

ザラナミハグモ　Cybaeus communis

平地から山地にかけて生息する。崖地、倒木や石の下のすき間に管状受信糸網を張る。

カチドキナミハグモ　Cybaeus nipponicus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

シンカイナミハグモ　Cybaeus shinkaii

山麓から平地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.26. ハタケグモ科　Hahniidae

ハタケグモ　Hahnia corticicola

平地から山麓にかけて生息する。畑のくぼみ、芝生、草原の地表面に膜状棚網

を張る。

2.3.1.27. キシダグモ科　*Pisauridae*

スジブトハシリグモ　Dolomedes pallitarsis

平地から山麓にかけて生息する。水辺の草間を徘徊する。

アオグロハシリグモ　Dolomedes raptor

平地から山地にかけて生息する。水辺の岩の上に多い。

スジアカハシリグモ　Dolomedes saganus

山麓から山地にかけて生息する。水辺の草間を徘徊する。

イオウイロハシリグモ　Dolomedes sulfureus

平地から山地まで広く生息している。習性は前種と同じ。

アズマキシダグモ　Pisaura lama

平地から山地にかけて生息する。林内、草地、水辺の落葉上や草間を徘徊する。

2.3.1.28. コモリグモ科　*Lycosidae*

カガリビコモリグモ　Arctosa depectinata

平地から山麓にかけて生息する。草地を徘徊する。

エビチャコモリグモ　Arctosa ebicha

平地から山麓にかけて生息する。草地を徘徊する。

フジイコモリグモ　Arctosa fujiii

平地から山麓にかけて生息する。草地を徘徊する。

ヒノマルコモリグモ　Arctosa japonica

平地から山麓にかけて生息する。草地を徘徊する。

クロココモリグモ　Arctosa subamylacea

平地から山麓にかけて生息する。水田に多い。草地を徘徊する。

シッチコモリグモ　Hygrolycosa umidicola

平地に生息する。湿地、水田の草地を徘徊する。

ハラクロコモリグモ　Lycosa coelestis

平地から山麓にかけて生息する。草地を徘徊する。

イナダハリゲコモリグモ　Pardosa agraria

平地に生息する。湿地、水田の草地を徘徊する。

ウヅキコモリグモ　Pardosa astrigera

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

ヤマハリゲコモリグモ　Pardosa brevivulva

山麓から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

ハタハリゲコモリグモ　Pardosa diversa

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

ハリゲコモリグモ　Pardosa laura

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

イサゴコモリグモ　Pardosa isago

平地から山地にかけて生息する。河原の石の間を徘徊する。

キクヅキコモリグモ　Pardosa pseudoannulata

平地に生息する。湿地、水田の草地を徘徊する。

キシベコモリグモ　Pardosa yaginumai

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

テジロハリゲコモリグモ　Pardosa yamanoi

平地に生息する。

クラークコモリグモ　Pirata clercki

平地に生息する。水田、河原などの水辺の草地や石の間を徘徊する。

カイゾクコモリグモ　Pirata piraticus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

イモコモリグモ　Pirata piratoides

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

チビコモリグモ　Pirata procurvus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

キバラコモリグモ　Pirata subpiraticus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

コガタコモリグモ　Pirata tanakai

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

アライトコモリグモ　Trochosa ruricola

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

カラフトコモリグモ　Trochosa terricola

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

2.3.1.29. ササグモ科　Oxyopidae

クリチャササグモ　Oxyopes badius

山麓から山地にかけて生息する。樹葉間、草間を徘徊する。

コウライササグモ　Oxyopes koreanus

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ササグモ　Oxyopes sertatus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.30. フクログモ科　Clubionidae

アシナガコマチグモ　Chiracanthium eutittha

平地から山麓にかけて生息する。河原、草原の草間を徘徊する。

カバキコマチグモ　Chiracanthium japonicum

平地から山麓にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤマトコマチグモ　Chiracanthium lascivum

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤサコマチグモ　Chiracanthium unicum

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

アカギフコログモ　Clubiona akagiensis

平地から山地にかけて生息する。草間、樹間を徘徊する。

ミチノクフクログモ　Clubiona diversa

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

イナフクログモ　Clubiona insaensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤマトフクログモ　Clubiona japonica

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ハマキフクログモ　Clubiona japonicola

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤハズフクログモ　Clubiona jucunda

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヒメフクログモ　Clubiona kurilensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

トビイロフクログモ　Clubiona lena

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヨモギフクログモ　Clubiona neglectoides

生息環境不明。

マイコフクログモ　Clubiona rostrata

平地から山地にかけて生息する。草間、樹葉間を徘徊する。

ツルサキフクログモ　Clubiona tsurusakii

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ムナアカフクログモ　Clubiona vigil

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤギヌマフクログモ　Clubiona yaginumai

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ウコンフクログモ　Clubiona zilla

平地から山麓にかけて生息する。樹皮上を徘徊する。

2.3.1.31. イヅツグモ科　Anyphaenidae

ナガイヅツグモ　Anyphaena ayshides

山麓に生息する。樹枝葉間を徘徊する。

イヅツグモ　Anyphaena pugil

山麓から山地にかけて生息する。樹枝葉間を徘徊する。

2.3.1.32. ウエムラグモ科　*Liocranidae*

ミヤマタンボグモ　Agroeca montata

平地から山地にかけて生息する。落葉、土壌のすき間を徘徊する。

イタチグモ　Itatsina praticola

平地から山麓にかけて生息する。習性は前種と同じ。

オトヒメグモ　Orthobula crucifera

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

イナヅマウラシマグモ　Phrurolithus claripes

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

キレオビウラシマグモ　Phrurolithus coreanus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

コムラウラシマグモ　Phrurolithus komurai

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ウラシマグモ　Phrurolithus nipponicus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤバネウラシマグモ　Phrurolithus pennatus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.33. ネコグモ科　*Corinnidae*

ネコグモ　Trachelas japonicus

平地から山地にかけて生息する。葉上、草地を徘徊する。

2.3.1.34. ワシグモ科　*Gnaphosidae*

フタホシテオノグモ　Callilepis schuszteri

平地から山麓にかけて生息する。

チャクロワシグモ　Cladothela oculinotata

平地から山地にかけて生息する。落葉中、地表、草地を徘徊する。

トラフワシグモ　Drassodes serratidens

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

エビチャヨリメケムリグモ　Drassyllus sanmenensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヒメヨリメケムリグモ　Drassyllus yaginumai

平地に生息。習性は前種と同じ。

メキリグモ　Gnaphosa kompirensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

モリメキリグモ　Gnaphosa potanini

平地から山地にかけて生息する。

ナミトンビグモ　Herpyllus anatolicus

平地から山麓にかけて生息する。

ヤマトフトバワシグモ　Odontodrassus hondoensis

平地から山麓にかけて生息する。

マエトビケムリグモ　Sernokorba pallidipatellis

平地から山麓にかけて生息する。落葉中、地表を徘徊する。

クロチャケムリグモ　Zelotes asiaticus

平地から山麓にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.35. *シボグモ科　Ctenidae*

シボグモ　Anahita fauna

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.36. *アシダカグモ科　Heteropodidae*

コアシダカグモ　Heteropoda forcipata

平地から山地にかけて生息する。洞窟、崖地や岩場の暗所にひそむ。

アシダカグモ　Heteropoda venatoria

人家、寺院に生息する。

2.3.1.37. *エビグモ科　Philodromidae*

コガネエビグモ　Philodromus aureolus

山地に生息する。草間、樹葉間を徘徊する。

キンイロエビグモ　Philodromus auricomus

平地から山麓にかけて生息する。習性は前種と同じ。

シロエビグモ　Philodromus cespitum

山麓に生息する。習性は前種と同じ。

キエビグモ　Philodromus flavidus

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

キハダエビグモ　Philodromus spinitarsis

平地から山地にかけて生息する。樹皮上を徘徊する。

アサヒエビグモ　Philodromus subaureolus

平地から山地にかけて広く生息する。草間、樹葉間を徘徊する。

ヤドカリグモ　Thanatus miniaceus

山麓から山地にかけて生息する。草間を徘徊する。

ヤマトヤドカリグモ　Thanatus nipponicus

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

スジシャコグモ　Tibellus oblongus

山地に生息する。

シャコグモ　Tibellus tenellus

平地から山地にかけて生息する。草間、樹葉間、落葉の上などを徘徊する。前種も同じ習性。

2.3.1.38. カニグモ科　*Thomisidae*

キハダカニグモ　Bassaniana decorata

平地から山地にかけて生息する。樹皮上、草間を徘徊する。

コカニグモ　Coriarachne fulvipes

平地から山麓にかけて生息する。樹皮上を徘徊する。

コハナグモ　Diaea subdola

平地から山地にかけて生息する。樹葉間、草間を徘徊する。

アシナガカニグモ　Heriaeus mellotteei

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

アマギエビスグモ　Lysteles coronatus

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

クマダハナグモ　Misumenops kumadai

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ハナグモ　Misumenops tricuspidatus

平地から山地にかけて広く生息する。習性は前種と同じ。

ワカバグモ　Oxytate striatipes

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ガザミグモ　Pistius undulatus

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

フノジグモ　Synaema globosum

山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

アズチグモ　Thomisus labefactus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

マツモトオチバカニグモ　Oxyptila matsumotoi

平地から山地にかけて生息する。落葉、土壌のすき間、地表を徘徊する。

ニッポンオチバカニグモ　Oxyptila nipponica

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

トラフカニグモ　Tmarus piger

平地から山地にかけて生息する。樹枝葉間を徘徊する。

セマルトラフカニグモ　Tmarus rimosus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

ヤミイロカニグモ　Xysticus croceus

平地から山地にかけて生息する。草地、樹葉間を徘徊する。

シナカニグモ(異名カラカニグモ)　Xysticus ephippiatus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

チシマカニグモ　Xysticus kurilensis

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

オオヤミイロカニグモ　Xysticus saganus

平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。

2.3.1.39.ハエトリグモ科　Salticidae

ヤマジハエトリ　Aelurillus festivus

山麓から山地にかけて生息する。草地、落葉上を徘徊する。

ネコハエトリ　Carrhotus xanthogramma

平地から山地にかけて生息する。草間を徘徊する。

カタオカハエトリ　Euophrys kataokai

平地から山麓にかけて生息する。草地を徘徊する。

マミジロハエトリ　Evarcha albaria

平地から山地にかけ広くて生息する。草間を徘徊する。

ウデブトハエトリ　Harmochirus brachiatus

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

キレワハエトリ　Harmochirus pullus

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

コジャバラハエトリ　Helicius cylindratus

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

ジャバラハエトリ　Helicius yaginumai

平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。

エキスハエトリ　Laufeia aenea

平地から山地にかけて生息する。樹皮上を徘徊する。

オオハエトリ　Marpissa dybowski

平地から山地にかけて生息する。建物の周囲、樹皮上を徘徊する。

ヤハズハエトリ　Marpissa elongata

平地から山地にかけて生息する。草間を徘徊する。

オスクロハエトリ　Marpissa magister

平地から山地にかけて生息する。草間を徘徊する。

ヨダンハエトリ　Marpissa pulla

平地から山地にかけて生息する。草間を徘徊する。

シラヒゲハエトリ　Menemerus confusus

平地から山麓にかけて生息する。建物の周囲を徘徊する。

ヤサアリグモ　Myrmarachne innermichelis
　平地から山地にかけて生息する。草間、樹葉間を徘徊する。
アリグモ　Myrmarachne japonica
　平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
クワガタアリグモ　Myrmarachne kuwagata
　平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
チャイロアサヒハエトリ　Phintella abnormis
　平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
キアシハエトリ　Phintella bifurcilinea
　山麓から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
マガネアサヒハエトリ　Phintella castriesiana
　平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
メガネアサヒハエトリ　Phintella linea
　平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
メスジロハエトリ　Phintella versicolor
　平地から山麓にかけて生息する。
マダラスジハエトリ　Plexippoides annulipedis
　山麓から山地にかけて生息する。樹葉間、樹皮上、草間を徘徊する。
デーニッツハエトリ　Plexippoides doenitzi
　平地から山地にかけて生息する。習性は前種と同じ。
チャスジハエトリ　Plexippus paykulli
　平地から山地にかけて生息する。建物の周囲に多いが、時に樹葉間、草間にも見られる。
ミスジハエトリ　Plexippus setipes
　平地から山麓にかけて生息する。習性は前種と同じ。
イナヅマハエトリ　Pseudicius vulpes
　平地から山地にかけて生息する。樹皮上、建物の周囲を徘徊する。
カラスハエトリ　Rhene atrata
　平地から山地にかけて生息する。樹葉間、草間を徘徊する。
アオオビハエトリ　Silerella vittata
　平地から山地にかけて生息する。草地を徘徊する。
シラホシコゲチャハエトリ　Sitticus penicillatus
　平地から山麓にかけて生息する。地表、石の間などを徘徊する。
アメイロハエトリ　Synagelides agoriformis
　平地から山地にかけて生息する。
ウススジハエトリ　Yaginumaella striatipes

平地から山地まで広く生息する。樹葉間、草間、地表を徘徊する。

ムツバハエトリ　Yaginumanis sexdentatus

平地から山地にかけて生息する。岩場、樹皮上を徘徊する。

2.4.丹沢山地のササラダニ類

2.4.1.1.ダルマヒワダニ科　*Brachychthoniidae*

オオダルマヒワダニ　Eobrachychthonius oudemansi

チビゲダルマヒワダニ　Liochthonius sellnicki

イナヅマダルマヒワダニ　Poecilochthonius spiciger

2.4.1.2.ヒワダニ科　*Hypochthoniidae*

オオナガヒワダニ　Eohypochthonius magnus

ヒワダニ　Hypochthonius rufulus

2.4.1.3.ケブカヒワダニ科　*Trichthoniidae*

ケナガヒワダニ　Nipponiella simplex

日本固有の 1 属 1 種のダニで、本州中部の山岳地帯に分布するが、採集記録は多くない。

2.4.1.4.ヒワダニモドキ科　*Eniochthoniidae*

ヒワダニモドキ　Hypochthoniella minutissima

2.4.1.5.ニセイレコダニ科　*Mesoplophoridae*

ゾウイレコダニ　Archoplophora rostralis

ニセイレコダニ　Mesoplophora japonica

2.4.1.6.ユウレイダニ科　*Eulohmanniidae*

ユウレイダニ　Eulohmannia ribagai

ヨーロッパ・ロシア・カナダ・ヒマラヤ・日本から知られ、わが国では本州中部から北海道にかけて分布するが、採集例は多くない。

2.4.1.7.トノサマダニ科　*Perlohmanniidae*

キョジンダニ　Apolohmannia gigantea

体長 1.5mm 内外もある極めて大型なササラダニで、日本固有の属種。ブナ林との結び付きが特に強いという点で興味のある種である。

2.4.1.8.ハラミゾダニ科　*Epilohmanniidae*

オオハラミゾダニ　Epilohmannia ovata

ヒメハラミゾダニ　Epilohmannia pallida pacifica

2.4.1.9.レイコダニ科　*Phthiracaridae*

ツルギレイコダニ　Phthiracarus clemens

ヤマトレイコダニ　Phthiracarus japonicus

オオイレコダニ　Phthiracarus setosus

2.4.1.10. トゲレイコダニ科　Steganacaridae

アラメイレコダニ　Atropacarus striculus

クゴウイレコダニ　Plonaphacarus kugohi

2.4.1.11. ヘソイレコダニ科　Euphthiracaridae

オキイレコダニ　Euphthiracarus foveolatus

隠岐で最初に発見され、その後、神奈川県、東京都、山梨県、新潟県から報告されているが、採集記録が少ない。県下では 1982 年に塔ノ岳～丹沢山で採集されている。

ヒメヘソレイコダニ　Rhysotritia ardua

2.4.1.12. タテイレコダニ科　Oribotritiidae

キシダイレコダニ　Maerkelotritia kishidai

フトゲイレコダニ　Oribotritia fennica

2.4.1.13. オニダニ科　Camisiidae

ヒメアラゲオニダニ　Heminothrus minor

北海道から九州まで分布するが生息地は限られている。県下では箱根町畑宿および丹沢山～塔ノ岳から知られている。

ヤマサキオニダニ　Platynothrus yamasakii

2.4.1.14. コナダニモドキ科　Malaconothridae

2.4.1.15. チビコナダニモドキ　Malaconothrus pygmaeus

2.4.1.16. アミメオニダニ科　Nothridae

ハナビラオニダニ　Nothrus biciliatus

オオアミメオニダニ　Nothrus borussicus

ヨコヅナオニダニ　Nothrus palustris

2.4.1.17. モンツキダニ科　Trhypochthoniidae

ヤマトモンツキダニ　Trhypochthonius japonicus

2.4.1.18. ツキノワダニ科　Nanhermanniidae

ツキノワダニ　Nanhermannia elegantula

ホソツキノワダニ　Nippohermannia parallela

2.4.1.19. ドビンダニ科　Hermanniellidae

ドビンダニ　Hermanniella punctulata

2.4.1.20. ウズタカダニ科　Liodidae

ヒラタウズタカダニ　Platyliodes japonicus

2.4.1.21. ジュズダニモドキ科　Gymnodamaeidae

スネナガダニ　Gymnodamaeus adpressus

2.4.1.22. ジュズダニ科　Damaeidae

ツリバリジュズダニ　Acanthobelba tortuosa

コブジュズダニ　Belba verrucosa japonica

コノハジュズダニ？　Epidamaeus folium?

セスジジュズダニ　Tectodamaeus striatus

2.4.1.23. マンジュウダニ科　*Cepheidae*

スベスベマンジュウダニ　Conoppia palmicincta

福島県飯豊山、東京都高尾山、神奈川県大山、山梨県大菩薩峠、飯盛山および仙丈ヶ岳のみから知られていた珍しい種である。国外ではヨーロッパに分布する。

ヤハズマンジュウダニ　Sphodrocepheus mitratus

2.4.1.24. トゲマンジュウダニ科　*Compactozetidae*

サドマンジュダニ　Sadocepheus undulatus

2.4.1.25. エリナシダニ科　*Ameridae*

ノシダニ　Caenosamerus spatiosus

福島県土湯、神奈川県横須賀市鷹取山および鎌倉市二階堂、和歌山県成見川、福岡県北九州市白島、長崎県対馬からのみ知られていた珍種。今回檜洞丸の枯損林からかなりの個体数が得られた。

2.4.1.26. ホソクモスケダニ科　*Damaeolidae*

ヨツクボダニ　Fosseremus quadripertitus

2.4.1.27. クモスケダニ科　*Eremobelbidae*

ヤマトクモスケダニ　Eremobelba japonica

2.4.1.28. イチモンジダニ科　*Eremulidae*

イチモンジダニ　Eremulus avenifer

2.4.1.29. モリダニ科　*Eremaeidae*

ホソゲモリダニ　Eremaeus tenuisetiger

2.4.1.30. ダルマタマゴダニ科　*Astegistidae*

マルタマゴダニ　Cultroribula lata

2.4.1.31. ツヤタマゴダニ科　*Liacaridae*

アシュウタマゴダニ　Liacarus latilamellatus

京都府美山町の京都大学芦生演習林からのみ知られていた種で、今回の記録は日本で２番目のものとなる。

ツノツキタマゴダニ　Liacarus nitens

ツヤタマゴダニ　Liacarus orthogonios

2.4.1.32. セマルダニ科　*Metrioppiidae*

ヒメリキシダニ　Ceratoppia quadridentata

セマルダニ　Metrioppia tricuspidata

2.4.1.33. マルトゲダニ科　*Tenuialidae*

マルツヤダニ　Hafenrefferia acuta

2.4.1.34. ザラタマゴダニ科　*Xenillidae*

ヤハズザラタマゴダニ　Xenillus heterosetiger

ザラタマゴダニ　Xenillus tegeocranus

2.4.1.35. イブシダニ科　*Carabodidae*

ハナビライブシダニ　Carabodes bellus

コガタイブシダニ　Carabodes peniculatus

ヒビワレイブシダニ　Carabodes rimosus

ナカタマリイブシダニ　Yoshiobodes nakatamarii

2.4.1.36. イカダニ科　*Otocepheidae*

ヒョウタンイカダニ　Dolicheremaeus elongatus

コンボウイカダニ　Fissicepheus clavatus

ヤマトオオイカダニ　Megalotocepheus japonicus

2.4.1.37. クワガタダニ科　*Tectocepheidae*

トゲクワガタダニ　Tectocepheus cuspidentatus

カコイクワガタダニ　Tectocepheus elegans

クワガタダニ　Tectocepheus velatus

ツバサクワガタダニ　Tegeozetes tunicatus breviclava

2.4.1.38. ツブダニ科　*Oppiidae*

コブヒゲツブダニ　Arcoppia viperea

ヒロズツブダニ　Cycloppia restata

サガミツブダニ　Goyoppia sagami

ヨーロッパツブダニ　Lauroppia neerlandica

ノゲツブダニ　Medioxyoppia acuta

クチバシツブダニ　Medioxyoppia actirostrata

タモウツブダニ　Mulitioppia brevipectinata

ズシツブダニ　Neotrichoppia zushi

ナミツブダニ　Oppiella nova

フトゲツブダニ　Oxyoppia clavata

ヨスジツブダニ　Quadroppia quadricarinata

2.4.1.39. マドダニ科　*Suctobelbidae*

マドダニモドキ　Suctobelbila tuberculata

2.4.1.40. スッポンダニ科　*Cymbaeremaeidae*

ヤマシタスッポンダニ　Scapheremaeus yamashitai

2.4.1.41. マルコバネダニ科 *Mochlozetidae*

エビスダニ Unguizetes clavatus

1976年にタイ国から記載された種で、その後日本の北海道、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、和歌山県から発見された。県下では大雄山の古い杉林土壌から報告されていた。

2.4.1.42. ケタフリソデダニ科 *Parakalummidae*

フクロフリソデダニ Neoribates roubali

ホソフリソデダニ Protokalumma parvisetigerum

2.4.1.43. オトヒメダニ科 *Scheloribatidae*

ハバビロオトヒメダニ Scheloribates laevigatus

2.4.1.44. コソデダニ科 *Protoribatidae*

オオナガコソデダニ Protoribates lophotrichus

2.4.1.45. コバネダニ科 *Ceratozetidae*

ヤマトコバネダニ Ceratozetes japonicus

ナミコバネダニ Ceratozetes mediocris

モンナガコバネダニ Diapterobates humeralis

クロコバネダニ Melanozetes meridianus

2.4.1.46. マキバネダニ科 *Chamobatidae*

オケサコバネダニ Ocesobates kumadai

北海道、新潟県、佐渡島、東京都、神奈川県、奈良県のみから知られ、県下では厚木市高松山から記録があるだけであった。

2.4.1.47. カブトダニ科 *Oribatellidae*

キレコミダニ Ophidiotrichus ussuricus

アメリカカブトダニ Oribatella brevicornuta

2.4.1.48. ツノバネダニ科 *Achipteriidae*

カブトダニモドキ Anachipteria grandis

ヤハズツノバネダニ Parachipteria distincta

2.4.1.49. ケタカムリダニ科 *Tegoribatidae*

カメンダニ Lepidozetes dashidorzsi

2.4.1.50. フリソデダニ科 *Galumnidae*

ハルナフリソデダニ Pergalumna altera

アラゲフリソデダニ Pergalumna intermedia

チビゲフリソデダニ Trichogalumna nipponica

2.5.丹沢山地の陸産貝類

2.5.1.軟体動物門　Mollusca

2.5.1.1.腹足綱　Gastropoda

2.5.1.1.1.前鰓亜綱　Prosobranchia

2.5.1.1.1.1.原始腹足上目　Archaeogastropoda

2.5.1.1.1.1.1.アマオブネ目　Neritopsina

2.5.1.1.1.1.1.1.ヤマキサゴ科　Helicinidae

ヤマキサゴ　Waldemaria japonica

2.5.1.1.1.2.新生腹足上目　Caenogastropoda

2.5.1.1.1.2.1.原始紐舌目　Architaenioglossa

2.5.1.1.1.2.1.1.ヤマタニシ科　Cyclophoridae

ミジンヤマタニシ　Nakadaella micron

2.5.1.1.1.2.1.2.ムシオイガイ科　Alycaeidae

ムシオイガイ　"Chamalycaeus nipponensis"

ピルスブリームシオイガイ？　Chamalycaeus pilsbryi?

2.5.1.1.1.2.1.3.ゴマガイ科　Diplommatinidae

ヒダリマキゴマガイ　Palaina pusilla

イブキゴマガイ　Diplommatina labiosa

ヤマトゴマガイ　Diplommatina nipponensis

ゴマガイ　Diplommatina cassa

2.5.1.1.2.異鰓亜綱　Heterobranchia

2.5.1.1.2.1.有肺上目　Pulmonata

2.5.1.1.2.1.1.原始有肺目　Archaeopulmonata

2.5.1.1.2.1.1.1.オカミミガイ科　Ellobiidae

スジケシガイ　Carychium noduliferum

ケシガイ　Carychium pessimum

2.5.1.1.2.1.2.柄眼目　Stylommatophora

2.5.1.1.2.1.2.1.キセルガイモドキ科　Enidae

キセルガイモドキ　Mirus reinianus

2.5.1.1.2.1.2.2.キセルガイ科　Clausiliidae

ヒカリギセル　Zaptychopsis buschi

ハコネギセル　Pinguiphaedusa hakonensis

オオギセル　Megalophaedusa martensi

オオトノサマギセル　Mundiphaedusa rax

オクガタギセル　Mundiphaedusa sp.

ツメギセル　Mundiphaedusa rhopalia

ヒメギセル　Mundiphaedusa micropeas
ナミギセル　Phaedusa japonica
ウツミギセル Phaedusa oostoma
2.5.1.1.2.1.2.3.オカクチキレガイ科　Subulinidae
オカチョウジガイ　Allopeas kyotoense
2.5.1.1.2.1.2.4.ネジレガイ科　Streptaxidae
タワラガイ　Sinoennea iwakawa
2.5.1.1.2.1.2.5.ナタネガイ科　Punctidae
ナタネガイ　Punctum amblygonum
ハリマナタネガイ？　Punctum japonicum?
2.5.1.1.2.1.2.6.パツラマイマイ科　Discidae
パツラマイマイ　Discus pauper
2.5.1.1.2.1.2.7.ナメクジ科　Philomycidae
ヤマナメクジ　Meghimatium fruhstorfeir
2.5.1.1.2.1.2.8.ベッコウマイマイ科　Helicarionidae
タカキビガイ　Coneuplecta praealta
タンザワキビガイ　Trochochlamys tanzawaensis
ヒメベッコウ？　Discoconulus sinapidium?
ヤクヒメベッコウ？　Discoconulus yakuensis?
ヒメベッコウ属？の一種　Discoconulus?sp.
ヒラベッコウ　Bekkochlamys micorgrapta
キヌツヤベッコウ　Nipponochlamys semisericata
ハクサンベッコウ？　Nipponochlamys hakusanus?
ハコネヒメベッコウ　Japanochlamys hakonensis
2.5.1.1.2.1.2.9.コハクガイ科　Zonitidae
オオコハクガイ　Zonitoides nitidus
2.5.1.1.2.1.2.10.ナンバンマイマイ科　Camaenidae
キヌビードロマイマイ　Nipponochloritis pumila
2.5.1.1.2.1.2.11.オナジマイマイ科　Bradybaenidae
カドコオオベソマイマイ　Aegista proba goniosoma
オオケマイマイ　Aegista vatheletii
ミスジマイマイ　Euhadra peliomphala
ヒダリマキマイマイ　Euhadra quaesita

2.6.丹沢山地の陸生クワムシ類

2.6.1.異クマムシ綱　Heterotardigrada

2.6.1.1. トゲクマムシ目　Echiniscoidea

2.6.1.1.1.ヨロイトゲクマムシ科　Echiniscidae

フトトゲクマムシ(新称)　Echiniscus crassispinosus
オオトゲクマムシ　Echiniscus elegans
ヨトゲクマムシ　Echiniscus quadrispinosus
トゲクマムシ属の 1 種　Echiniscus sp. T-1
トゲクマムシ属の 1 種　Echiniscus sp. T-2
トゲクマムシ属の 1 種　Echiniscus sp. T-3

2.6.2.真クマムシ綱　Eutardigrada

2.6.2.1. ヨリヅメ目　Parachela

2.6.2.1.1.チョウメイムシ科　Macrobiotidae

ヒメチョウメイムシ(新称)　Macrobiotus hibernicus
リヒテルスチョウメイムシ(新称)　Macrobiotus richtersi
チョウメイムシ属の 1 種　Macrobiotus sp. T-1
チョウメイムシ属の 1 種　Macrobiotus sp. T-2
チョウメイムシ属の 1 種　Macrobiotus sp. T-3
チョウメイムシ属の 1 種　Macrobiotus sp. T-4
チョウメイムシ　Minibiotus intermedius
ニセノドヤマクマムシ属の 1 種　Pseudodiphascon sp. T-1

2.6.2.1.2. トゲヤマクマムシ科　Calohypsibiidae

トゲヤマクマムシ　Calohypsibius ornatus
コヤマクマムシ(新称)　Microhypsibius truncatus

2.6.2.1.3.オオヤマクマムシ科　Eohypsibiidae

ヴェグラルスカオオヤマクマムシ　Amphibolus weglarskae
オカコヅメヤマクマムシ　Eohypsibius terrestris

2.6.2.1.4. ヤマクマムシ科　Hypsibiidae

バウマンヤマクマムシ　Hypsibius baumanni
ウロコヤマクマムシ(新称)　Hypsibius scabropygus
ヤマクマムシ属数種　Hypsibius spp.
イボヤマクマムシ属の 1 種　Isohypsibius sp. T-1
イボヤマクマムシ属の 1 種　Isohypsibius sp. T-2
イボヤマクマムシ属の数種　Isohypsibius spp.
イボノセヒラキヅメクマムシ　Doryphoribius dupliglobulatus
コブノドヤマクマムシ(新称)　Diphascon(Diphascon)bullatum

ヒギンズノドヤマクマムシ　Diphascon(D.)higginsi
アルプスノドヤマクマムシ　Diphascon(D.)pingue
ザラノドヤマクマムシ(新称)　Diphascon(D.)rugosum
ノドヤマクマムシ属の 1 種　Diphascon(D.)sp. T-1
カガミノドヤマクマムシ(新称)　Diphascon(Adropion)arduifrons
スコットランドノドヤマクマムシ　Diphascon(A.)scoticum
フジクマムシ属の 1 種　Fujiscon sp. T-1
フジクマムシ属の 1 種　Fujiscon sp. T-2
ヨコズナヤマクマムシ属の 1 種　Platicrista sp. T-1

2.6.2.2.ハナレズメ目　Apochela

2.6.2.2.1.オニクマムシ科　Milesiidae

オニクマムシ　Milnesium tardigradum

3.植物

3.1.1.シダ植物

3.1.1.1.マツバラン科　PSILOTACEAE

マツバラン　Psilotum nudum

山麓にきわめて稀。RDB では絶滅危惧種とされた。

3.1.1.2.ヒカゲノカズラ科　LYCOPODIACEAE

スギラン　Huperzia cryptomerina

ブナ帯の樹幹に着生。標高 800 mから上部にやや稀に見られる。神植誌 1988 の調査では標本が採集されていなかったが、今回の調査で西丹沢を中心に数か所で確認された。県内で現存するのは丹沢のみ。箱根の記録もあるが、近年見つかっていない。RDB では減少種とされた。

トウゲシバ　Huperzia serrata

丹沢では山麓の樹林内にやや普通。葉の細い品種をホソバトウゲシバ f.intermedium という。

ヒカゲノカズラ　Lycopodium clavatum

丹沢では山麓の草地に稀。

3.1.1.3.イワヒバ科　SELAGINELLACEAE

エゾノヒメクラマゴケ　Selaginella helvetica

渓谷の湿った岩場に稀に見られる。県内では丹沢のみに産する。

カタヒバ　Selaginella involvens

渓谷の岩場にやや普通に見られる。

タチクラマゴケ　Selaginella nipponica

丹沢では次種に比べて、標高の高い所に見られる。

クラマゴケ　Selaginella remotifolia

山麓の樹林内に普通。

イワヒバ　Selaginella tamariscina

シイ・カシ帯からブナ帯の岩場にやや普通。

コンテリクラマゴケ　Selaginella uncinata

帰化。中国原産の栽培種で山麓部に野性化している。

3.1.1.4.トクサ科　EQUISETACEAE

スギナ　Equisetum arvense

山麓から山腹にかけての路傍に普通。

トクサ　Equisetum hyemale

山麓の湿地にやや稀。

イヌスギナ　Equisetum palustre

山麓の湿地に見られる。

イヌドクサ　Equisetum ramosissimum

山麓の渓畔や水のしみでる所に見られる。

3.1.1.5.ハナワラビ科　BOTRYCHIACEAE

●ヒメハナワラビ　Botrychium lunaria

三ノ塔で採集された記録があるが、その後発見することができず、RDB でも絶滅種とされた。県内の記録は丹沢に限られる。

ナガボノナツノハナワラビ　Botrypus strictus

山麓の樹林内にやや普通。

ナツノハナワラビ　Botrypus virginianus

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや普通。

オオハナワラビ　Sceptridium japonicum

山麓の草地にやや普通。

アカハナワラビ　Sceptridium nipponicum

丹沢では山麓に稀。県内各地に散在するが、数は少なく、RDB では減少種とされた。

フユノハナワラビ　Sceptridium ternatum

山麓の草地にやや普通。

3.1.1.6.ハナヤスリ科　OPHIOGLOSSACEAE

ヒロハハナヤスリ　Ophioglossum vulgatum

丹沢では山麓にやや稀。

3.1.1.7.ゼンマイ科　OSMUNDACEAE

ゼンマイ　Osmunda japonica

山麓から稜線近くまで普通に見られる。

ヤシャゼンマイ　Osmunda lancea

道志川渓谷や中津渓谷の渓岩の水際に生える。中津渓谷ではダム建設により大半が失われたと考えられる。ゼンマイとの雑種をオクタマゼンマイ O.× intermedia といい、ヤシャゼンマイの産地の水際よりやや離れた所で見つかる。

3.1.1.8.カニクサ科　LYGODIACEAE

カニクサ　Lygodium japonicum

山麓に普通。

3.1.1.9.ウラジロ科　GLEICHENIACEAE

ウラジロ　Gleichenia japonica

暖地の植物で、南部の山麓に稀。

3.1.1.10. コケシノブ科　HYMENOPHYLLACEAE

アオホラゴケ　Cerpidomanes insigne

山麓に稀。白石沢やユーシンの古い記録もある。

ウチワゴケ　Gonocormus saxifragoides

沢筋の湿った岩上に生える。今回の調査で世附川や玄倉川小川谷歩道から見出されており、沢筋を精査すれば産地が増えることが予想される。県内では他に箱根、大磯丘陵、三浦半島、小仏産地などに分布。

コウヤコケシノブ　Hymenophyllum barbatum

沢筋の湿った岩場にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

ハイホラゴケ　Lacosteopsis orientalis

県内では箱根や三浦半島に多いが、丹沢周辺では大山不動尻と青野原で採集されている。

キヨスミコケシノブ　Mecodium oligosorum

最近、宮ヶ瀬ダム水没予定地でも採集された。県内では丹沢と箱根に分布し、RDB では減少種とされた。

ホソバコケシノブ　Mecodium polyanthos

沢筋の湿った岩場にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

コケシノブ　Mecodium wrightii

沢筋の湿った岩場にやや稀。RDB では減少種とされた。東丹沢や西丹沢から数か所の報告がある。県内では丹沢と箱根に分布。

3.1.1.11. イノモトソウ科　PTERIDACEAE

ハコネシダ　Adiantum monochlamys

山麓から山中の渓谷岩場に普通。

クジャクシダ　Adiantum pedatum

山麓から稜線までの樹林内に普通。

ヒメウラジロ　Cheilanthes argentea

石灰岩地に多い。神奈川県ではきわめて稀で、神植誌 1988 では丹沢と小仏山地から報告があるのみ。RDB でも減少種とされた。丹沢では物見峠や松田町寄周辺で採集された。

イワガネゼンマイ　Coniogramme intermedia

山麓にやや普通。葉の両面に毛のあるものをチチブイワガネ f.nosei といい、神ノ川や西丹沢で採集されている。葉の下面にだけ毛があるものをウラゲイワガネ f.villosa といい、一ノ沢峠や世附地蔵平で採集されている。

イワガネソウ　Coniogramme japonica

山麓に普通。

イヌイワガネソウ Coniogramme × fauriei

イワガネゼンマイとイワガネソウの雑種。松田町中津川や玄倉川で採集されている。

イヌシダ Dennstaedtia hirsuta

山麓から山腹にかけて普通。

コバノイシカグマ Dennstaedtia scabra

神奈川県では箱根山麓にいくつかの産地があるが、丹沢では松田町中津川で採集されたのみ。RDB では減少種とされた。

オウレンシダ Dennstaedtia wilfordii

山麓から稜線近くまで普通にみられる。

イワヒメワラビ Hypolepis punctata

神奈川県では南部に多く、丹沢では南丹沢山麓にやや普通。

フモトシダ Microlepia marginata

暖地に多い植物で、丹沢では南丹沢側の山麓にやや普通。

クジャクフモトシダ Microlepia × bipinnata

フモトシダとイシカグマの雑種とされる。神奈川県では箱根山麓や三浦半島に見られるが、丹沢では秦野市蓑毛で採集されたのみ。RDB では絶滅危惧の雑種として取り上げられている。

タチシノブ Onychium japonicum

山麓から山中の林道沿いに普通。

カラクサシダ Pleurosoriopsis makinoi

ブナ帯の樹幹や岩上に生える。県内では丹沢と箱根に稀産。神植誌 1988 の調査では丹沢山 1 か所で採集されたのみ。古い記録では大谷(1963)が白石峠～畦ヶ丸山の記録をあげている。RDB では減少種とされた。

ワラビ Pteridium aquilinum var. latiusculum

山麓から中腹の草地に普通。

オオバノイノモトソウ Pteris cretica

山麓から山腹に普通。

アマクサシダ Pteris dispar

暖地の植物で、丹沢では南丹沢山麓にやや稀に見られる。

オオバノハチジョウシダ Pteris excelsa

暖地の植物で、南丹沢山麓にやや稀。

イノモトソウ Pteris multifida

山麓に普通。

マツザカシダ Pteris nipponica

暖地の植物で、丹沢では南部の山麓に稀に見られるのみ。

セフリイノモトソウ　Pteris × sefuricola

オオバイノモトソウとイノモトソウの雑種。両者の混生する所に稀に見られる。

ホラシノブ　Sphenomeris chinensis

神奈川県全体では各地に散在するが、丹沢では南部に稀に見られる。

3.1.1.12. シノブ科　DAVALLIACEAE

シノブ　Davallia mariesii

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹幹や岩上に普通。

3.1.1.13. キジノオシダ科　PLAGIOGYRIACEAE

オオキジノオ　Plagiogyria euphlebia

RDB では減少種とされた。神奈川県では箱根山麓に多いが、丹沢では大山で採集されたのみ。

キジノオシダ　Plagiogyria japonica

県内では箱根山麓に多いが、丹沢では松田町虫沢で採集されたのみ。RDB では減少種とされた。

●ヤマソテツ　Plagiogyria matsumureana

RDB では絶滅種とした。

3.1.1.14. オシダ科　ASPIDACEAE

●ウスヒメワラビ　Acystopteris japonica

姫次で採集された古い標本があり、RDB でも絶滅種とされた。県内の記録は丹沢に限られる。

ホソバカナワラビ　Arachniodes aristata

暖地の植物で、丹沢では山麓に稀に見られるのみ。

オオカナワラビ　Arachniodes rhomboides

暖地の植物で、南丹沢山麓にやや稀。

シノブカグマ　Arachniodes mutica

シラビソ帯の植物で、丹沢や箱根に記録があるが RDB では減少種とされた。

ミドリカナワラビ　Arachniodes nipponica

樹林内に稀。県内では丹沢と箱根方面に見られるが、数は少なく、RDB でも減少種とされた。

ハカタシダ　Arachniodes simplicior

やや乾燥した樹林内に生える。南丹沢山麓にやや稀。

オニカナワラビ　Arachniodes simplicior var. major

樹林内に生える。南丹沢山麓にやや稀。

リョウメンシダ　Arachniodes standishii

湿った樹林内に生える。丹沢では南部の山麓にやや普通。

ナンタイシダ Athyriorumohra maximowiczii

ブナ帯の樹林内にやや普通。犬越路、檜洞丸、同角山稜、大室山、原小屋沢、大滝沢、畦ヶ丸山などから記録されている。

カラクサイヌワラビ Athyrium clivicola

湿った樹林内に生える。南丹沢から西丹沢にやや稀。

ホソバイヌワラビ Athyrium iseanum

沢筋の樹林内に生える。県内では各地に散在するが少ない。

イヌワラビ Athyrium niponicum

山麓から稜線まで普通。

ヤマイヌワラビ Athyrium vidalii

山麓から稜線まで普通。

ヒロハイヌワラビ Athyrium wardii

沢筋の樹林内にやや普通。

ヘビノネゴザ Athyrium yokoscense

山麓から稜線まで普通。

ホシダ Christella acuminata

山麓に普通。

●イッポンワラビ Cornopteris crenulatoserrulata

ブナ帯の湿った樹林内に生える。県内では丹沢と箱根に記録があるが、最近の報告はなく、RDB では絶滅種とされた。丹沢では鍋割山、塔ノ岳、蛭ヶ岳、檜洞丸などにあったという。

シケチシダ Cornopteris decurrenti-alata

湿った樹林内に生える。県内では箱根周辺に多く、丹沢では南部の山麓に稀に見られるのみ。

ハコネシケチダ Cornopteris × christenseniana

イッポンワラビとシケチシダの雑種。沢筋の湿った樹林内にやや稀。県内では丹沢と箱根にのみ分布。

キヨスミヒメワラビ Ctenitis maximowicziana

樹林内に生える。暖地性のシダで、丹沢では南部の山麓にやや稀に見られる。

メヤブソテツ Cyrtomium caryotideum

沢筋の湿った樹林内に生える。県内では西半部に散在するが数は少なく、RDB でも減少種とされた。丹沢では南部の山麓に稀。

オニヤブソテツ Cyrtomium falcatum

樹林内や岩場に生える。県内では沿海地に多く、丹沢では南部の山麓にやや

稀。

ヤブソテツ　Cyrtomium fortunei

山麓に普通。

ヤマヤブソテツ　Cyrtomium fortunei. var. clivicola

山麓に普通。

ミヤコヤブソテツ　Cyrtomium fortunei var. intermedium

樹林内や岩場に生える。南丹沢山麓にやや稀。県内では西半部に散在するが数は少ない。

●ツクシヤブソテツ　Cyrtomium macrophyllum var. tukusicola

RDBでは絶滅危惧種とされた。

ホソバシケシダ　Deparia conilii

山麓から稜線まで普通。

シケシダ　Deparia japonica

山麓に普通。

ムクゲシケシダ　Deparia kiusiana

湿った樹林内に生える。丹沢では松田町の中津川流域で採集されたのみ。県内では他に多摩丘陵、逗子市、南足柄市などで記録されたにすぎず、RDBでも絶滅危惧種とされた。

セイタカシケシダ　Deparia lasiopteris

シイ・カシ帯の湿った樹林内にやや普通。南部の山麓に多い。

オオヒメワラビ　Deparia okuboana

沢筋の湿った樹林内に生える。丹沢では宮ヶ瀬周辺、松田町の中津川、中川川、世附川から記録されている。県内では西半の山地に散在するが、数は少ない。

ナチシケシダ　Deparia petersenii

県内では箱根山麓や三浦半島に多い。

フモトシケシダ　Deparia pseudo-conilii

県内では箱根や多摩丘陵に多く、丹沢ではきわめて稀。

ハクモウイノデ　Deparia pycnosorum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内に生える。全体に毛や鱗片が少ないものをミヤマシケシダ D.albosquamata として分けることもある

ムサシシケシダ　Deparia×musashiensis

シケシダとセイタカシケシダの雑種。稀に見られる。

ヌリワラビ　Diplazium mesosorum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。

ミヤマシダ　Dipazium sibiricum var. glabrum

ブナ帯の樹林内に稀。県内では丹沢と箱根に分布。檜洞丸や塔ノ岳で採集された古い標本も残されている。

キヨタキシダ　Diplazium squamigerum

山麓から稜線まで普通。

●ヘラシダ　Diplazium subsinuatum

最近の調査では見出されていない。

ノコギリシダ　Diplazium wichurae

沢筋の湿った樹林内に生える。丹沢では稀。

ヤマイタチシダ　Dryopteris bissetiana

山麓に普通。

ミサキカグマ　Dryopteris chinensis

やや乾いた樹林内に生える。丹沢では各地に散在する。

オシダ　Dryopteris crassirhizoma

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。

イワヘゴ　Dryopteris cycadiana

湿った樹林内に生える。暖地性のシダで、丹沢では南部の山麓にやや稀に見られるのみ。

ベニシダ　Dryopteris erythrosora

山麓に普通。

シラネワラビ　Dryopteris expansa

ブナ帯の樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

アルバベニシダ　Dryopteris fuscipes

暖地の樹林内に生え、県内の分布は南部に偏る。丹沢では四十八瀬川で採集されたのみ。

サクライカグマ　Dryopteris gymnophylla

やや乾燥した樹林内に生える。丹沢ではやや稀。県内では各地に散在する。

オオイタチシダ　Dryopteris hikonensis

山麓に普通。

オオベニシダ　Dryopteris hondoensis

樹林内に生える。東丹沢から南丹沢にかけての山麓にやや普通。

ギフベニシダ　Dryopteris kinkiensis

暖地の樹林内に生える。県内では南部に散在するが少ない。丹沢では皆瀬川流域で採集されたのみ。

クマワラビ　Dryopteris lacera

山麓に普通。

ミヤマベニシダ　Dryopteris monticola

ブナ帯の樹林内にやや稀。県内では丹沢の高地にのみ産する。菰釣山や大室山などで採集されている。

トウゴクシダ　Dryopteris nipponensis

樹林内に生える。丹沢では南部の山麓にやや普通。

ミヤマクマワラビ　Dryopteris polylepis

中腹以上に普通。

ミヤマイタチシダ　Dryopteris sabaei

ブナ帯の樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根に多く見られ、稀に多摩丘陵でも見出されている。

ヒメイタチシダ　Dryopteris sacrosancta

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや普通。

イワイタチシダ　Dryopteris saxifraga

岩場にやや普通。

ナガサキシダ　Dryopteris sieboldii

湿った樹林内に生える。RDB では絶滅危惧種とされた。

ナガバノイタチシダ　Dryopteris sparsa

暖地の樹林内に生える。丹沢では南部の山麓に稀。県内では南部に分布するが、産地は少なく、RDB では減少種とされた。

オクマワラビ　Dryopteris uniformis

山麓に普通。

アイノコクマワラビ　Dryopteris × mituii

クマワラビとオクマワラビの雑種。

ミヤマオクマワラビ　Dryopteris × pseudopolylepis

ミヤマクマワラビとオクマワラビの雑種。RDB では絶滅危惧の雑種として取り上げている。

クマオシダ　Dryopteris × tokudai

クマワラビとオシダの雑種。

フジオシダ　Dryopteris × watanabei

オシダとオクマワラビの雑種。

エビラシダ　Gymnocarpium oyamense

渓谷の岩場に生える。大山が基準産地。大山周辺、西丹沢、早戸川、神ノ川などに多い。箱根には少ない。

ミゾシダ　Leptogramma mollissima

山麓に普通。

ホソバナライシダ(ナライシダ)　Leptorumohra miqueliana

シイ・カシ帯の樹林内に生える。南丹沢や西丹沢山麓からの報告が多い。

ヒメワラビ　Macrothelypteris torresiana var. calvata

山麓の林縁に普通。

ミドリヒメワラビ　Macrothelypteris viridifrons

山麓の林縁に普通。

クサソテツ　Matteuccia struthiopteris

沢筋の湿った樹林内にやや普通。山塊の中央では高所には分布しないが、三国山周辺では尾根上にも見られる。

ヤワラシダ　Metathelypteris laxa

山麓の樹林内に普通。

ヒメシダ　Metathelypteris palustris

湿った草地に生える。ヤビツ峠や三国峠周辺の草地に見られる。

イヌガンソク　Onoclea orientalis

山麓から稜線近くまで普通に見られる。

コウヤワラビ　Onoclea sensibilis var. interrupta

山麓に普通。

ハシゴシダ　Parathelypteris glanduligera

乾燥した樹林内にやや稀。葛葉川と用木沢で採集されている。

ハリガネワラビ　Parathelypteris japonica

山麓からブナ帯の樹林内まで普通に見られる。ふつう葉柄が褐色を帯びるが、稀に白藁色のものがありアオハリガネワラビ f.viridescens という。

メニッコウオシダ　Parathelypteris nipponica var. borealis

白石峠～畦ヶ丸山でメニッコウシダと考えられる標本が採集されている。富士山周辺には記録があるので、丹沢に分布していても不思議はない。箱根には確実な記録があり、RDB では絶滅危惧種とされた。

ミヤマワラビ　Phegopteris connectilis

ブナ帯の樹林内にやや普通。山塊の中央部の標高 1000 m以上に多い。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

ゲジゲジシダ　Phegopteris decursive-pinnata

山麓から稜線近くまで普通に見られる。

ツルデンダ　Polystichum craspedosorum

山麓から山中の沢筋の岩場に普通。

アスカイノデ　Polystichum fibrilloso-paleaceum

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

チャボイノデ　Polystichum igaense

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。

アイアスカイノデ　Polystichum longifrons

山麓に普通。

カタイノデ　Polystichum makinoi

樹林内にやや稀。丹沢では大山と小川谷の 2 か所で採集されている。県内の産地は少なく、湯河原方面と多摩丘陵の一部で見出されているにすぎない。

ヤシャイノデ　Polystichum neo-lobatum

西丹沢の渓流沿いの急斜面に稀。県内では丹沢のみに産する。全国的にも長野県と丹沢周辺に限って隔離分布する特殊な種類である。RDB では絶滅危惧された。

ツヤナシイノデ　Polystichum ovato-paleaceum

ブナ帯の樹林内に普通。

イワシロイノデ　Polystichum ovato-paleaceum var. coraiense

ブナ帯の樹林内にやや普通。

イノデ　Polystichum polyblepharum

山麓に普通。

サイゴクイノデ　Polystichum pseud-makinoi

シイ・カシ帯の樹林内に生える。南丹沢や玄倉川下流にやや稀。県内では箱根山麓や大磯丘陵周辺に見られ、稀に多摩丘陵や小仏山地からの報告もある。

オニイノデ　Polystichum rigens

沢筋の樹林内にやや稀。札掛、谷太郎林道、神ノ川、早戸川、中川川、皆瀬川などから報告がある。県内では西半の山地に点在するが数は少ない。

イノデモドキ　Polystichum tagawanum

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや普通。

ジュウモンジシダ　Polystichum tripteron

山麓から山中の湿った林床に普通。

●シムライノデ　Polystichum shimurae

山北町で採集された標本が東京大学に残されている。その後の報告はなく、RDB でも絶滅種とされた。

ヒメカナワラビ　Polystichum tsus-simense

樹林内に生える。丹沢では南側の山麓にやや普通。

オオキヨズミシダ　Polystichum tsus-simense var. mayebarai

樹林内に生える。丹沢では各方面の山麓にやや稀。

ドウリョウイノデ　Polystichum × anceps

アイアスカイノデとイノデの雑種。南丹沢から大山山麓にかけてやや普通。

ハタジュクイノデ　Polystichum × hatajukuense

アイアスカイノデとイノデモドキの雑種。南側の山麓で採集されているが、産地は少ない。

ホクリクイノデ　Polystichum × hokurikuense

アイアスカイノデとサカゲイノデの雑種。南丹沢山麓で採集されている。県内では稀で、RDB では絶滅危惧種の雑種として取り上げている。

ミウライノデ　Polystichum × miuranum

イノデとアスカイノデの雑種。南丹沢に稀。

ミツイシイノデ　Polystichum × namegatae

サイゴクイノデとカタイノデの雑種。RDB では絶滅危惧の雑種のとして取り上げている。

オオタニイノデ　Polystichum × ohtanii

アイアスカイノデとアスカイノデの雑種。南丹沢に稀。

ツヤナシイノデモドキ　Polystichum × pseudo-ovato-paleaceum

ツヤナシイノデとイノデモドキの雑種。RDB では減少種に相当する雑種として取り上げられた。

タカオイノデ　Polystichum × takaosanense

アイアスカイノデとツヤナシイノデの雑種。RDB では絶滅危惧の雑種として取り上げている。

●タチヒメワラビ　Pseudophegopteris bukoensis

ブナ帯の林縁や疎林内に生える。丹沢の高所にわずかな採集記録があるが、その後見出されず、RDB では絶滅種とされた。

コガネシダ　Woodsia macrochlaena

山麓の岩場にやや稀。仏果山、行者岳、ヒゴノ沢、蓑毛、物見峠、早戸川、中川川大滝沢、世附大又沢などで採集されている。県内では丹沢周辺と箱根に分布。

フクロシダ　Woodsia manchuriensis

ブナ帯の岩場に普通。丹沢や箱根の高所に多く、小仏山地にもわずかに見られる。

イワデンダ　Woodsia polystichoides

山麓から稜線までの岩場に普通。丹沢から小仏山地に多く見られ、箱根には少ない。

3.1.2. シシガシラ科　BLECHINACEAE

オサシダ　Struthiopteris amabilis

ブナ帯の樹林内や岩場に生える。丹沢では玄倉川と世附川流域にやや普通に見られる。丹沢と箱根に多く、小仏山地にも稀に見られる。

シシガシラ　Struthiopteris nipponica

ブナ帯の樹林内や岩場に生える。県内では丹沢と箱根で普通に見られ、稀に多摩丘陵からも報告された。

コモチシダ　Woodwardia orientalis

山麓の崖地などに普通。

3.1.2.1. チャセンシダ科　ASPLENIACEAE

ヒメイワトラノオ　Asplenium capillipes

渓谷の岩上に稀に生える。今回の調査では早戸川大滝で確認された。丹沢山や札掛タライゴヤ沢で採集された古い標本もある。県内では丹沢と箱根に記録があるが、箱根からは最近の報告はない。RDB では減少種とされた。

トラノオシダ　Asplenium incisum

山麓に普通。

クモノスシダ　Asplenium ruprechtii

山麓の岩場にやや稀。大山、早戸川大滝、津久井町大川原、世附川、玄倉、皆瀬川などから報告がある。

コバノヒノキシダ　Asplenium salerii

沢筋の岩場や人家の石垣に普通。

●チャセンシダ　Asplenium trichomanes

県内では鎌倉、箱根、山北町酒水の滝に現存し、RDB では絶滅危惧種とされた。

イワトラノオ　Asplenium varians

沢筋の岩場にやや普通。コバノヒノキシダと同じような所に生えるがずっと少ない。

●アオガネシダ　Asplenium wilfordii

山の岩場や人家の石垣などに生える。神奈川県では山北町皆瀬川流域で採集されたが、最近の報告はなく、RDB では絶滅種とされた。

3.1.2.2. ウラボシ科　POLYPODIACEAE

ミツデウラボシ　Crypsinus hastatus

山麓の岩場に普通。標高の高いユーシンや熊木沢にも見られる。

ミヤマウラボシ　Crypsinus veitchii

ブナ帯の岩場に稀。檜洞沢、熊木沢、畦ヶ丸山などで採集されている。県内で

は丹沢のみに産し、数も少ないので、RDB でも絶滅危惧種とされている。

マメヅタ　Lemmaphyllum microphyllum

山麓の岩場や樹幹に普通。

●ホテイシダ　Lepisorus annuifrons

ブナ帯の樹幹や岩上に生える。西丹沢を中心に記録が多いが、最近の報告はない。箱根でわずかに現存するのが確認されている。RDB では絶滅危惧種とされた。ヒメノキシノブ　Lepisorus onoei

山麓から稜線までの樹幹や岩場に普通。

ノキシノブ　Lepisorus thunbergianus

山麓から樹幹や岩に普通。

ナガオノキシノブ　Lepisorus thunbergianus var. angustus

ブナ帯の樹幹や岩上にやや稀。原小屋、熊木沢、檜洞などで採集されている。

ミヤマノキシノブ　Lepisorus ussuriensis var. distans

ブナ帯の樹幹や岩上に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

ヒメサジラン　Loxogramme grammitoides

沢筋の岩場や樹幹に生える。西丹沢を中心に古い記録は多いが、最近のものは今回の調査で確認された世附川大又沢のものだけである。

サジラン　Loxogramme saziran

沢筋の岩場や樹幹にやや稀に生える。今回の調査でも一ノ沢峠西面、織戸峠東側、水ノ木、大又沢などで確認できた。県内では丹沢のほかに箱根や小仏山地に分布する。

クリハラン　Neocheiropteris ensata

沢筋で湿った樹林内に生える。暖地性の種類で、丹沢では稀で、県内では箱根山麓、大磯丘陵、三浦半島などに多い。

オシャグジデンダ　Polypodium fauriei

ブナ帯の樹幹や岩上にやや稀に生える。大山、丹沢山、檜洞丸　畦ヶ丸山などで採集されている。

●イワダレヒトツバ　Pyrrosia davidii

やや乾いた岩場に生える。県内では山北町人遠で見出されただけである。この場所は県の天然記念物に指定されたが、残念ながら絶滅した。

ビロードシダ　Pyrrosia linearifolia

ブナ帯の樹幹や岩場に普通。丹沢では全域に散在するが、世附川流域に多い。

イワオモダカ　Pyrrosia hastata

ブナ帯の樹幹に生える。西丹沢ではやや普通に見られる。

ヤツシロヒトツバ　Pyrrosia×nipponica

ビロードシダとイワオモダカの雑種。今回の調査中に世附川大又沢イデン沢で樹幹に両親種とともに生えているのが見出された。

3.1.2.3. ヒメウラボシ科　GRAMMITIDACEAE

オオクボシダ　Xiphopteris okuboi

空中湿度の高い樹幹や岩上にコケと混じって生える。檜洞沢や中川川西沢から見出された。

3.2. 種子植物

3.2.1.1. イチイ科　TAXACEAE

カヤ　Torreya nucifera

山麓から稜線近くまで普通。

3.2.1.2. マキ科　PODOCARPACEAE

イヌマキ　Podocarpus macrophyllus

暖地の植物で、南部の山麓に稀に見られるのみ。

3.2.1.3. イヌガヤ科　CEPHAROTAXACEAE

イヌガヤ　Cephalotaxus harringtonia

山麓に普通。

3.2.1.4. マツ科　PINACEAE

モミ　Abies firma

山麓から中腹にかけて普通。

ウラジロモミ　Abies homolepis

標高 1000 m以上に普通。県内では丹沢にのみ産する。

●シラビソ　Abies veitchii

RDB でも絶滅種とされた。亜高山帯の植物で丹沢は分布の限界にあたる。

カラマツ　Larix kampferi

ブナ帯の沢筋やガレ場にやや普通。丹沢のものは植林木に由来するとされるが、富士山に近い三国峠周辺のものは自然分布の可能性もある。

ハリモミ　Picea polita

ブナ帯にやや普通。山塊の中央の標高の高い所に多い。最近は立ち枯れが目立つ。県内では丹沢のみに産する。

アカマツ　Pinus densiflora

山麓に普通。

チョウセンゴヨウ　Pinus koraiensis

今回の調査で丹沢からはじめて記録された。

ゴヨウマツ　Pinus parviflora

本来、亜高山帯に生える種類なので、丹沢は分布の限界である。RDB では減少種とされた。

クロマツ　Pinus thunbergii

山麓に普通。

コメツガ　Tsuga diversifolia

丹沢ではきわめて稀で、表尾根の行者岳で確認されただけである。RDB では減少種とされた。

ツガ　Tsuga sieboldii

山麓から稜線まで普通。

3.2.1.5. スギ科　TAXODIACEAE

スギ　Cryptomeria japonica

山麓から中腹にかけて野生のものも見られる。植林木に由来する自生状態のものは多い。

3.2.1.6. ヒノキ科　CUPRESSACEAE

ヒノキ　Chamaecyparis obtusa

三ツ峰などに自生と思われるものも見られる。植林木に由来する野生状態のものは多い。

サワラ　Chamaecyparis pisifera

植林木に由来するものは見られるが、本来の自生のものは丹沢にはないと考えられる。

アスナロ　Thujopsis dolaborata

植林されたものに由来する幼木を見るが、自生はないと考えられる。

3.2.1.7. イネ科　POACEAE

アオカモジグサ　Elymus racemifer

山麓や林道の路傍に普通。

タチカモジグサ　Elymus racemifer var. japonensis

山麓にやや普通。

カモジグサ　Elymus tsukushiensis var. transiens

帰化。山麓に普通。

ヤマヌカボ　Agrostis clavata

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地や路傍に普通。

ヌカボ　Agrostis clavata ssp. matsumurae

山麓の路傍や芝地に普通。

コヌカグサ　Agrostis gigantea

帰化。山麓に普通。山中での林道沿いや砂防工事現場に見られる。

コミヤマヌカボ　Agrostis mertensii

ブナ帯の岩場に稀。今回の調査で鬼ヶ岩周辺で採集された。高所のガレ場を精査すれば他所からも見出される可能性がある。県内では丹沢と箱根に産する。

ハイコヌカグサ　Agrostis stolonifera

帰化。宮ヶ瀬で採集された。

オオスズメノテッポウ　Alopecurus pratensis

帰化。林道の法面の緑化種子に由来するものと推定される。

メリケンカルカヤ　Andropogon virginicus

帰化。山麓の路傍に増えつつある。

タカネコウボウ　Anthoxanthum japonicum

ブナ帯の疎林に生える。

ハルガヤ　Anthoxanthum odoratum

帰化。山麓の草地に普通。

ホソセイヨウヌカボ　Apera interrupta

帰化。県内では札掛で採集されたのみ。

オオカニツリ　Arrhenatherum elatius

帰化。神植誌 1988 では清川村煤ヶ谷で採集されている。

コブナグサ　Arthraxon hispidus

山麓から稜線近くまで普通。

トダシバ　Arundinella hirta

山麓から稜線まで普通。

アズマガヤ　Asperella longearistata

沢筋の湿った樹林内に生える。西丹沢にのみ産する。県内では丹沢の他に小仏山地と湯河原に産する。

カラスムギ　Avena fatua

山麓の草地や路傍に普通。

ヒメアブラススキ　Apillipedium parviflora

県内では南部の沿海地に多く見られる。丹沢では松田町の寄で採集されただけである。

ヤマカモジグサ　Brachypodium sylvaticum

山麓から稜線まで普通。

ヒメコバンソウ　Briza minor

帰化。南丹沢山麓にやや普通。

ヤクナガイヌムギ　Bromus carinatus

帰化。南丹沢山麓にやや稀。県内では湘南の低地に多く、注意してさがせば

もっと見つかると思われる。

スズメノチャヒキ　Bromus japonicus

帰化。山麓の路傍にやや普通。

ハマチャヒキ　Bromus mollis

帰化。県内では宮ヶ瀬で採集されただけである。

キツネガヤ　Bromus pauciflorus

山麓の林縁に普通。

アレチノチャヒキ　Bromus sterilis

帰化。

ウマノチャヒキ　Bromus tectorum

帰化。

イヌムギ　Bromus unioloides

帰化。山麓の路傍に普通。

ホガエリガヤ　Brylkinia caudata

やや乾燥した樹林内に生える。丹沢では大山、丹沢三ツ峰山稜下部、三国峠周辺に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。

ノガリヤス　Calamagrostis brachytricha

山麓に普通。

ヤマアワ　Calamagrostis epigeios

湿った草地にやや普通。

ヒメノガリヤス　Calamagrostis hakonensis

山麓から稜線まで普通に生える。

ホッスガヤ　Calamagrostis pseudo-phragmites

河原にやや普通に見られる。

ヤマアワモドキ　Calamagrostis × yatabei

ヤマアワとノガリヤスの雑種。

オガルカヤ　Cymbopogon tortilis var. goeringii

山麓の草地にやや普通。

ギョウギシバ　Cynodon dactylon

山麓の路傍にやや普通。

カモガヤ　Dactylis glomerata

帰化。山麓や林道沿いに普通。砂防工事に伴って稜線付近にまで進入している。

タツノヒゲ　Diarrhena japonica

沢筋の樹林内に生える。西丹沢にやや稀。県内では箱根に多産する。

メヒシバ　Digitaria cilialis
　山麓の路傍や畑地に普通。
コメヒシバ　Digitaria radicosa
　山麓の路傍や空き地に普通。
アキメヒシバ　Digitaria violascens
　山麓の路傍や畑地に普通。
ヒメイヅビエ　Echinochloa crus-galli var. praticola
　山麓の路傍に普通。
オヒシバ　Eleusine indica
　山麓の路傍に普通。
シナダレスズメガヤ　Eragrostis curvula
　帰化。山麓の路傍や林道沿いに普通。
カゼクサ　Eragrostis ferruginea
　山麓の路傍に普通。
ニワホコリ　Eragrostis multicaulis
　山麓の路傍に普通。
オオニワホコリ　Eragrostis pilosa
　山麓の畦などの湿った所に生える。
コスズメガヤ　Eragrostis minor
　帰化。山麓の路傍にやや普通。
ナルコビエ　Eriochloa villosa
　山麓の土手などの草地に生える。
オニウシノケグサ　Festuca elatior ssp. arundinacea
　帰化。山麓や林道沿いに普通。
トボシガラ　Festuca parvigluma
　山麓から稜線まで普通。
オオウシノケグサ　Festuca rubra
　帰化。山麓から稜線付近まで見られる。ムカゴオオウシノケグサ f.vivipara も稀に見られる。
ドジョウツナギ　Glyceria ischyroneura
　沢筋の日当たりの良い水辺に生える。
ウラハグサ　Hakonechloa macra
　山麓から稜線までの岩場に普通。
ウシノシッペイ　Hemarthria sibirica
　湿った草地に生える。

コウボウ　Hierochloe odorata var. pubescens
草地に稀に生える。
シラゲガヤ　Holcus lanatus
帰化。林道や砂防工事現場などに生える。
ヤバネオオムギ　Hordeum distichon
帰化。山麓にやや稀。
ムギクサ　Hordeum murinum
帰化。大倉で記録された。
チガヤ　Imperata cylindrica
山麓の草地に普通。
チョウセンガリヤス　Kengia hackelii
山麓の土手などの草地に生える。
サヤヌカグサ　Leersia sayanuka
山麓の水辺に生える。
ネズミムギ　Lolium multiflorum
帰化。山麓の路傍に普通。
ホソムギ　Lolium perenne
帰化。山麓の路傍に普通。
ミチシバ　Melica onoei
林縁に生える。県内では西丹沢の三国峠や明神峠周辺に分布が限られる。
ササガヤ　Microstegium japonicum
山麓に普通。
ヒメアシボソ　Microstegium vimineum
山麓に普通。
アシボソ　Microstegium vimineum var. polystachyum
山麓に普通。
イブキヌカボ　Milium effusum
草地や林縁に生える。南丹沢と三国峠周辺に分布が限られる。県内では丹沢のみに産する。
カリヤスモドキ　Miscanthus oligostachyus
シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地に普通。県内では丹沢と箱根に産する。
オギ　Miscanthus sacchariflorus
山麓の湿った所に生える。
ススキ　Miscanthus sinensis
山麓から稜線まで普通。

タチネズミガヤ　Muhlenbergia hakonensis

山麓から稜線まで普通。

ネズミガヤ　Muhlenbergia japonica

山麓に普通。

オオネズミガヤ　Muhlenbergia longistolon

樹林内にやや稀に生える。神ノ川、早戸川、世附川、中川川、玄倉川などに産する。県内では西半の山地に散在するが、数は少ない。

キダチネズミガヤ　Muhlenbergia ramosa

林縁に生える。神奈川県には少なく、秦野市三廻部と多摩丘陵で採集されているにすぎない。

ケチヂミザサ　Oplismenus undulatifolius

山麓に普通。

コチヂミザサ　Oplismenus undulatifolius var. japonicus

山麓から稜線まで普通。

ヌカキビ　Panicum bisulcatum

山麓に普通。

オオクサキビ　Panicum dichotomiflorum

帰化。山麓の路傍や河原に普通。

シマスズメノヒエ　Paspalum Dilatatum

帰化。山麓の路傍に普通。

キシュウスズメノヒエ　Paspalum distichum

帰化。水辺に生える。河内川の塩沢で記録された。

アメリカスズメノヒエ　Paspalum notatum

帰化。山麓の路傍や土手にやや稀。

スズメノヒエ　Paspalum thunbergii

山麓に普通。

チカラシバ　Pennisetum alopecuroides

山麓に普通。

クサヨシ　Phalaris arundinacea

河原などの山麓の水辺に普通。

オオアワガエリ　Phleum pratense

帰化。砂防現場や林道の法面に見られる。

ヨシ　Phragmites australis

河原に普通。

ツルヨシ　Phragmites japonica

山麓から山中の渓流に普通。丹沢ではヨシよりも本種の方が多い。

ミゾイチゴツナギ　Poa acroleuca

山麓に普通。

タマミゾイチゴツナギ　Poa acroleuca var. submoniliformis

ミゾイチゴツナギの根元が膨らむ変種。

スズメノカタビラ　Poa annua

山麓に普通。

ツルスズメノカタビラ　Poa annua var. reptans

帰化。林道や砂防現場に生える。

コイチゴツナギ　Poa compressa

帰化。林道や砂防現場に見られる。

ヤマミゾイチゴツナギ　Poa hisauchii

山麓の樹林内に普通。

オオイチゴツナギ　Poa nipponica

帰化。山麓の路傍や牧草地に普通。

ナガハグサ　Poa pratensis

帰化。山麓の路傍、林道、砂防現場などに普通に見られる。

イチゴツナギ　Poa sphondylodes

山麓の路傍に普通。

ミスジナガハグサ　Poa subcaerulea

帰化。林道や砂防現場などに見られる。

オオスズメノカタビラ　Poa trivialis

帰化。山麓の路傍や牧草地に見られる。

ヒエガエリ　Polypogon fugax

山麓の路傍に普通。

アキノエノコログサ　Setaria faberi

山麓の路傍や畑地に普通。

キンエノコロ　Setaria glauca

山麓の路傍や空き地に普通。

コツブキンエノコロ　Setaria pallide-fusca

山麓の路傍や空き地に普通。

エノコログサ　Setaria viridis

山麓の路傍や畑地に普通。

カタバエノコロ　Setaria viridis f. japonica

河原に普通。

ムラサキエノコロ　Setaria viridis f. misera

山麓に母種と混成。

オオエノコロ　Setaria × pycnocoma

山麓の畑地に普通。

アブラススキ　Spodiopogon cotulifer

山麓の草地に普通。

オオアブラススキ　Spodiopogon sibiricus

山麓の草地に普通。

ネズミノオ　Sporobolus fertilis

山麓の草地や路傍に普通。

ヒロハノハネガヤ　Stipa coreana var. kengii

樹林内に生える。丹沢では神明峠～峰坂峠で採集されたのみ。県内では丹沢と箱根山麓で記録されている。

ハネガヤ　Stipa pekinensis

樹林内に生える。丹沢では仏果山周辺と焼山で採集されている。県内では丘陵から山地にかけて点在するが、数はそれほど多くない。

メガルカヤ　Themeda triandra var. japonica

草地に生える。南丹沢から東丹沢の山麓にやや稀。

カニツリグサ　Trisetum bifidum

山麓に普通。

イヌナギナタガヤ　Vulpia bromoides

帰化。松田町寄で記録された。

ナギナタガヤ　Vulpia myuros

帰化。山麓の路傍に普通。

シバ　Zoysia japonica

山麓の路傍や土手に普通。

3.2.1.8. タケ科　BAMBUSACEAE

カンチク　Chimonobambusa marmorea

逸出。日本産であるが、確実な自生地はわかっていない。県内では各所に植栽されるが、大山山麓には野性化した大群落がある。

マダケ　Phyllostachys bambusoides

逸出。山麓に植栽または野性化。

ハチク　Phyllostachys nigra var. henonis

逸出。山麓に植栽または野性化。

モウソウチク　Phyllostachys pubescens

逸出。山麓に植栽または野性化。

アズマネザサ　Pleioblastus chino

山麓に普通。葉が小型で巾が狭いハコネダケ型のものが中津渓谷で採集されている。

キボウシノ　Pleioblastus kodzumae

神奈川県の分布が東限にあたる。秦野市菩提と清川村煤ヶ谷で採集されている。

メダケ　Pleioblastus simonii

南丹沢山麓に稀。秦野市蓑毛や伊勢原市子易で採集されている。

ヤダケ　Pseudosasa japonica

逸出。山麓にやや稀に見られる。植栽もされるので野性のものか判断がつかないことも多い。

ミヤマクマザサ　Sasa hayatae

標高 1000 m以上の稜線に普通。稀に山麓にも見られる。丹沢山で記載されたタンザワザサ S. tanzawana やカリヨセザサ S. kariyosensis はともに本種と同じものである。

トクガワザサ　Sasa tokugawana

箱根の高所に群生している。丹沢では稀で、丹沢山と三国山で採集されている。

クマザサ　Sasa veitchii

逸出。植栽されたものが野性化している。

アズマザサ　Sasaella ramosa

宮ヶ瀬周辺と世附で採集されている。県内では西半の山地に散在するが、箱根周辺に多い。

シオバラザサ　Sasaella shiobarensis

秦野市堀西、山北町玄倉から記録されている。玄倉から報告されているセデンシノ Arundinaria sedinicola は本種と同じものである。

スズタケ　Sasamorpha borealis

山麓から稜線まで普通。

ホソバスズタケ　Sasamorpha borealis var. angustior

東丹沢に稀に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。

オカメザサ　Shibataea kumasasa

逸出。植栽または野性化。

3.2.1.9. カヤツリグサ科　CYPERACEAE

イトハナビテンツキ　Bulbostylis densa

芝地や裸地に生える。

オオイトスゲ(シロイトスゲ)　Carex alterniflora var. pseudostrigosa

山麓から標高 1000 m位までの樹林内に普通。

エナシヒゴクサ　Carex aphanolepis

河原や山麓の樹林内に生える。西丹沢にやや稀。

ツクバスゲ　Carex blepharicarpa var. stenocarpa

渓谷の岩場や稜線の風衝地に普通。渓谷では西丹沢に多い。南丹沢や大山周辺からは採集されていない。県内では丹沢と箱根に分布。

ヤマオオイトスゲ　Carex clivorum

シイ・カシ帯の樹林内に生える。北丹沢から東丹沢側の山麓に普通。南丹沢側は松田町まで分布しているが、山北町からは採集されていない。県内では丹沢から小仏山地にかけて分布。

ヒメカンスゲ　Carex conica

山麓から稜線まで普通。

ナルコスゲ　Carex curvicollis

渓谷の水際に普通。

ミヤマジュズスゲ　Carex dissitiflora

丹沢では稀。神植誌 1988 では明神峠直下の沢で採集されたのみ。

シラスゲ　Carex doniana

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

ケスゲ　Carex duvaliana

山麓の雑木林内に普通。ただし、西丹沢の世附や中川川流域からは採集されていない。

イトスゲ　Carex fernaldiana

標高 1200 m以上の稜線に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

タマツリスゲ　Carex filipes

湿った樹林内に生える。南丹沢山麓と西丹沢三国山方面にやや稀。

●オオタマツリスゲ　Carex filipes var. rouyana

樹林内に生える。大山で採集された古い標本が東京大学に残されているが、最近の報告はない。奥多摩には多いが、神奈川県内では見かけない。

オクノカンスゲ　Carex foliosissima

ブナ帯の樹林内に生える。檜洞丸から西の主稜線や沢筋の湿った樹林内にやや稀。県内では丹沢と箱根にのみ産する。

マスクサ　Carex gibba

山麓に普通。

ハコネイトスゲ　Carex hakonemontana

全体に小型で葉が狭く、苞葉がきわめて短いことでイトスゲから分けられた。箱根に多産するが、丹沢では不老山にわずかに見られるだけである。

ホソバヒカゲスゲ　Carex humilis

乾燥した明るい樹林内に生える。丹沢では稀。

カワラスゲ　Carex incisa

山麓から稜線まで普通。

アオバスゲ　Carex insaniae var. papillaticulmis

ブナ帯の樹林内に生える。蛭ヶ岳より西の主稜線上にやや稀に見られる。県内では丹沢と箱根に分布するが、箱根からは最近の記録がない。

ジュズスゲ　Carex inchnostachya

山麓の樹林内にやや稀。

ヒゴクサ　Carex japonica

山麓から山中のガレ場や林道沿いに普通。

イセアオスゲ　Carex karashidaniensis

ブナ帯のコケの生えた岩や倒木などにやや稀。塔ノ岳、丹沢山、檜洞丸、石棚山稜、ユーシン、世附大又沢などで採集されている。神植誌 1988 ではハガクレスゲに誤認されていた。

テキリスゲ　Carex kiotensis

山麓から山中の沢筋や林道沿いに普通。

ヒカゲスゲ　Carex lanceolata

山麓から中腹にかけての明るい林や草地に普通。

ナキリスゲ　Carex lenta

山麓の樹林内に普通。

アオスゲ　Carex leucochlora

山麓に普通。

メアオスゲ　Carex leucochlora var. aphanandra

山麓の土手や明るい樹林内に普通。

イトアオスゲ　Carex leucochlora var. filiculmis

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

ニイタカスゲ　Carex leucochlora var. morissonicola

標高の高い所に普通。

ヌカスゲ　Carex mitrata

丹沢山地の南側山麓にやや普通。

ノゲヌカスゲ　Carex mitrata var. aristata

南丹沢側の山麓にやや普通。

ヒメシラスゲ　Carex mollicula

ブナ帯の樹林内に稀。経ヶ岳と檜洞丸で採集されている。

カンスゲ　Carex morrowii

山麓から稜線までの樹林内に普通。

ミヤマカンスゲ　Carex multifolia

山麓から稜線まで普通。

シバスゲ　Carex nervata

山麓の土手などの芝地にやや稀。

ヒカゲハリスゲ　Carex onoei

ブナ帯の湿った樹林内に生える。分布は西丹沢と北丹沢に限られる。県内の分布は丹沢に限られる。いまのところ丹沢からコハリスゲと思われるものは見出されていない。

ホンモンジスゲ　Carex pisiformis

シイ・カシ帯の樹林内に生える。大山山麓や高松山周辺に多産するが、西丹沢や北丹沢にはない。

コカンスゲ　Carex reinii

山麓から稜線までの樹林内に普通。

コイトスゲ(ゴンゲンスゲ)　Carex sachalinensis var. iwakiana

主にブナ帯の樹林内に生える。神奈川県では箱根に多く、丹沢では南丹沢と三国山～不老山の尾根に分布する。

アブラシバ　Carex satzumensis

沢筋のガレ場に普通。

タガネソウ　Carex siderosticta

シイ・カシ帯からブナ帯の明るい樹林内に普通。

ヤワラスゲ　Carex transversa

南丹沢山麓に稀。

チャガヤツリ　Cyperus amuricus

山麓の路傍や畑地に普通。

ヒメクグ　Cyperus brevifolius var. leiolepis

水田畦などに生える植物であるが、林道沿いの溝や湿った所にも上がっている。

コゴメガヤツリ　Cyperus iria

山麓の路傍や畑地に普通。

カヤツリグサ　Cyperus microiria

山麓の路傍や畑地に普通。

ハマスゲ　Cyperus rotundus

山麓の路傍や畑地に普通。

カワラスガナ　Cyperus sanguinolentus f. nipponicus

水田雑草であるが、稀に林道沿いの溝などに見られる。

アイバソウ　Scirpus wichurae

山麓の湿地に生える。小穂が小枝に 1 個のものをアイバソウ f.wichurae、2～3個の小穂をつけるものがアブラガヤ f. concolor という。山中の貧栄養な環境ではアイバソウの型が多い。

3.2.1.10. ヤシ科　PALMAE

シュロ　Trachycarpus fortunei

山麓の樹林内に普通。子株ばかりで大きく育つものはない。

3.2.1.11. サトイモ科　ARACEAE

セキショウ　Acorus gramineus

山麓の沢筋にやや普通。

ホソバテンナンショウ　Arisaema angustatum

山麓から標高 1000 m位までに普通。

ミミガタテンナンショウ　Arisaema limbatum

山麓から標高 1000 m位までに普通。

ヒトツバテンナンショウ　Arisaema monophyllum

ブナ帯の林縁に普通。西丹沢で多く見られ、南丹沢や大山からはほとんど報告がない。仏炎苞の内側が黒紫色のものをクラハシテンナンショウ f. atrolinguum といい、母種に混じって見られる。県内では丹沢と箱根に分布。

ユモトマムシグサ　Arisaema nikoense

ブナ帯の樹林内にやや稀。丹沢と箱根の高所に分布し、丹沢では丹沢山と同角の頭で採集されている。

ムラサキマムシグサ　Arisaema serratum

山麓の樹林内に普通。

ヤマジノテンナンショウ　Arisaema solenochlamys

ブナ帯の樹林内にやや稀。県内では三国山から不老山の尾根のみで採集されている。

ハウチワテンナンショウ　Arisaema stenophyllum

ブナ帯の樹林内にやや普通。丹沢と箱根の高所にのみ産する。

ウラシマソウ　Arisaema urashima

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

カラスビシャク　Pinellia ternata

山麓の土手や畑地に普通。

3.2.1.12. ツユクサ科　COMMELINACEAE

ツユクサ　Commelina communis

山麓に普通。

ヤブミョウガ　Pollia japonica

シイ･カシ帯の樹林内に生える。南側の山麓に見られる。

トキワツユクサ　Tradescantia fluminensis

帰化。山麓に稀。

3.2.1.13. イグサ科　JUNCACEAE

イ　Juncus effusus var. decipiens

山麓の湿地に普通。

アオコウガイゼキショウ　Juncus papillosus

林道沿いの溝などの湿地にやや稀。

クサイ　Juncus tenuis

山麓から高所までの湿った路傍に普通。

スズメノヤリ　Luzula capitata

山麓の土手の芝地に普通。

ヤマスズメノヒエ　Luzula multiflora

山麓から稜線付近まで普通。

オカスズメノヒエ　Luzula pallescens

丹沢では稀。神植誌 1988 では丹沢山で採集されたのみ。

ヌカボウシソウ　Luzula plumosa var. macrocarpa

山麓から稜線までの樹林内に普通。

3.2.1.14. ユリ科　LILIACEAE

ネバリノギラン　Aletris foliata

ブナ帯の草地にやや稀。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

ノギラン　Aletris luteoviridis

ブナ帯の草地や岩場にやや稀。県内では丹沢と箱根に産する。

ノビル　Allium macrostemon

山麓の土手や畦に普通。

ヤマラッキョウ　Allium thunbergii

シイ･カシ帯からブナ帯の草地に生える。箱根には多いが、丹沢ではやや稀。ヤビツ峠周辺と三国峠～不老山に分布。

アマナ　Amana edulis

山麓の草地に稀。

キジカクシ　Asparagus schoberioides

シイ・カシ帯の草地に稀。

ウバユリ　Cardiocrinum cordatum

山麓からブナ帯までの樹林内に普通。

ホウチャクソウ　Disporum sessile

山麓の樹林内に普通。

チゴユリ　Disporum smilacinum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や明るい樹林内にやや普通。

シロバナショウジョウバカマ　Heloniopsis nipponica

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋の湿った岩場にやや稀。東丹沢から北丹沢にかけて多く見られる。西丹沢では玄倉川に限られる。県内では丹沢と箱根に分布。

ヤブカンゾウ　Hemerocallis fulva var. kwanso

山麓の土手や畦に普通。

ノカンゾウ　Hemerocallis fulva var. longituba

山麓の土手や畦などに普通。

コバギボウシ　Hosta albomarginata f. lancifolia

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや普通。

イワギボウシ　Hosta longipes

シイ・カシ帯上部からブナ帯の岩場や樹幹に普通。

オオバギボウシ　Hosta montana

山麓から中腹にかけての草地に普通。

ハナニラ　Ipheion uniflorum

帰化。山麓の路傍や畑地に生える。

ヤマユリ　Lilium auratum

山麓から標高 1000 m位までの草地に普通。

シンテッポウユリ　Lilium × formologo

帰化。山麓の路傍や土手に生える。

コオニユリ　Lilium leichtlinii var. tigrinum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや普通。

クルマユリ　Lilium medeoloides

ブナ帯の樹林内に稀。かつては塔ノ岳から大室山までの主稜線に広く見られたが、最近は蛭ヶ岳や大室山にわずかに見られるにすぎず、RDB でも絶滅危惧種とされた。箱根にも記録があるが、最近の報告はない。

ヒメヤブラン　Liriope minor

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地に普通。

ヤブラン　Liriope platyphylla

シイ・カシ帯の常緑樹林内に普通。

マイヅルソウ　Maianthemum dilataum

ブナ帯の樹林内に生える。標高 1000 m以上に普通に見られるが、大山からは報告がない。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

ジャノヒゲ　Ophiopogon japonicus

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

ナガバジャノヒゲ　Ophiopogon ohwii

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

オオバジャノヒゲ　Ophiopogon planiscapus

山麓の樹林内に普通。

ツクバネソウ　Paris tetraphylla

標高の高い所に多く、主稜線では普通に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。

クルマバツクバネソウ　Paris verticillata

ブナ帯の樹林内に稀。丹沢山や蛭ヶ岳などに産するが、ブナ林の荒廃により減少しつつある。RDB では減少種とされた。県内では丹沢の他に箱根と相模原市で記録されている。

ナルコユリ　Polygonatum falcatum

山麓から中腹にかけて普通。

ワニグチソウ　Polygonatum involucratum

丹沢では稀で、大山山麓にのみ産する。

ミヤマナルコユリ　Polygonatum lasianthum

シイ・カシ帯からブナ帯の明るい樹林内にやや稀。北丹沢に多い。

オオナルコユリ　Polygonatum macranthum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や明るい樹林内に普通。ナルコユリよりも標高の高い所に見られる。

アマドコロ　Polygonatum odoratum var. pluriflorum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や明るい樹林内にやや普通。

ヤマアマドコロ　Polygonatum odoratum var. thunbergii

葉の下面に細突起が密生する。アマドコロと分布に大差はない。

キチジョウソウ　Reineckia carnea

シイ・カシ帯の常緑広葉樹林内に生える。暖地の植物で丹沢では山麓に稀。

ツルボ　Scilla scilloides

山麓の草地に普通。

ユキザサ　Smilacina japonica

ブナ帯の樹林内にやや普通。県内では丹沢の高所に多く、稀に多摩丘陵にも見られるが、箱根にはない。

ハルナユキザサ　Smilacina robusta

ブナ帯の樹林内に稀。県内では丹沢のみに分布する。RDB では絶滅危惧種とされた。

サルトリイバラ　Smilax china

山麓から稜線近くまで普通。

シオデ　Smilax riparia var. ussuriensis

山麓に普通。

ヤマカシュウ　Smilax sieboldii

東丹沢から北丹沢にかけての山麓に見られる。県内の分布も丹沢から小仏山地に限られる。

ハナゼキショウ　Tofieldia nuda

渓谷の湿った岩場に生える。県内では丹沢玄倉林道と箱根金時山に産する。玄倉林道沿いには個体数も多い。

ホトトギス　Tricyrtis hirta

山麓から稜線まで普通。

サガミジョウロホトギス　Tricyrtis ishiiana

丹沢の特産種。南丹沢の沢筋の岩場にのみ産する。

タナガワホトトギス　Tricyrtis latifolia

ブナ帯の樹林内にやや稀。標高1200 m以上に見られ、西丹沢に多く見られる。県内の分布は丹沢の高所に限られる。

ヤマホトトギス　Tricyrtis macropoda

山麓から稜線まで普通。

エンレイソウ　Trillium smallii

ブナ帯の樹林内にやや普通。標高 1000 m以上に見られる。県内では丹沢、箱根、小仏山地に見られる。

シロバナエンレイソウ　Trillium tschonoskii

ブナ帯の樹林内にやや普通。標高 1000 m以上に見られる。県内では丹沢、箱根、小仏山地に分布。

オオバイケイソウ　Veratrum grandiflorum var. maximum

ブナ帯の樹林内や草地にやや普通。檜洞丸や丹沢山などではシカが好まないために本種が増加している。県内の分布は丹沢と箱根の高所に限られる。

ホソバシュロソウ　Veratrum maackii

ブナ帯の草地にやや普通。県内では丹沢、箱根、小仏の各山地に見られる。

シュロソウ　Veratrum maackii var. japonicum

ブナ帯の草地にやや稀。県内では丹沢や箱根の高所の他に多摩丘陵や相模原台地に見られる。

アオヤギソウ　Veratrum maackii var. parviflorum

ブナ帯の草地にやや稀。県内では丹沢と箱根の高所に分布。

3.2.1.15. ヒガンバナ科　AMARYLLIDACEAE

ヒガンバナ　Lycoris radiata

山麓の畦や草地に普通。

キツネノカミソリ　Lycoris sanguinea

山麓の草地にやや普通。

●オオキツネノカミソリ　Lycoris sanguinea var. kiusiana

世附の水の木で採集された古い標本が残されている。その後の記録はなく、RDB でも絶滅種とされた。

3.2.1.16. ヤマノイモ科　DIOSCOREACEAE

タチドコロ　Dioscorea gracillima

北丹沢山麓にやや稀。県内の分布も北半分に偏る。

ヤマノイモ　Dioscorea japonica

山麓に普通。

キクバドコロ　Dioscorea septemloba

山麓から稜線近くまで普通。

ヒメドコロ　Dioscorea tenuipes

山麓から中腹にかけて普通。

オニドコロ　Dioscorea tokoro

山麓から中腹にかけて普通。

3.2.1.17. アヤメ科　IRIDACEAE

ヒオウギ　Belamcanda chinensis

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや稀。大山から南丹沢にかけての山麓の草地に見られる。

ノハナショウブ　Iris ensata var. spontanea

ブナ帯の草地にやや稀。丹沢では宮ヶ瀬周辺と三国峠周辺に見られる。

ヒメシャガ　Iris gracilipes

シイ・カシ帯上部からブナ帯の岩場や乾いた樹林内に稀。丹沢では西丹沢の沢筋に見られる。県内の分布は丹沢と箱根に限られる。花が美しいので、園芸用に採取されやすく、RDB でも減少種とされた。

シャガ　Iris japonica

古くに中国より渡来し、野性化したといわれる。山麓に普通。

●アヤメ　Iris sanguinea

草地に生える。RDB でも絶滅種とされた。

キショウブ　Iris pseudacorus

帰化。ヨーロッパ原産。山麓の水湿地に普通。

ニワゼキショウ　Sisyrinchium atlanticum

帰化。北アメリカ原産。山麓の路傍や芝地に普通。

ヒメヒオウギズイセン　Tritonia × crocosmaeflora

帰化。栽培していたものが山麓に野性化。

3.2.1.18. ショウガ科　ZINGIBERACEAE

ミョウガ　Zingiber mioga

帰化。栽培されていたものが山麓に野性化。

3.2.1.19. ラン科　ORCHIDACEAE

エビネ　Calanthe discolor

山麓の樹林内にやや稀。RDB では減少種とされている。

ナツエビネ　Calanthe reflexa

西丹沢の樹林内に稀。かつては丹沢山塊内に点在していたようだが、今回の調査で世附から見出された。RDB では絶滅危惧種とされた。

●キソエビネ　Calanthe schlechteri

ブナ帯の樹林内に生える。丹沢産の古い標本が残されているが、最近の記録はない。箱根には現存する。

ユウシュンラン　Cephalanthera erecta var. subaphylla

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える。青根で採集された古い標本もある。最近、箱根でも現存が確認されている。RDB では絶滅危惧種とされた。

ギンラン　Cephalanthera erecta

山麓の明るい雑木林にやや稀。

キンラン　Cephalanthera falcata

山麓の明るい雑木林にやや稀。

ササバギンラン　Cephalanthera longibracteata

山麓の明るい雑木林にやや稀。ときに蛭ヶ岳や檜洞丸などの標高の高い所にも出現する。

オノエラン　Chondradenia fauriei

ブナ帯の風衝岩場にやや稀。丹沢山、蛭ヶ岳、檜洞丸、大室山などに生える。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

アオチドリ　Coeloglossum viride var. bracteatum

ブナ帯に生える。RDBでは絶滅危惧種とされた。

サイハイラン　Cremastra appendiculata

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

シュラン　Cymbidium goeringii

シイ・カシ帯の明るい雑木林にやや普通。

コアツモリソウ　Cypripedium debile

ブナ帯の樹林内に稀。スギやヒノキの植林内に見出されることが多い。今回の調査期間中には玄倉川流域や世附で見出すことができた。県内では丹沢にのみ産する。RDBでは減少種とされた。

クマガイソウ　Cypripedium japonicum

山麓の樹林内に稀。南丹沢や東丹沢の山麓に見られる。RDBでは減少種とされた。

●アツモリソウ　Cypripedium macranthum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地に生える。かつては姫次や鍋割山に見られたが今はない。RDBでも絶滅種とされた。

イチヨウラン　Dactylostalix ringens

亜高山針葉樹林帯に生える地生ラン。

セッコク　Dendrobium moniliforme

シイ・カシ帯からブナ帯の樹幹や岩上に着生する。今回の調査で世附川、玄倉川、南丹沢で観察されている。丹沢や箱根には古い記録が多数あるが、最近の報告は少なく、RDBでは減少種とされた。

ハコネラン　Ephippianthus sawadanus

ブナ帯の樹林内にやや稀。塔ノ岳～蛭ヶ岳～大室山の主稜線とその支尾根に点々と見られる。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。RDBでは減少種とされた。

アオスズラン(エゾスズラン)　Epipactis papillosa

ブナ帯の樹林内に稀に生える。県内の分布は丹沢に限られる。RDBでは減少種とされた。

カキラン　Epipactis thunbergii

シイ・カシ帯からブナ帯の湿地や草地に生える。丹沢ではやや稀。RDBでも減少種とされた。

ツチアケビ　Galeola septentrionaris

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える腐生ラン。丹沢ではやや稀。

●カモメラン　Galeorchis cyclochila

ブナ帯上部の樹林内に生える。RDB でも絶滅種とされた。

オニノヤガラ Gastrodia elata

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える腐生ラン。全体が緑色のものをアオテンマ f.viridis といい、丹沢ではこちらが多い。

シロテンマ Gastrodia elata var. pallens

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える腐生ラン。母種オニノヤガラやアオテンマに比べて全体に白色で著しく小さい。今回の調査で西丹沢と北丹沢で確認された。

ベニカヤラン(マツラン) Gastrochilus matsuran

常緑広葉樹や針葉樹の樹幹に着生する。県内では丹沢にのみに産する。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ベニシュスラン Goodyera macrantha

シイ・カシ帯からブナ帯にかけてのコケが生えているような林床や沢筋の湿った岩場などに稀に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。RDB でも減少種とされた。

ツリシュズラン Goodyera pendula

ブナ帯の樹幹に着生。今回の調査では双眼鏡を使いブナの樹幹を丹念に見てまわったところ、丹沢山周辺、蛭ヶ岳周辺、畦ヶ丸山周辺、世附などでかなりの個体数が確認された。県内では丹沢にのみ産する。

ミヤマウズラ Goodyera chlechtendaliana

シカ・カシ帯からブナ帯にかけての岩場に生える。県内では三浦半島に多く見られるが、丹沢では稀。

●ノビネチドリ Gymnadenia camtschatica

ブナ帯の湿った草地に生える。RDB でも絶滅種とされた。

●ムカゴソウ Herminium lanceum Var.longicrure

RDB では絶滅危惧種としている。

フガクスズムシ Liparis fujisanensis

ブナ帯の樹幹に着生。RDB では絶滅危惧種とされた。

セイタカスズムシソウ Liparis japonica

ブナ帯の樹林内や岩場に稀に生える。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ジガバチソウ Liparis krameri

ブナ帯の樹林内や岩場にやや稀に生える。分布には偏りがあり、西丹沢に多い。RDB では減少種とされた。

クモキリソウ Liparis krameri

ブナ帯の樹林内や岩場にやや稀に生える。分布には偏りがあり、西丹沢に多い。

RDBでは減少種とされた。

スズムシソウ Liparis makinoana

ブナ帯の樹林内に稀に生える。RDBでは減少種とされた。

コクラン Liparis nervosa

常緑広葉樹林内に生える。暖地の植物のため丹沢では稀。

●ヒメフタバラン Listera japonica

丹沢周辺では愛川町の三増峠付近に記録があるのみ。RDB でも絶滅種とされた。

アオフタバラン Listera makinoana

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内に稀に生える。RDBでも減少種とされた。

ホザキイチヨウラン Malaxis monophyllos

ブナ帯の樹林内に稀に生える。RDBでも減少種とされた。

ヒメムヨウラン Neottia asiatica

針葉樹林内に生えることが多い腐生ラン。RDBでも絶滅危惧種とされた。

サカネラン Neottia nidus-avis var.mandshurica

落葉樹林内に生える腐生ラン。かつては点々と分布していたらしく、複数の標本が残されている。

ミヤマモジズリ Neottianthe cucullata

ブナ帯の岩場に稀。RDB でも絶滅種とされていた。今回の調査で南丹沢に現存するのが再確認された。

●フジチドリ Neottianthe fujisanensis

ブナ帯の樹幹に着生。RDBでも絶滅種とされた

ヨウラクラン Oberonia japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹幹に着生。RDBでは減少種とされている。

コケイラン Oreorchis patens

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内にやや稀。分布は西丹沢に偏る。RDBでは減少種とされた。

ジンバイソウ Platanthera florenti

ブナ帯の樹林内にやや稀。分布は塔ノ岳、丹沢山、蛭ヶ岳、桧洞丸など山塊の中央部に限られる。箱根にも文献記録があるが、現存しない。RDBでは減少種とされた。

●ミズチドリ Platanthera hologlotis

ブナ帯の湿地や草地に生える。県内では箱根仙石原に現存する。丹沢では1950 年頃までは丹沢山、原小屋、風巻などに見られたが、その後の記録はない。

ツレサギソウ Platanthera japonica

ブナ帯の草地や林縁に稀。RDB では絶滅危惧種とされている。

オオバノトンボソウ Platanthera minor

山麓の雑木林に稀。多摩丘陵や箱根ではやや普通に見られるが、丹沢山麓には少ない。

キソチドリ Platanthera ophrydioides

RDB でも絶滅種とされた。

ナガバノキソチドリ Platanthera ophrydioides var.australis

ブナ帯の草地にやや稀。県内では丹沢の高所にのみ産する。表尾根、塔ノ岳、姫次、ユーシン中尾根、大室山、畦ヶ丸山などで確認されている。RDB では減少種とされた。

オオヤマサギソウ Platanthera sachalinensis

ブナ帯の樹林内にやや稀。大室山以西の甲相国境尾根には比較的多い。箱根の記録もあるが、現存するのは丹沢のみ。RDB では減少種とされた。

●ヤマトキソウ Pogonia minor

草地に生える。風巻で採集された古い標本が残されているが、最近の調査では見出すことができない。箱根方面では湯河原町に現存する。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ヒナチドリ Poneorchis chidori

ブナ帯の樹幹に着生。RDB でも絶滅種とされた。今回の調査で西丹沢で 40 年ぶりに再発見された。

ウチョウラン Poneorchis graminifolia

ブナ帯の岩場にやや稀。かつては登山道沿いでも見られたが、現在は、沢のつめの急峻な岩場に行かないと見出せない。県内では丹沢と箱根にある。RDB では減少種とされた。

カヤラン Saecochilus japonicus

樹幹に着生。横浜や鎌倉周辺の記録が多く、RDB では減少種とされた。

ネジバナ Spiranthes sinensis var.amoena

山麓に普通。

クモラン Taeniophyllum glandulosum

樹幹に着生。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ヒトツボクロ Tipularia japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯下部に稀。RDB でも絶滅危惧種とされた。

イイヌマムカゴ Tulotis iinumae

草地に稀。RDB でも絶滅危惧種とされた。

トンボソウ Tulotis ussuriensis

ブナ帯の樹林内にやや普通。

オオハクウンラン Vexllabium fissum

シイ・カシ帯の樹林内に生える。RDB では減少種とされた。

ハクウンラン Vexllabium nakaianum

シイ・カシ帯上部からブナ帯のコケの中などに生える。丹沢と箱根の高所にのみ産する。RDB では減少種とされた。

キバノショウキラン Yoania amgiensis

スギやヒノキの植林地に多く出現する。塔ノ岳、丹沢山、焼山、神ノ川、中川川上流などで採集されている。

3.2.1.20. ドクダミ科 SAURURACEAE

ドクダミ Houttuynia cordata

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

3.2.1.21. センリョウ科 CHLORANTHACEAE

ヒトリシズカ Chloranthus japonicus

シイ・カシ帯の明るい樹林内に普通。

フタリシズカ Chloranthus serratus

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

3.2.1.22. ヤナギ科 SALICAEAE

ヤマナラシ Populus sieboldii

崩壊地や河原にやや稀。

バッコヤナギ Salix bakko

シイ・カシ帯からブナ帯の河原や崩壊地周辺に普通。

オオキツネヤナギ Salix futura

県内では小仏山地から多摩丘陵に多く、丹沢では稀。今回の調査では早戸川で採集された。

カワヤナギ Salix gilgiana

河川敷などに生える。丹沢では山麓にやや稀。

ネコヤナギ Salix gracilistyla

渓流の水際に生える。中津渓谷周辺に多く見られたが、ダム建設で失われたものが多い。

イヌコリヤナギ Salix integra

イシイ・カシ帯からブナ帯下部の河原などに普通。

シバヤナギ Salix japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の崩壊地や岩場に普通。葉に絹毛が密生するものをヤ

マネコキヌヤナギ(キヌゲシバヤナギ)f.fauriei といい、比較的標高の高い所の岩場に見られる。

ミヤマヤナギ　Salix reinii

ブナ帯に稀。富士山の高山帯の岩石地に生えている。神奈川県では富士山に近い西丹沢三国峠付近にわずかに見られる。RDB では減少種とされた。

オノエヤナギ　Salix sachalinenisi

シイ・カシ帯からブナ帯下部の河原などに普通。

コゴメヤナギ　Salix serissaefolia

河原に生える。丹沢ではやや普通。

タチヤナギ　Salix subfragilis

河原に生える。山麓にやや普通。

バッコヤナギ×オノエヤナギ　Salix bakko × saehalinensis

津久井町東開戸で採集されている。

イケノヤナギ(オノエヤナギ×イヌコリヤナギ)　Salix × ikenoana

宮ヶ瀬周辺で採集されている。

シグレヤナギ(バッコヤナギ×シバヤナギ)　Salix × eriocataphylla

三国峠周辺で採集されている。

フジヤナギ(シバヤナギ×イヌコリヤナギ)　Salix × hisauchiana

三国峠周辺や犬越路で採集されている。

3.2.1.23. クルミ科　JUGLANDACEAE

オニグルミ　Juglans mandshurica ssp.sieboldiana

シイ・カシ帯の川岸などの水辺にやや普通。

サワグルミ　Pterocarya rhoifolia

ブナ帯の沢筋の湿った所に普通。

3.2.1.24. カバノキ科　BETULACEAE

ミヤマヤシャブシ　Alnus firma var.hirtella

シイ・カシ帯上部からブナ帯の崩壊地周辺に普通。

ケヤマハンノキ　Alnus hirsuta

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。葉の毛の多少でヤマハンノキとケヤマハンノキを分けてきたが、神奈川県産のものはすべてケヤマハンノキとした。

●ヤハズハンノキ　Alnus matsumurae

林ほか(1961)は桧洞丸、姫次、丹沢山を産地としてあげ、植物地理上注目すべき種類とコメントしている。最近の調査では確認できず、RDB でも絶滅種とされた。

ヒメヤシャブシ　Alnus pendula

丹沢ではやや稀で、南丹沢の崩壊地に多く見られ、北丹沢にも稀に産する。県内では丹沢と箱根にのみ産する。

オオバヤシャブシ　Alnus sieboldiana

シイ・カシ帯の崩壊地や岩場に普通。

ダケカンバ　Betula ermanii

ブナ帯上部に稀。新大日、鍋割山、丹沢山、蛭ヶ岳、小竿などで採集された。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ミズメ(ヨグノミネバリ)　Betula grossa

ブナ帯にやや普通。

シラカンバ　Betula platyphylla var.japonica

ブナ帯に稀。焼山登山道のものは植栽されたもの。県内では丹沢と小仏産地に分布。

サワシバ　Carpinus cordata

シイ・カシ帯上部からブナ帯の全域に普通。

クマシデ　Carpinus japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

アカシデ　Carpinus laxiflora

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

イヌシデ　Carpinus tschonoskii

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

ツノハシバミ　Corylus sieboldiana

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

アサダ　Ostrya japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯にやや稀。北丹沢から東丹沢にかけて見られる。

3.2.1.25. ブナ科　FAGACEAE

クリ　Castanea crenata

シイ・カシ帯からブナ帯下部にやや普通。

シナグリ　Castanea mollissima

逸出。山麓で植栽または野生化。

スダジイ　Castanopsis sieboldii

南丹沢の山麓にやや稀。

アカガシ　Cyclobalanopsis acuta

シイ・カシ帯からブナ帯下部にやや普通。カシ類のなかではもっとも標高の高い所まで見られる。

アラカシ　Cyclobalanopsis glauca

シイ・カシ帯に普通。

シラカシ　Cyclobalanopsis myrsinaefolia

南丹沢から西丹沢の山麓にやや普通。

ウラジロガシ　Cyclobalanopsis salicina

シイ・カシ帯に普通。

ツクバネガシ　Cyclobalanopisi sessilifolia

西丹沢には比較的多いが、他では稀。

ブナ　Fagus crenata

ブナ帯に普通。

イヌブナ　Fagus japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

クヌギ　Quercus acutissima

南側の山麓に普通。

ナラガシワ　Quercus aliena

丹沢では稀。

カシワ　Quercus dentata

南丹沢側の山麓にやや稀。かつては秦野が柏餅に使う、カシワの葉の集積地になっていたが、最近ではすっかりすたれてしまい、カシワそのものも減少してしまった。大山阿夫利神社には大木がある。

ミズナラ　Quercus mongolica var.grosseserrata

ブナ帯に普通。

コナラ　Quercus serrata

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

コガシワ　Quercus × takatorensis

カシワとコナラの雑種で、両者が生えている場所で稀に見られる。

3.2.1.26. ニレ科　ULMACEAE

ムクノキ　Aphananthe aspera

シイ・カシ帯に生える。南丹沢側の山麓に分布。

エゾノキ　Celtis jessoensis

シイ・カシ帯上部からブナ帯の沢筋に多い。南丹沢や大山からの報告はない。県内の分布も丹沢と小仏産地に限られる。

エノキ　Celtis sinensis var.japonica

シイ・カシ帯に普通。

ハルニレ　Ulmus davidiana var.japonica

丹沢では稀。長者舎、東沢～ゴーラ沢出合、世附金山沢で採集されている。

オヒョウ　Ulmus laciniata

ブナ帯にやや稀。北丹沢から西丹沢にかけて見られる。県内では丹沢にの産する。

ケヤキ　Zelkove serrata

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。葉の下面に毛の顕著なものをメゲヤキf.stipulaceaといい、稀に産する。

3.2.1.27. アサ科　CANNABIDACEAE

アサ　Cannabis sativa

帰化。栽培が禁止されているが、稀に野生化したものが記録される。

カナムグラ　Humulus japonicus

山麓の路傍や林縁に普通。

カラハナソウ　Humulus lupulus var.cordifolius

丹沢では稀。宮ヶ瀬周辺でのみ採集されている。

3.2.1.28. クワ科　MORACEAE

ヒメコウゾ　Broussonetia Kazinoki

シイ・カシ帯の林縁に普通。コウゾはカジノキとヒメコウゾの雑種と考えられ、丹沢では稀。

カジノキ　Broussonetia papyrifera

帰化。古くに栽培されていたものが稀に逸出している。

クワクサ　Fatoua villosa

山麓の畑地や路傍に普通。

イタビカズラ　Ficus oxyphylla

シイ・カシ帯の岩場にやや普通。

ヤマグワ　Morus auatralis

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

3.2.1.29. イラクサ科　URTICACEAE

ハマヤブマオ　Boehmeria arenicola

山麓の林縁や土手に生える。南丹沢山麓に稀。

カタバヤブマオ　Boehmeria dura

山麓の林縁に生える。南丹沢山麓に普通。

クサコアカソ　Boehmeria gracilis

山麓からブナ帯までの林縁や樹林内に普通。

オオバコアカソ　Boeheria gracili × spicata

コアカソとクサコアカソの雑種期限と推定される無融合生殖型の植物。山麓に普通。

ウスバラセイタソウ　Boehmeria hispidula
沿海地の植物で南部の山麓に稀。
ヤブマオ　Boehmeria japonica var.longispica
山麓の林縁に普通。
ツクシヤブマオ　Boehmeria kiusiana
丹沢では稀。
クサマオ　Boehmeria nivea var.concolor
山麓の林縁に普通。
ナンバンカラムシ　Boehmeria niver var.tenacissima
帰化。貫禄の路傍や土手にやや稀。
メヤブマオ　Boehmeria platanifolia
山麓の林縁に普通。
ナガバヤブマオ　Boehmeria sieboldiana
山麓の林縁や樹林内に普通。
コアカソ　Boehmeria spicata
山麓の林縁や樹林内に普通。無融合生殖型。
コバノコアカソ　Boehmeria spicata var.microphylla
山麓の林縁や樹林内に普通。コアカソの有性生殖型。
ヤナギイチゴ　Debregeasia edulis
暖地の植物で、丹沢では稀。
ヒメウワバミソウ　Elatostema umbellatum
シイ・カシ帯上部からブナ帯の沢筋にやや普通。
ウワバミソウ　Elatostema umbellatum var.majus
シイ・カシ帯上部からブナ帯の沢筋に普通。
ムカゴイラクサ　Laportea bulbifera
シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋に普通。
カテンソウ　Nanocnide japonica
山麓の路傍や土手に普通。
ミズ　Pilea hamaoi
シイ・カシ帯上部からブナ帯下部の沢筋に普通。
アオミズ　Pilea mongolica
シイ・カシ帯からブナ帯下部にかけての沢筋に普通。
イラクサ　Urtica thunbergiana
シイ・カシ帯の樹林内にやや稀。

3.2.1.30. ビャクダン科　SANTALACEAE

ツクバネ　Bukleya lancealalta

土壌の浅い乾いた尾根などに生える。丹沢では稀で、神ノ川、早戸川、中川川に少数の産地がある。

カナビキソウ　Thesium chinense

山麓の草地にやや稀。

3.2.1.31. ヤドリキ科　LORANTHACEAE

マツグム　Taxillus kaempferi

モミやツガなどの枝に寄生。東丹沢に稀。伊勢原市日向、札掛、一ノ沢峠、宮ヶ瀬で採集された。

ヤドリギ　Viscum album var.rubro-auranticum f.lutescens

ケヤキなどの枝に寄生。丹沢では稀。札掛と城ヶ尾峠で記録された。

3.2.1.32. ウマノスズクサ科　ARISTOLOCHIACEAE

ウマノスズクサ　Aristolochia debilis

主に河川の土手などに生え、丹沢では稀。

オオバウマノスズクサ　Aristolochia kaempferi

シイ・カシ帯上部までの林縁にやや普通。

タンザワウマノスズクサ　Aristolochia kaempferi var tanzawana

ブナ帯の林縁にやや普通。オオバウマノスズクサよりも標高の高い所に見られる。

フタバアオイ　Asarum caulecens

ブナ対の樹林内に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

ウスバサイシン　Asisarum sieboldii

1981年に丹沢山で採集されたが、その後消息不明になっていた。最近、蛭ヶ岳に現存することが確認された。県内の分布は丹沢に限られる。

ランヨウアオイ　Heteroteopa blumei

東丹沢から南丹沢にかけての樹林内にやや普通。

カントウカンアオイ　Heterotropa blumei

北丹沢から東丹沢の樹林内にやや普通。

ゾソウカンアオイ　Heterotropa savatieri ssp pseudosavatieri

西丹沢から南丹沢西部の樹林内にやや普通。

3.2.1.33. ツチトリモチ科　BALANOPHORACEAR

ミヤマツチトリモチ　Balanophora nipponica

ブナ帯に稀。主にカエデ類の根に寄生するといわれる。

3.2.1.34. タデ科　POLYGONACEAE

ミズヒキ　Antenoron filiforme

シイ・カシ帯からブナ帯まで普通。ギンミズヒキ f.albiflora やゴショミズヒキ f.bicolor も見られる。また、宮ヶ瀬でミズヒキとシンミズヒキの雑種が採集されている。

シンミズヒキ　Antrnoron neo-filiforme

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

オオツルイタドリ　Fallopia dentatoalata

帰化。

●クリンユキフデ　Bistorta suffulta

ブナ帯の樹林内に生える。

シャクチリソバ　Fagopyrum cymosum

帰化。

ソバ　Fagopyrum sagittatm,

帰化。山麓の路傍にやや稀。南丹沢側の山麓に多い。

ウナギツカミ　Persicaria aestiva

山麓の湿地にやや稀。

ミヤマタニソバ　Persicaria debilis

ブナ帯の沢筋の湿った樹林内に普通。

ヤナギタデ　Persicaria hydropiper

山麓の湿地や川の水際かに普通。

オオイヌタデ　Persicaria lapathifolia

山麓の路傍や河原に普通。

イヌタデ　Pericaria longiseta

山麓の路傍や畑地に普通。

オオネバリタデ　Persicaria makinoi

林道や崩壊地に生える。丹沢ではやや稀。

タニソバ　Persicaria nepalensis

山麓の路傍や畑地に普通。

オオケタデ　Persicaria orientalis

帰化。山麓の河原にやや普通。

イシミカワ　Persicaria perfoliata

山麓の林縁や路傍にやや普通。

ボントクタデ　Persicaria perfoliata

山麓の水湿地に生える。丹沢では稀で、塩水林道で採集されている。

サナエタデ　Persicaria scabra

山麓の路傍や畑地にやや稀。

ウラジロサナエタデ　Persicaria scabra var.salicifolia

山麓の路傍や畑地にやや稀。

ママコノシリヌイ　Persicaria sieboldii

山麓の路傍や河原などに普通。

アキノウナギツカミ　Persicaria sieboldii

シイ・カシ帯からブナ帯の水湿地に普通。

ミゾソバ　Persicaria thunberergii

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋の湿地などに普通。

オオミゾソバ　Persicaria thunbergii var.hastatortiloba

ミゾソバよりも山麓部に偏って見られる。

ヤマミゾソバ　Persicaria thunbergii var.oreophila

ミゾソバやオオミゾソバは平地でも見られるが、ヤマミゾソバは主に山間部に見られる。

ネバリタデ　Persicaria viscofera

林道や崩壊地にやや普通。

ハルタデ　Persicaria vulgaris

山麓の路傍や畑地に普通。

オオハルタデ　Persicaria vulgaris var.pubesvens

山麓の路傍や河原に普通。全体に大型でオオイヌタデと同混されていることが多い。

ハナタデ　Persicaria yokusaiana

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁や草地に普通。花穂が疎らなものをナガボハナタデ f.laxiflora といい、丹沢山中にはこの型が多い。

ミチヤナギ Polygonum aviculare

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

イタドリ　Reynoutria japonica

イイ・カシ帯からブナ帯の路傍や崩壊地に普通。

スイバ　Rumex acetosa

山麓の路傍や草地に普通。

ヒメスイバ　Rumex acetosella

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

アレチギシギシ　Rumex conglomeratus

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ギシギシ　Rumex japonicus

山麓の路傍や畑地に普通。

マダイオウ　Rumex madaio

山間の湿地に生える。

エゾギシギシ　Rumex obtusifolius var.agrestis

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。林道に沿ってかなり山奥まで進入している。ギシギシの仲間では本種がもっとも標高の高い所まで進出している。

3.2.1.35. アカザ科　CHENOPODIACEAE

シロザ　Chenopodium album

山麓の路傍や畑地に普通。

ケアリタソウ　Chenopodium ambrosioides var.pubescens

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

コアカザ　Chenopodium serotinum

山麓の路傍や畑地に普通。

カワラアカザ　Chenopodium virgatum

河川中流の河原に生える。

3.2.1.36. ヒユ科　AMARANTHACEAR

ヒナタイノコヅチ　Achyranthes fauriei

山麓の路傍や畑地に普通。

ヒカゲイノコヅチ　Achranthes japonica

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

イヌビユ　Amaranthus lividus var.asceudens

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ホソアオゲイトウ　Amaranthus hybridus var.patulus

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ホナガイヌビユ　Amaranthus viridis

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

3.2.1.37. ヤマゴボウ科　PHYTOLACCAEAE

コウシュヤマゴボウ　Phytolacca emericana

帰化。山麓の路傍や空き地に普通。

ヤマゴボウ　Phytolacca esculenta

帰化。丹沢では稀。

マルミノヤマゴボウ　Phytolacca japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯下部の林縁に生える。丹沢では谷太郎林道周辺と玄倉林道周辺に集中的に見られる。

3.2.1.38. ツルナ科　AIZOACEAE

ザクロソウ　Mollugo pentaphylla

山麓の路傍や畑地に普通。

3.2.1.39.スベリヒユ科　PORTULACACEAE

スベリヒユ　Portulaca oleracea

山麓の路傍や畑地に普通。

3.2.1.40.ナデシコ科　CARYOPHYLLACEAE

ノミノツヅリ　Arenaria serpyllifolia var.tenuior

山麓の路傍や河原にやや普通。

オランダミミナグサ　Cerastium glomeratum

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ミミナグサ　Cerastuim holosteoides ssp.triviale var.angustifolium

山麓の路傍や畑地に普通。

ナンバンハコベ　Cucubalus baccifer var.japonicus

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁や草地に生える。宮ヶ瀬、南丹沢山麓、世附から記録されている。

カワラナデシコ　Dianthus superbus var.longicalycinus

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や河原にやや普通。

フシグロセンノウ　Lychnis miqueliana

シン・カシ帯からブナ帯の林縁や草地にやや普通。

ワチガイソウ　Pseudostellaria heterantha

ブナ帯の樹林内にやや普通。標高 1200 m以上にみられる。大山からの報告はない。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ツメクサ　Sagina japonica

山麓の路傍や畑地に普通。

ムシトリナデシコ　Silene armeria

帰化。山麓の路傍にやや普通。

フシグロ　Silene firma

シイ・カシ帯からブナ帯下部の路傍や草地に普通。葉やがくに軟毛のあるものをケフシグロ f.pubescens といい、混生する。

ビランジ　Silene keisikei var.minor

ブナ帯の崩壊地にやや普通。山塊の中央部に多く、大山や世附川流域からは報告がない。県内では丹沢のみに産する。

ノミノフスマ　Stellaria alsine var.undulata

山麓の畑地に普通。

ウシハコベ　Stellaria aquatica

山麓の路傍や畑地に普通。

サワハコベ　Stellaria diversiflora

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋に普通。

コハコベ　Stellaria media

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ミドリハコベ　Stellaria media var.procera

山麓の路傍や畑地に普通。

オオヤマハコベ　Stellaria monosperma var.japonica

ブナ帯の沢筋の湿った樹林内に生える。西丹沢に多く、東丹沢や南丹沢からは報告がない。県内では丹沢と箱根にのみ産する。

ミヤマハコベ　Stellaria sessiliflora

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

3.2.1.41. ヤマグルマ科　TROCHODENDRACEAE

ヤマグルマ　Trochodendron aralioides

ブナ帯にやや普通。県内では丹沢と箱根にのみ産する。

3.2.1.42. フサザクラ科　EUPTELEACEAE

フサザクラ　Euptelea polyandra

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。沢筋に多い。

3.2.1.43. カツラ科　CEECIDPHYLLACEAE

カツラ　Cercidiphyllum japonicum

ブナ帯にやや稀。東丹沢の沢筋に比較的多く見られる。堂平の下部にはおおきな株がある。

3.2.1.44. キンポウゲ科　RANUNCULACEAE

カワチブシ　Aconitum grossdentatum

ブナ帯の樹林内に稀。堂平～丹沢山、姫次、桧洞丸、大室山で採種されている。県内の分布は丹沢の高所に限られている。花柄は無毛。雄しべはふつう無毛であるが、ときに開出した毛をもつものもあり、これはナンタイブシ A.komatsui と誤認されてきた。また、ヤビツ峠産の標本に基づいて記載されたヤビツブシ A.maruyamae はカワチブシと同一のものである。また、カワチブシとヤマトリカブトの雑種と思われるものもある。

ヤマトリカブト　Aconitum japonicum var.montanum

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。蛭ヶ岳の標本に基づいて記載されたタンザワブシ A.unguiculatum はヤマトリカブトの一型とされている。花柄には屈毛がある。雄しべはふつう有毛であるが、ときに無毛のものもあり、これはイブキトリカブ

トまたはキタヤマブシと誤認されてきた。大山のものにつけられたオオヤマブシ A.oyamese も雄しべ無毛のヤマトリカブトである。

イヌハコネトリカブト Aconitum × parahakonense

ヤマトリカブトとセンウズモドキの雑種由来と推定される種類。県内では不老山から三国山の尾根と湯河原で記録されている。花柄には屈毛と開出毛が混じる。

ルイヨウショウマ Actaea asiatica

ブナ帯の樹林内に稀。姫次、三国山、大棚ノ頭で採種されている。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ミチノクフクジュソウ Adonis multiflora

丹沢では宮ヶ瀬から鳥屋周辺に限って見られる。RDB では減少種とされた。これまで神奈川県からフクジュソウとして報告されていたものはすべて本種である。

ニリンソウ Anemone flaccida

東丹沢から南丹沢にかけての山麓の落葉広葉樹林内にやや普通。

スハマソウ(ミスミソウ) Anmone hepatica var.japonica f.variegata

丹沢では稀。RDB では減少種とされた。

キブネギク(シュウメイギク) Anemone hupehensis var.japonica

帰化。山麓に野生化したものを見る。

イチリンソウ Anemone nikoensis

東丹沢山麓にやや稀。

キクザキイチゲ Anemone pseudo-altaica

ブナ帯の樹林内に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

レンゲショウマ Anemonpsis macrophylla

ブナ帯の樹林内にやや稀。大室山以西に多い。

ヒメウズ Aquilegia adoxoides

シイ・カシ帯の路傍や草地に普通。

ヤマオダマキ Aquilegia buergeriana

ブナ帯の草地にやや普通。広く分布するが、大山周辺からは報告がない。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

オオバショウマ Cimicifuga acerina

ブナ帯の樹林内にやや普通。県内では丹沢と小仏山地に分布し、箱根にはない。

イヌショウマ Cimicifuga japonica

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

サラシナショウマ Cimicifuga simplev

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内や草地にやや普通。

ボタンヅル Clematis apiifolia

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

コボタンヅル Clematis apiifolia var.biternata

ボタンヅルより本変種の方が多い。

フジセンニンソウ Clematis fujisanensis

センニンソウに似ているが、葉が乾くと黒変する。丹沢では各方面に点在するが、やや稀。

ハンショウヅル Clematis japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

ムラサキアズマハンショウヅル Clematis japonica var.purpureofusca

ハンショウヅルとトリガタハンショウヅルの交雑起源と考えられている。県内では丹沢の高所にのみ産する。臼ヶ岳、大竿、大室山などで採集されている。

クサボタン Clematis stans

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁に普通。

センニンソウ Clematis terniflora

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁や河原などに普通。

トリガタハンショウヅル Clematis tosaensis

ブナ帯の林縁にやや稀。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。塔ノ岳、桧洞丸～犬越路、三国山、明神峠などで採集されている。

シロバナハンショウヅル Clematis williamsii

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁にやや普通。東丹沢や南丹沢に多い。西丹沢や北丹沢には少ない。

ウスギオウレン Coptis lutescens

ブナ帯の樹林内や沢筋の岩場にやや稀。県内では丹沢にのみ産する。林ほか(1961)にコセリバオウレンとされているのは本種と考えられる。

ツルシロカネソウ Dichocarpum stoloniferum

ブナ帯の沢筋の湿った所に生える。丹沢には普通に見られるが、箱根では稀。

トウゴクサバイオ Dichocarpum trachyspermum

シイ・カシ帯の湿った樹林内にやや稀。大山周辺に多く、これ以外では犬越路で採集されただけである。

ヤマシャクヤク Paeonia japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内にやや稀。葉の下面に毛のあるものをケヤマシャクヤク f.hirsuta といい、丹沢ではこの型が多い。

●ベニバナヤマシャクヤク Paeonia ovovata

RDB でも絶滅危惧種とされた。

オキナグサ　Pulsatilla cernua

シイ・カシ帯からブナ帯までの草地、崩壊地、渓谷などにきわめて稀。かつては山麓の茅場や山中の草地に見られたが、今では南丹沢、西丹沢に2～3の山地が見出されただけである。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ケキツネノボタン　Ranunculus cantoniensis

山麓の溝などにやや普通。

ウマノアシガタ　Ranuculus japinicus

シイ・カシ帯からブナの草地に普通。

キツネノボタン　Ranunculus silerifolius

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋に普通。全体に小さいものをヤマキツネノボタンというが、ここでは区別しなかった。

シギンカラマツ　Thalictrum actaefolium

礫地や乾いた樹林内に生える。県内では津久井町、愛川町、宮ヶ瀬などに産するが、数は少なく、RDB では減少種とされた。

ミヤマカラマツ　Thalictum filamentosum.var.tenerum

ブナ帯の林縁にやや普通。標高 1200 m以上に見られ、南丹沢や大山からは報告がない。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

アキカラマツ　Thalictrum minus var.hypoleucum

シイ・カシ帯の林縁や草地に普通。中津渓谷や道志川渓谷の岩場にはアキカラマツに類似のもので、5月下旬から6月上旬に開花するものがある。花期が早いのでイワカラマツ var.sekimotoanum の可能性がある。今後の検討課題であるが、中津渓谷の山地は宮ヶ瀬ダムにより水没してしまった。

モミジカラマツ　Trautvetteria japonica

ブナ帯の樹林内に生える。

3.2.1.45. アケビ科　LARDIZABALACEAE

アケビ　Akebia quinata

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁に普通。

ミツバアケビ　Akebia trifoliata

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁に普通。

ゴヨウアケビ　Akebia × pentaphylla

アケビとミツバアケビの雑種。やや稀に見つかる。

3.2.1.46. メギ科　BERBERIDACEAE

メギ　Berberis thunbergii

シイ・カシ帯からブナ帯までの林縁や風衝地にやや普通。

ルイヨウボタン　Caulophyllum robustum

ブナ帯の樹林内に稀。県内からは最近の調査では蛭ヶ岳以外では見つかっていない。RDB でも絶滅危惧種とされた。

イカリソウ　Epimedium grandiflorum bar.thunbergianum

山麓の明るい雑木林にやや稀。道志川沿いと南丹沢の秦野盆地側山麓から記録されている。

ナンテン　Nandina domestica

帰化。山麓の樹林内に逸出。

3.2.1.47. ツヅラフジ科　MENISPERMACEAE

アオツヅラフジ　Cocculus trilobus

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

コウモリカズラ　Menispermum dauricum

シイ・カシ帯の林縁に生える。東丹沢から北丹沢の山麓にやや稀。

オオツヅラフジ　Sinomenium acutum

シイ・カシ帯上部までにやや普通。

3.2.1.48. モクレン科　MAGNOLIACEAE

アケビガキ　Asimina triloba

帰化。山麓に稀。

シキミ　Illicum anisatum

シイ・カシ帯にやや普通。

サネガズラ　Kadsura japonica

シイ・カシ帯の林縁にやや普通。南丹沢から西丹沢山麓に多い。

コブシ　Magnolia praecocissima

シイ・カシ帯からブナ帯にやや稀。神奈川県では丘陵に多く、丹沢では世附川流域に多い。

ホオノキ　Magnolia obovata

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

マツブサ　Schisandra nigra

ブナ帯の林縁に普通。県内では丹沢、箱根、小仏の各山地に分布する。

3.2.1.49. クスノキ科　LAURACEAE

クスノキ　Cinnamomum camphora

帰化。古くから植栽され、南部の山麓に野生化したものを見る。

ヤブニッケイ　Cinnamomum japonicum

暖地の植物で南部の山麓にやや普通。

ニッケイ　Cinnamomum okinawense

帰化。古くから栽培され、野生化したものを稀に見る。

ヤマコウバシ　Lindera glauca

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁にやや普通。

ダンコウバイ　Lindera obtusiloba

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

アブラチャン　Lindera praecox

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

クロモジ　Lindera umbellata

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

カゴノキ　Litsea coreana

シイ・カシ帯に生える。南丹沢から大山山麓にやや稀。

ブタノキ　Machilus thunbergii

シイ・カシ帯に生える。丹沢では南部の山麓にやや普通。清川村煤ヶ谷には大木があり、県の名木 100 選に選ばれている。

シロダモ　Neolitsea sericea

シイ・カシ帯に普通。

3.2.1.50. ケシ科　PAPABERACEAE

ヤマブキソウ　Chelidonium Japonicum

中津渓谷から早戸川にかけての林縁にやや稀。県内では北部にのみ産し、箱根方面にはない。RDB では減少種とされた。

クサノオウ　Chelidonium majus var.asiaticum

山麓にやや普通。

ジロボウエンゴサク　Corydalis decumbens

山麓の樹林内にやや普通。南丹沢側に多く、北丹沢からは報告がない。

ムラサキケマン　Corydalis incisa

山麓に普通。

ヤマエンゴサク　Cordalis lineariloba

小仏山地には多いが、丹沢では稀。

ミヤマキケマン　Corydalis pallida var.tenuis

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

タケニグサ　Macleaya cordata

山麓の路傍や荒れ地に普通。

3.2.1.51. アブラナ科　CRUCIFEAE

ミヤマハタザオ　Arabio lyrata var.kamtschatica

ブナ帯の崩壊地や河原に稀。

ハタザオ　Arabis glabra

河川敷や土手の砂地に生える。県内では沿海地に見られ、丹沢では玄倉で採集されたのみ。

ヤマハタザオ Arabis hirsuta

山麓から中腹にかけての路傍や草地に普通。

シコクハタザオ Arabis serrata var.sikokiana

ブナ帯の沢筋の岩場やガレ場に普通。県内では丹沢にのみ産する。

ハルザキヤマガラシ Baebarea unlgaris

帰化。山麓の河川敷や林道沿いの溝などにやや稀。

セイヨウカラシナ Brassica juncea

帰化。山麓の路傍や河川敷にやや稀。

セイヨウアブラナ Brassica napus

帰化。山麓の路傍や河川敷にやや稀。

アブラナ Brassica rapa var.nippooleifera

帰化。山麓の路傍や空き地にやや稀。

ヒメアマナズナ Camelina microcarpa

帰化。山麓の路傍や畑地に稀。津久井町青野原と山北町山市場で採集されている。

ナズナ Capsella burca-pastoris

山麓の路傍や畑地に普通

ミツバコンロンソウ Cardamine anemonides

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。

ヒロハコンロンソウ Cardamine appendiculata

沢筋の水際に生える。丹沢では西丹沢から北丹沢や早戸川方面に分布し、南丹沢や大山周辺からの報告がない。

タチタネツケバナ Cardamine fallax

山麓から中腹にかけての沢筋や林道沿いに普通。

タネツケバナ Cardamine flexuosa

山麓の路傍や畑地に普通。

ミズタネツケバナ Cardamine flexuosa var.latifolia

沢筋の水際に生える。

ミチタネツケナバ Cardamine hirsuta

帰化。増加しつつあり、今後、林道に沿って山奥にまで進入する可能性がある。

ジャニンジン Cardamine impatiens

シイ・カシ帯からブナ帯下部の路傍や沢筋にやや普通。

オオバタネツケバナ　Cardamine scutata

シイ・カシ帯の沢筋に普通。

マルバコンロンソウ　Cardamine tanakae

シイ・カシ帯の湿った樹林内に普通。

イヌナズナ　Draba nemorosa

山麓の路傍にやや稀。

マメグンバイナズナ　Lepidium virginicum

帰化。山麓の路傍に普通。

オランダガラシ　Nasturtium officinale

帰化。山麓の水路にやや普通。

ショッカサイ　Orychophragmus violaceus

帰化。山麓の路傍に普通。

ミチバタガラシ　Rorippa dubia

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

イヌガラシ　Rorippa indica

山麓の路傍や畑地に普通。

スカシタゴボウ　Rorippa islandica

山麓の路傍や水湿地に普通。

ワサビ　Wasabia japonica

逸出。

ユリワサビ　Wasabia tenuis

シイ・カシ帯からブナ帯下部の沢筋の湿った樹林内にやや普通。

3.2.1.52. ベンケイソウ科　CRASSULACEAE

●ミツバベンケイソウ　Hylotelephium verticillatum

RDB でも絶滅危惧種とされた。

アオベンケイ　Hylotelephium viride

ブナ帯の樹幹に稀。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ツメレンゲ　Orostachys japonicus

岩場に生える。県内では愛川町半原と道志川の渓谷で見出されている。

ホソバキリンソウ　Sedeum aizoon

RDB でも絶滅種とされた。

キリンソウ　Sedum aizoon var.floribundum

岩場や草地にやや稀。中津渓谷や道志川渓谷の岩場、三国峠周辺や犬越路の草地などで記録されている。

コモチマンネングサ　Sedum bulbiferum

山麓の路傍の石垣などに普通。

マツノハマンネングサ　Sedum hakonense

ブナ帯の樹幹に生える。広く分布するが、大山からは記録がない。丹沢の高所には普通に見られるが、箱根では稀である。

オノマンネングサ　Sedum lineare

帰化。山麓の人家の周りに多く、栽培されていたものが逸出していると思われる。

マルバマンネングサ　Sedum makinoi

帰化。山麓にやや稀。自生ではなく、栽培していたものから逸出した可能性が高い。

メキシコマンネングサ　Sedum mexicanum

帰化。山麓にやや普通。

ツルマンネングサ　Sedum sarmentosum

帰化。山麓の石垣などにやや普通。

ヒメレンゲ　Sedum subtile

渓流の水際に普通。

オカタイトゴメ　Sedum sp.

帰化。神植誌 1988 では大山や宮ヶ瀬で採集された。

3.2.1.53.ユキノシタ科　SAXIFRAGACEAE

フジアカショウマ　Astilbe fujisanensis

ブナ帯の風衝草地にやや稀。丹沢山、蛭ヶ岳、桧洞丸、大室山で記録されている。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

チダケサシ　Astilbe microphylla

山麓の草地に普通。

ヒトツバショウマ　Astilbe simplicifolia

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋の湿った岩場に普通。分布は山塊の中央部に偏り、大山周辺や世附川方面からの採集記録はない。県内では丹沢に多く、箱根では金時山にわずかに見られるにすぎない。

アカショウマ　Astilbe thunbergii

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

クサアジサイ　Cardiandra alternifolia

ブナ帯の樹林内にやや普通。

ハナネコノメ　Chrysosplenium albim var.stamineum

ブナ帯の沢筋の湿った所に普通。

イワネコノメソウ　Chrysosplenium echinus

ブナ帯の沢筋の湿った岩場にやや稀、西丹沢にのみ産する。桧洞丸、石棚山、同角ノ頭、小川谷、世附大又沢などで採集されている。

ツルネコノメソウ Chysosplenium flagelliferum

ブナ帯の沢筋の湿った岩場にやや普通。早戸川と神ノ川流域に見られ、県内の分布も丹沢に限られる。

ネコノメソウ Chrysosplenium grayanum

沢筋の湿ったところに生える。丹沢では山麓に稀。

ヤマネコノメソウ Chrysosplenium japonicum

シイ・カシ帯の沢筋の湿った樹林内やや普通。

イワボタン Chrysosplenium macrostemon

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋に普通。

ヨゴレネコノメ Chrysosplenium macrostemon var.atrandrum

シイ・カシ帯からブナ帯の沢筋に普通。

ムカゴネコノメ Chrysosplenium maximowiczii

シイ・カシ帯からブナ帯下部の沢筋の湿った湿った所に生える。丹沢では南丹沢から西丹沢にかけて普通に見られる。

ギンバイソウ Deinanthe gracilis

ブナ帯の沢筋の湿った樹林内にやや稀。分布は北丹沢から西丹沢に偏る。県内では丹沢のみに産する。

ウツギ Deutzia crenata

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

ヒメウツギ Deutzia scabra

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

マルバウツギ Deutzia scabra

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

ウメウツギ Deutzia uniflora

ブナ帯の岩場に稀。県内では丹沢にのみ産し、西丹沢から北丹沢にかけて見られる。

コアジサイ Hydrangea hirta

シイ・カシ帯上部からブナ帯の全域に普通。

タマアジサイ Hydrangea involucrata

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

ノリウツギ Hydrangea paniculata

ブナ帯の林縁や草地にやや普通。

ツルアジサイ Hydrangea petiolaris

ブナ帯に普通。県内では丹沢と箱根のみ産する。

ガクウツギ　Hydrangea scandens

シイ・カシ帯上部からブナ対の全域に普通。

ヤマアジサイ　Hydrangea serrata

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。葉が細かいものをアマギアマチャまたはホソバコガク f.angustata というが、特に区別する必要はないと考える。また、葉に立った毛があるものをイワガク f.pubescens といい、標高の高い所の岩場に多い。

コチャルメルソウ　Mitella pauciflora

ブナ帯の沢筋の湿った所にやや稀。箱根では広く産するが、丹沢では早戸川流域にのみ真られる。

シラヒゲソウ　Parnassia foliosa var.nummularia

ブナ帯の沢筋の湿った所に生える。中川川、玄倉川、神ノ川の上流域にやや普通。県内では丹沢にのみ産する。

ウメバチソウ　Parnassia palustris var.mulutiseta

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや稀。RDB では減少種とされた。

バイカワウツギ　Philadelphus satsumi

シイ・カシ帯からブナ帯にやや普通。

ヤシャビシャク　Ribes ambigunum

ブナ帯上部の樹幹に生える。丁寧に見ると大きい木にはたいていついている。県内では丹沢と箱根の高所に見られるが、箱根ではきわめて稀。RDB では減少種とされた。

ヤブサンザシ　Ribes fasciculatum

南丹沢山麓の秦野市落合から権現山周辺にのみ産する。県内の分布もこの流域に限られる。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ザリコミ　Ribes maximowiczianum

ブナ帯の樹林内に生える。

ヤグルマソウ　Rodgersia podophylla

ブナ帯上部にやや稀。県内では丹沢の高所にのみ分布。

ダイモンジソウ　Saxifraga fortunei var.incisolobata

ブナ帯の樹幹や沢筋の湿った岩場に普通。

ハルユキノシタ　Saxifraga nipponica

シイ・カシ帯からブナ帯下部の沢筋の湿った岩場に生える。分布には偏りがあり、北丹沢から東丹沢に見られる。

ユキノシタ　Saxifraga stolonifera

帰化。山麓の路傍や人家の石垣に普通。

イワガラミ　Schizophragma hydrangeoides

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

3.2.1.54. マンサク科　HAMAMELIDACEAE

オオバマンサク　Hamamelis japonica var.megalophylla

丹沢のものはすべてオオバマンサクである。分布には偏りがあり、北丹沢～東丹沢にやや普通に見られる。主稜線を西丹沢または南丹沢側に下ると、全く見られなくなる。丹沢と小仏山地に分布。母種のマンサクは県内では箱根に見られる。

3.2.1.55. バラ科　ROSACEAE

ヒメキンミズキ　Agrimonia nipponica

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。全体に広く分布するが、西丹沢からの採集記録が少ない。

キンミズヒキ　Agrimonia pilosa var.japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

ヤマブキショウマ　Aruncus dioicus vartenuifolius

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地や林縁に普通。

クサボケ　Chaenomeles japonica

シイ・カシ帯の草地に普通。

ヘビイチゴ　Duchesnea chrysantha

シイ・カシ帯の湿った草地に普通。

ヤブヘビイチゴ　Duchesnea indica

シイ・カシ帯の沢筋などの湿った樹林内に普通。

ビワ　Eriobotrya iaponica

帰化。南部の山麓に逸出したものを見る。

ツモツケソウ　Filipendula mulitijuga

ブナ帯の草地や林縁に普通。標高 1000 m以上に見られる。大山周辺からは採集記録がない。県内では丹沢と箱根に産する。

シロバナノヘビイチゴ　Frgaria nipponica

ブナ帯の草地に稀。丹沢では三国峠周辺と鍋割山で採集されている。県内では丹沢にのみ産する。箱根にもあるといわれるが、確認していない。

オオダイコンソウ　Geum aleppicum

ブナ帯に生える。丹沢では大室山から西へ続く尾根に多い。

ダイコンソウ　Geum japonicum

シイ・カシ帯からブナ帯まで普通。葉が深く切れ込んだ型をダイコンソウ var.iyoanum といい、稀に見られる。

ヤマブキ　Kerria japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部にかけて普通。

ミズ　Malus toringo

ブナ帯にやや普通。姫次～焼山の尾根と三国峠周辺に多い。

オオウラジロノキ　Malus tschonoskii

ブナ帯にやや普通。

ミツモトソウ　Potentilla cryptotaeniae

ブナ帯の草地にやや普通。

イワキンバイ　Potemtilla dickinsii

ブナ帯の岩場にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

キジムシロ　Potentilla frafarioides var.major

山麓の草地や明るい雑木林に普通。

ミツバツチグリ　Potentilla freyniana

シイ・カシ帯の草地や明るい雑草林に普通。

ヒメルツキジムシロ　Potentilla srolonifera var.yamanakae

ブナ帯の草地に稀。以前に神奈川県からツルキジムシロとして報告されたものは本種である。県内では西丹沢の三国峠周辺と箱根金時山周辺の2ヶ所にのみ産する。

オヘビイチゴ　Potentilla sundaica var.robusta

水田畦などに生える植物で、丹沢では山麓に見られるのみ。

ツルキンバイ　Potentilla yokusaiana

ブナ帯の疎林内に普通。県内では丹沢と箱根に産するが、箱根には少ない。

カマツカ　Pourthiaea villosa

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。葉の大きさや毛の量に変異が多い。

チョウジザクラ　Prunus apetala

シイ・カシ帯からブナ帯株にやや稀。丹沢での分布には偏りがあり、北丹沢から東丹沢に見られる。この地域以外では河内川塩沢で採集されただけである。

イヌザクラ　Prunus buergeriana

シイ・カシ帯にやや普通。

ウワミズザクラ　Prunus grayana

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

マメザクラ　Prunus incisa

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。チョウジザクラとマメザクラの雑種チョウジマメザクラ Prunus×mitsuminensis が宮ヶ瀬で採集されている。

ヤブザクラ　Prunus hisauchiana

東丹沢山麓に稀。小仏山地から多摩丘陵にかけて分布するが、宅地造成などで山地は減少しており、RDB でも絶滅危惧種とされた。

ヤマザクラ　Prunus jamasakura

シイ・カシ帯からブナ帯にかけて普通。

サトザクラ　Prunus lannesiana

山麓に普通。

ミヤマザクラ　Prunus maximowiczii

ブナ帯に普通。標高 100 m以上に出現する。

エドヒガン　Prunu pendula var.ascendens

シイ・カシ帯に稀。経ヶ岳、早戸川、世附川で採集されている。

オオヤマザクラ　Prunus sargentii

ブナ帯にやや普通。県内では丹沢と小仏山地に産する。

オオシマザクラ　Prunua speciosa

植栽または逸出。

シウリザクラ　Prunus ssiori

ブナ帯に生える。丹沢山で採集された古い標本が残されていたが、RDB でも絶滅種とした。

カスミザクラ　Prunus verecunda

シイ・カシ帯上部からブナ帯下部にやや普通。西丹沢に記録が多く、大山周辺や南丹沢の採集記録がない。

ソメイヨシノ　Prunus × yedoensis

植栽。山頂などに植栽されていることも多い。

ヤマナシ　Pyrus pyrifolia

帰化。中国原産で、古くから栽培され、稀に山中に逸出したものを見る。

フジイバラ　Rosa fujisanensis

ブナ帯の草衝草地や林縁に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

サンショウバラ　Rosa hirtula

箱根には多いが、丹沢では不老山から三国山の尾根に産するのみ。

モリイバラ　Rosa jasminoides

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁や疎林にやや普通。ただし、大山や南丹沢からの採集記録が少ない。

アズマイバラ　Rosa luciae

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁に普通。

ノイバラ　Rosa multiflora

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁や疎林に普通。アズマイバラとノイバラの雑

種が鍋割山～後沢乗越で採集されている。

テリハノイバラ Rosa wichuraiana

シイ・カシ帯の河原、崩壊地、草地にやや普通。

フユイチゴ Rubus buergeri

暖地の植物で丹沢では稀。

クマイチゴ Rubus crataegifolisu

シイ・カシ帯上部からブナ帯の崩壊地に普通。

ミヤマフユイチゴ Rubus hakonensis

シイ・カシ帯の樹林内に生える。丹沢では南丹沢からの報告が多い。

クサイチゴ Rubus hirsutus

シイ・カシ帯の林縁に普通。

バライチゴ Rubus illecebrosus

シイ・カシ帯からブナ帯の崩壊地に普通。

ミヤマニガイチゴ Rubus koehneanus

ブナ帯の崩壊地にやや稀。県内では丹沢の高所のみ産する。蛭ヶ岳、同角ノ頭、黍殻山、世附大又沢で採集されている。

クロイチゴ Rubus mesogaeu

ブナ帯の林縁や崩壊地にやや稀。

ニガイチゴ Rubus microphyllus

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁や崩壊地に普通。

モミジイチゴ Rubus palmatus var,coptophyllus

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁や崩壊地に普通。

ナワシロイチゴ Rubus parvifolius

シイ・カシ帯の草地や林縁に普通。

エビガライチゴ(ウラジロイチゴ) Rubus phoenicolasius

シイ・カシ帯上部からブナ帯の河原や崩壊地にやや普通。

サナギイチゴ Rubus pungens var.oldhami

シイ・カシ帯に稀。県内では三国峠～切通峠の草地で採集されたのみ。

カジイチゴ Rubus trifidus

暖地の植物で丹沢では稀。

ワレモコウ Sanguisorba officinalis

草原に生える。丹沢では三国山周辺を除いて、山麓に多い。

アズキナシ Sorbus clnifolia

ブナ帯にやや普通。

ナナカマド Sorbus commixta

ブナ帯上部にやや普通。標高 1200 m以上に産し、大山や畦ヶ丸山以西からの報告はない。県内では丹沢と箱根に分布。

ナンキンナナカマド　Sorbus gracilis

ブナ帯にやや普通。ナナカマドよりも低い所まで降りている。県内では丹沢に多く、箱根ではきわめて稀。

ウラジロノキ　Sorbus japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯にやや普通。丹沢では北面に多く、南丹沢の記録はない。

アイズシモツケ　Spiraea chmaedryfolia var.pilosa

ブナ帯の林縁に稀。丹沢山、玄倉林道、宮ヶ瀬、早戸川で採集されている。県内では丹沢と小仏山地に分布。

シモツケ　Spiraea japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や林縁にやや普通。富士・箱根地域には葉が小型の変種オヤマシモツケ var.alpina があり、丹沢では三国山周辺で稀。

ユキヤナギ　Spiraea thunbergii

帰化。本来は渓流に生える植物であるが、庭園に植えられる。稀に渓岸に野生化している。

コゴメウツギ　Stephanandra incisa

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

カナウツギ　Stephanandra tanakae

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。コゴメウツギとカナウツギの雑種ナカツカナウツギ Stephanandra incisa×tanakae が宮ヶ瀬で記録されている。

3.2.1.56. マメ科　*LEGUMINOSAE*

ネムノキ　Albizia julibrissin

山麓の河原などに普通。

イタチハギ　Amorpha frticosa

帰化。砂防用に種子がまかれる。

ヤブマメ　Amphicarpaea edgeworthii var.japonica

シイ・カシ帯の林縁に普通。

ウスバヤブマメ　Amphicaroaea edgeworthii var.trisperma

シイ・カシ帯上部からブナ帯に生える。丹沢で標高の高い所に見られるのは本変種である。

ホドイモ　Apios fortunei

シイ・カシ帯の林縁にやや普通。

ゲンゲ　Astragalus sinicus

逸出。山麓の水田や草地に生える。

ジャケイツバラ　Caesalpinia decapetala var.japonica

崩壊地や河原などに生える。丹沢では東丹沢から南丹沢の山麓にやや稀。

カワラケツイメ　Cassia mimosoides var.nomame

河原や土手に生える。丹沢ではやや稀。

フジキ　Cladeastis platycarpa

ブナ帯にやや普通。分布は北丹沢、西丹沢、東丹沢(早戸川流域)に偏る。

シロエニシダ　Cytisus leucantus

帰化。砂防用に種子がまかれる。

エニシダ　Cytisus scoparius

帰化。砂防用に種子がまかれる。

ケヤブハギ　Desmodium fallaxm

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

ヤブハギ　Desmodium mandshuricum

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

フジカンゾウ　Desmodium oldhamii

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

ヌスビトハギ　Desmodium oxyphyllum

シイ・カシの路傍や草地に普通。

アレチヌスビトハギ　Demodium paniculatu,

帰化。

マルバヌスビトハギ　Desmodium podocarpum

シイ・カシ帯の草地や林縁にやや稀。南丹沢山麓に見られる。

ノササゲ　Dumasia trucata

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

サイカチ　Gleditsia japonica

逸出。川辺に生えるが、寺社に栽植されることも多い。

ツルマメ　Glycube soja

山麓の草地に普通。

コマツナギ　Indigofera pseudo-tinctoria

山麓に普通。

マルバヤハズソウ　Kummerowia stipulacea

シイ・カシ帯の河原や芝地に普通。

ヤハズソウ　Kummerowia striata

シイ・カシ帯の河原や芝地に普通。

イタチササゲ　Lathyrus davidii

林縁や疎林内に生える。県内では南丹沢山麓にのみ分布する。秦野市横野、菩提。蓑毛、大倉などで採集されている。

ヤマハギ　Lespedeza bicolor

草原に生える。神ノ川、早戸川、玄倉川の河原と、三国峠付近の草地に分布。

キハギ　Lespedeza buergeri

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

メドハギ　Lespedeza cuneata

山麓の河原や路傍に普通。

マルバハギ　Lespedeza cytobotrya

シイ・カシ帯の草地や林縁に普通。

カワチハギ　Lespedeza cyrtobotrya var.kawachiana

マルバハギに似て枝や葉柄の毛が開出するもの。丹沢では神ノ川と早戸川方面に産する。

ツクシハギ　Lespedeza homoloba

草地に生える。県内では小仏山地や三浦半島などに稀に産する。丹沢には次の採集記録がある。

ニシキハギ　Lespedeza nipponica

帰化。公園などによく植栽される。林道の法面などに稀に見られる。

ネコハギ　Lespedeza pilosa

シイ・カシ帯の草地にやや普通。

タチネコハギ　Lespedeza pilosa var.erecta

母種に比べ葉が大きく、茎が立ち上がる。県内では稀。丹沢では半原越や宮ヶ瀬で採集されている。

ミヤギノハギ　Lespedeza rhunbergii

帰化。林道沿いに稀に見られる。

マキエハギ　Lespedeza birgata

山麓の草地にやや稀。

ミヤコグサ　Lotus corniculatus var.japonicus

山麓の土手などにやや稀。西丹沢には記録がない。

イヌエンジュ　Maackia amurensis var.buergeri

シイ・カシ帯からブナ帯かけて普通。

クズ　Pueria lobata

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁や疎林に普通。

トキリマメ　Phynchosia acuminatifolia

シイ・カシ帯の林縁に普通。東丹沢や南丹沢の山麓に見られ、西丹沢からの採集記録はない。

ハリエンジュ　Robinia pseudo-acacia

帰化。山麓に普通。

クララ　Sophora flavescens var.ongustifolia

草地に生える。山麓にやや稀。

コメツブツメクサ　Trifolium dubium

帰化。山麓の路傍には普通。最近は、林道に沿ってかなり山奥まで浸入している。

アカツメクサ　Trifolium pratense

帰化。山麓や林道沿いに普通。

シロツメクサ　Trifolium repens

帰化。林道添いや砂防現場に普通。

ツルフジバカマ　Vicia amoena var.lanataa

草原や河原に生える。丹沢では南丹沢と世附川流域に見られる。

ノハラクサフジ　Vicia amurensis

草原に稀。

ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)　Vicia angustifolia var.segetalis

山麓の路傍や畑地に普通。

ミヤマタニワタシ　Vicia bifolia

草地に生える。大山周辺に多く、それ以外では、宮ヶ瀬と焼山で採集されただけである。

スズメノエンドウ　Vicia hirsuta

山麓の路傍や畑地に普通。

オオバクサフジ　Vicia pseudo-orobus

草地にやや稀。東丹沢から南丹沢の山麓に多い。

カスマグサ　Vicia tetrasperma

山麓の路傍や畑地に普通。

ナンテンハギ　Vicia unijuga

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地に普通。

ヤブツルアズキ　Vigna angularis var.nipponensis

河川中流の河原などに多く、丹沢では玄倉で採集されているのみ。

フジ　Wisteria floribunda

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

3.2.1.57. フウロソウ科　GERANIACEAE

アメリカフウロ　Geranium carokinianm

帰化。山麓の路傍に稀。

タチフウロ　Geranium krameri

草原に生える。丹沢では三国峠周辺と大野山周辺にある。県内では各地にはは散在するが、数は少なく、RDB では減少種とされた。

ゲンノショウコ　Geraniu, nepalense var3thunbergii

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

コフウロ　Geranium tripartitum

ブナ帯の樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

3.2.1.58. カタバミ科　OXALIDACEAE

コミヤマカタバミ　Oxalis acetosella

ブナ帯上部の湿った樹林内に稀。県内では丹沢の高所にのみ産する。丹沢山、桧洞丸、原小屋沢、同角山稜などに分布。

カントウミヤマカタバミ　Oxalis griffithii var.kantoensis

シイ・カシ帯からブナ帯下部の湿った樹林内に生える。北丹沢から東丹沢山麓に多く、西丹沢では三国峠周辺に見られるのみ。

フシネハナカタバミ　Oxalis articulata

帰化。山麓の人家の周辺に見られる。

カタバミ　Oxalis corniculata

山麓の路傍や畑地に普通。

ムラサキカタバミ　Oxalis corymbosa

帰化。山麓の人家の周辺に見られる。

エゾタチカタバミ　Oxalis fontana

シイ・カシ帯上部からブナ帯の路傍や草地にやや普通。

3.2.1.59. ミカン科　RUTACEAE

マツカゼソウ　Boenninghausenia japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

コクサギ　Orixa japonica

シイ・カシ帯からブナ帯にかけて普通。

オオバキハダ　Phellodendron amurense var.japonicum

ブナ帯に普通。葉の下面脈上に毛が密生する変種。丹沢山中で見られるものは本変種である。分布は西部に多く、南丹沢や大山周辺からの採集報告がない。母種のキハダは人家の近くに植栽されたと思われるものがあるが、山中では見ない。

ミヤマシキミ　Skimmia japonica

シイ・カシ帯からブナ帯までの樹林内に普通。茎が地をはうものをツルシキミ var.intermedia f.repensといい、箱根ではほとんどツルシキミであるが、丹沢ではミヤマシキミとツルシキミの中間的なものが多い。

カラスザンショウ　Zanthoxylum ailanthoides

シイ・カシ帯にやや普通。

フユザンショウ　Zanthoxylum armatum var.subtrifoliatum

丹沢では稀で、大山周辺や宮ヶ瀬付近で見られる。

サンショウ　Zanthozylum piperitum

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。刺のないものをアサクラザンショウ f.inermeといい、まれに見られる。

イヌザンショウ　Zanthoxylum schinifolium

シイ・カシ帯に普通。

3.2.1.60.ニガキ科　SIMAROUBACEAE

ニガキ　Picrasma quassioide

シイ・カシ帯に普通。

3.2.1.61.ヒメハギ科　PLYGALACEAE

ヒメハギ　Polygala japonica

崩壊地や芝地に普通。

ヒナノキンチャク　Polygala tatarinowii

崩壊地や芝地に稀。

3.2.1.62.トウダイグサ科　EUPHORBIACEAE

エノキグサ　Acalypha australis

山麓の路傍や畑地に普通。葉に密に毛のあるものをビロードエノキグサ var.velutinaといい、稀に見られる。

アブラギリ　Aleurites cordata

帰化。乾性油を採るために栽培されていた。人家の近くに野生化したものを稀に見る。

オオニシキソウ　Euphorbia maculata

帰化。山麓の路傍に普通。

タカトウダイ　Euphorbia pekinensis var.onoei

シイ・カシ帯の草地に普通。

ナツトウダイ　Euphorbia sieboldiana

明るい雑木林や草地に生える。南丹沢に多い。

コニシキソウ　Euphorbia supina

山麓の路傍や畑地に普通。

アカメガシワ　Mallotus japonicus

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

ヒメミカンソウ　Phyllanthus matsumurae

山麓の路傍や畑地に普通。

アカトウゴマ　Ricinus communis f.sanguineus

帰化。仏果山で採集されている。

シラキ　Sapium japonicum

シイ・カシ帯からブナ帯にかけて普通。

ヒトツバハギ　Securrinega suffruticosa

県内の分布は特異で、横浜市西部と境川流域付近に見られる。最近、丹沢北麓で採集された。

3.2.1.63. *アワゴケ科　CALLITRICHACEAE*

アワゴケ　Callitriche japonica

人家の庭などの湿った裸地に生える。

3.2.1.64. *ドクウツギ科　CORIARIACEAE*

ドクウツギ　Coriaria japonica

谷筋のガレ場や河原に普通。

3.2.1.65. *ウルシ科　ANACARDIACEAE*

ツタウルシ　Rhus mabigua

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

ヌルデ　Rhus javanica var.roxburghii

シイ・カシ帯に普通。

ハゼ　Rhus succedanea

帰化。蝋をとるために栽培されたものが野生化。暖地に多く、丹沢では稀。

ヤマハゼ　Rhus sylvestris

シイ・カシ帯にやや稀。南丹沢から東丹沢側の山麓に見られる。

ヤマウルシ　Rhus trichocarpa

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁や疎林にやや普通。丹沢での分布には偏りがあり、早戸川、神ノ川、中川川、玄倉川の各流域に産する。

ウルシ　Rhus verniciflua

帰化。中国原産でかつて栽培されていたものだが、逃げ出して野生化している。

3.2.1.66. *モチノキ科　AQUIFOLIACEAE*

イヌツゲ　Ilex crenata

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

モチノキ Ilex integra

シイ・カシ帯に稀。

アオハダ Ilex macropoda

シイ・カシ帯からブナ帯にやや普通。南丹沢側ではやや稀。

イヌウメモドキ Ilex serrata var.argutidens

県内では箱根に多いが、丹沢には稀。三国山から不老山の尾根に見られるのみ。

3.2.1.67.ニシキギ科 CEKASTRACEAE

イワウメヅル Celastrus flagellaris

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁にやや稀。青根、世附、三国峠、大野山で採集されている。

ツルウメモドキ Celastus orbivulatus

シイ・カシ帯の林縁に普通。葉の下面脈上に突起毛のあるものをイヌツルウメモドキ f.papillosus という。

オニツルウメモドキ Celastrus orbiculatus var.strigillosus

葉がやや大きく、下面脈下に畝状の隆起があり、畝上にはしばしば突起毛が密生する。ツルウメモドキ、イヌツルウメモドキよりも標高の高い所に分布。

オオツルウメモドキ Celastrus stephanotifolius

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁に生える。各方面から報告があるが、数はあまり多くない。

ニシキギ Euonymus alatus

シイ・カシ帯の明るい樹林内に普通。枝に翼のないものをコマユミ f.ciliato-dentatus といい、同様に分布する。

オオコマユミ Euonymus alatus var.rotundatus

コマユミよりも枝が太く、葉も大きい。丹沢では稀。

ツルマサキ Euonymus fortunei

シイ・カシ帯からブナ帯下部にかけて普通。

ヒロハツリバナ Euonymus macropterus

ブナ帯上部にやや普通。おおむね標高 1200 m以上に出現する。大山からの報告はない。県内では丹沢の高所にのみ産する。

サワダツ Euonymus melananthus

ブナ帯の沢筋の樹林内にやや稀。分布は西丹沢と北丹沢に偏る。県内では丹沢と箱根に産する。

ツリバナ Euonymus oxyphyllus

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

マユミ　Euonymus sieboldianus

山麓に普通。

ユモトマユミ　Euonymus siebokdianus var.sanguineus

マユミよりも標高の高いところに分布し、丹沢山中で見るのは本変種が多い。

3.2.1.68. ミツバウツギ科　STAPHYLEACEAR

ゴンズイ　Euscaphis japonica

丹沢では東丹沢山麓の雑木林内にやや普通。

ミツバウツギ　Staphylea bumalda

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁に普通。

3.2.1.69. カエデ科　ACERACEAE

オオモミジ　Acer amoenum

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

アサノハカエデ　Acer argutum

ブナ帯上部にやや普通。標高 1200 m以上に分布し、大山にはない。県内では丹沢の高所にのみ分布。

ホソエカエデ　Acer capillipes

ブナ帯に普通。

チドリノキ　Acer carpinifolium

ブナ帯に普通。沢筋に多い。

ミツデカエデ　Acer cissifolim

シイ・カシからブナ帯下部にやや普通。

ウリカエデ　Acer cratagifolum

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

カジカエデ　Acer diabolicum

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

ヒトツバカエデ　Acer distylum

県内では甲相国境尾根の菰釣山付近に稀に見られるのみ。

ハウチワカエデ　Acer japonicum

ブナ帯に生える。

コミネカエデ　Acer micranthum

ブナ帯に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

オニイタヤ　Acer mono var.mabiguum

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。丹沢から小仏山地に多く、箱根では稀。

ウラゲンコウカエデ　Acer mono var.connivens

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

エンコウカエデ　Acer mono var.marmoratum

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

イトマキイタヤ(モトゲイタヤ)　Acer mono var.savatieri

ブナ帯上部に普通。オニイタヤが山麓からブナ帯下部に見られ、本変種がブナ帯上部に出現する。

メグスリノキ　Acer nikoense

シイ・カシ帯に普通。ただし、南丹沢や大山周辺からは報告がない。県内では丹沢から小仏山地に分布。

テツカエデ　Acer nipponicum

厚木市の植物調査で丹沢の分布が確認された。神奈川県新産。

イロハモミジ　Acer palmatum

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。

ウリハダカエデ　Acer rufinerve

ブナ帯に普通。

オオイタヤメイゲツ　Acer shirasawanum

ブナ帯に生える。標高 1000 m以上に普通に見られるが、大山からは報告がない。標高の低い所では経ヶ岳で採集されている。県内では丹沢と箱根に分布。

コハウチワカエデ　Acer sieboldiaum

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

ヒナウチワカエデ　Acer tenuifolium

ブナ帯に生える。西丹沢の中川川の西側では普通に見られるが、その他の地域では稀。県内では丹沢と箱根に分布。

3.2.1.70. トチノキ科　HIPPOCASTANACEAE

トチノキ　Aesculus turbinata

シイ・カシ帯上部からブナ帯にやや稀。丹沢では本谷川や一の沢峠周辺に比較的まとまって見られる。他の山地は単木が稀に見られるのみ。山北町神縄には大木があり、県の天然記念物に指定されている。丹沢から小仏山地に見られ、箱根では見かけない。

3.2.1.71. アワブキ科　SABIACEAE

アワブキ　Meliosma myriantha

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

ミヤマハハソ　Meliosma tenuis

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

3.2.1.72. ツリヅネソウ科　BALSAMINACEAE

キツリフネ　Impatiens noli-tangere

シイ・カシ帯からブナ帯下部の湿った樹林内にやや普通。

ツリフネソウ　Impatiens textori

シイ・カシ帯の湿地に生える。丹沢では沢筋の水際にやや普通。花序軸が無毛のものも見られ、これをラメラツリフネソウ f.nudipeduncuta という。

3.2.1.73. クロウメモドキ科　RHAMNACEAE

ヨコグラノキ　Berchemia berchemiaefolia

神奈川県ではきわめて稀。札掛周辺にわずかに生育している。

●ミヤマクマヤナギ　Berchemia pauciflora

岩場に生える。宮ヶ瀬と蛭ヶ岳で採集された古い標本が残されているが、最近の調査では発見できず、RDB でも絶滅種とされた。

クマヤナギ　Berchemia racemosa

シイ・カシ帯の林縁に普通。

オオクマヤナギ　Berchemia racemosa var.magna

ブナ帯の林縁に普通。クマヤナギに比べて標高の高い所に分布する。花序の葉の下面に毛があるものをケオオクマヤナギ f.pubescens といい、やや稀に見られる。

ケンポナシ　Hovenia dulcis

川辺や湿潤な斜面などに生える。丹沢では山麓に点在するが、西丹沢からの報告はない。葉に毛のあるものもあり、これがケケンポナシ B.tomentella として記録されていることがあるが、これはケンポナシの多毛品と考えられる。

クロカンバ　Rhamnus costata

ブナ帯にやや稀。丹沢での分布は甲相国境尾根と神ノ川に限られている。県内では丹沢のみに産する。

クロウメモドキ　Rhamnus japonica var.decipiens

シイ・カシ帯からブナ帯にやや普通。

コバノクロウメモドキ Rhamnus japonica var.microphylla

クロウメモドキの葉の小型な変種。やや稀。

3.2.1.74. ブドウ科　VITACEAE

ノブドウ　Ampelosos brevipedunculata var.heterophlla

シイ・カシ帯の林縁に普通。

ヤブカラシ　Cayratia japonica

シイ・カシ帯の林縁に普通。

ツタ　Partheocissu tricuspidata

シイ・カシ帯からブナ帯までの樹林内に普通。

ヤマブドウ　Vitis coignetiae

ブナ帯の林縁にやや普通。

サンカクヅル　Vitis flexuosa

シイ・カシ帯からブナ帯の全域に普通。毛の多い型をウスゲサンカクヅル f.tsukubana といい稀。

エビヅル　Vitis thunbergii

シイ・カシ帯の林縁に普通。

3.2.1.75. シナノキ科　TILIACEAE

カラスノゴマ　Corchoropsis tomentasa

山麓の路傍にやや普通。林道沿いに山奥まで入り込んでいる。

シナノキ　Tilia japonica

ブナ帯に普通。

ボダイジュ　Tilia miqunliana

帰化。中国原産で寺院周辺に逸出。したものを稀に見る。

3.2.1.76. マタタビ科　ACTINDIACEAE

サルナシ　Actinidia arguta

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁に普通。

ウラジロマタタビ　Actnidia arguta var.hypoleuca

サルナシと同じような所に生えるが、数は少ない。経ヶ岳、不動尻、菩提、札掛、仙洞寺山、畦ヶ丸山、用木沢で採集されている。

ミヤママタタビ　Actinidia kolomikta

ブナ帯の林縁に普通。

マタタビ　Actinidia polygama

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁に普通。

3.2.1.77. ツバキ科　THEACEAE

ヤブツバキ　Camellia japonica

シイ・カシ帯に普通。

サザンカ　Camellia sasanqua

帰化。庭木として栽培され、稀に野生化したものがる。

チャノキ　Camellia sinensis

帰化。山麓の樹林内に逸出。したものを見る。

サカキ　Cleyera japonica

暖帯の植物で、丹沢ではきわめて稀。

ヒサカキ　Eurya japonica

シイ・カシ帯に普通。

トウゴクヒメシャラ　Stewartia serrata f.sericea

ブナ帯に普通。標高 1000 m以上に広く分布しているが、大山周辺からの報告はない。葉の下面が無毛のものがヒコサンヒメシャラ f.serrata であるが、分ける必要はない。丹沢と箱根に産するが、箱根には標高の高い所に稀に見られる程度である。箱根に多いヒメシャラは丹沢からは報告がない。

3.2.1.78.オトギリソウ科　HYPERICACEAE

トモエソウ　Hypericum ascyron

草地にやや稀に生える。三ノ塔、菩提峠、中津渓谷、焼山、早戸川、犬越路、白石沢、不老山などで採集されている。

オトギリソウ　Hypericum erectum

シイ・カシ帯からブナ帯までの草地や林縁に普通。標高 1000 m以上には全体に小さく、叢生するものがあり、フジオトギリ var.caespitosum とされる。

クロテンコオトギリ　Hypericum hakonense f.imperfalatum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の岩場やガレ場に普通。葉に黒点のみがあるもの。丹沢のコオトギリはすべてこの品種である。箱根の高所にも見られるが、箱根には葉に明点のある母種のコオトギリの方が多い。

キンシバイ　Norysca patula

帰化。中国原産の鑑賞植物で、稀に山中の崖に野生しているのを見る。

3.2.1.79.スミレ科　VIOLACEAE

エゾノタチツボスミレ　Viola acuminata

ブナ帯の草地に生える。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ナガバノスミレサイシン　Viola bisseto

シイ・カシ帯の湿った樹林内に生える。丹沢では南丹沢から東丹沢の山麓に多く、西丹沢では稀で、明神峠で採種されただけである。

ヒゴスミレ　Viola cherophylloides var.sieboldiana

ブナ帯の草地や疎林に生える。県内では小仏山地と丹沢に分布。丹沢では姫次から焼山にかけての草地に稀。

エイザンスミレ　Viola eizanensis

シイ・カシ帯上部からブナ帯の全域に普通。

タチツボスミレ　Viola grypoceras

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

コタチツボスミレ　Viola grypoceras var.exilis

タチツボスミレの葉が小型の変種。母種に比べて、山地に多い。

ケイリュウタチツボスミレ　Viola grypoceras var.ripensis

渓流の増水時に冠水するような岩場に生える、小型の変種。中津渓谷、塩水川、玄倉川、用木沢、世附川などで採集されている。

サクラスミレ Viola hirtipes

ブナ帯の草地に生える。県内では小仏山地、丹沢、箱根に分布。

アオイスミレ Viola hondoensis

シイ・カシ帯の林縁に生える。南丹沢、東丹沢、北丹沢の山麓にやや普通。西丹沢山麓では記録がない。

コスミレ Viola japonica

山麓の路傍や人家の周辺に多い。丹沢での分布は南丹沢から東丹沢側に偏る。

ケマルバスミレ Viola keiskei f.okuboi

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や疎林に普通。稀に無毛品があり、これをマルバスミレ f.keiskeu という。

スミレ Viola mandshurica

草地に生える。丹沢では適した環境が少ないのか、あまり見かけない。

コミヤマスミレ Viola maximowicziana

ブナ帯の湿った樹林内にやや稀。宮ヶ瀬、焼山登山道、小川谷、尊仏の土平で採集されている。

ニオイタチツボスミレ Viola obtusa

シイ・カシ帯の草地や明るい樹林内に生える。丹沢では山麓にやや稀。

アカネスミレ Viola phalacrocarpa

シイ・カシ帯からブナ帯下部の明るい樹林内に普通。無毛品をオカスミレ f.glaberrima といい、母種と混生している。

アケボノスミレ Viola rossii

ブナ帯の疎林や林縁に生える。丹沢ではやや稀。

シコクスミレ Viola shikokiana

ブナ帯の樹林内に生える。大山から菰釣山までの標高の高い所に普通に見られる。県内では丹沢と箱根に分布。

ヒナスミレ Viola takedana

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内や河原などにやや普通に生える。丹沢ではほぼ全域に散在するが、南丹沢からの報告がない。・

ツボスミレ Viola verecunda

山麓の水湿地に普通。

アギスミレ Viola verecunda var.semilunaris

ツボスミレの葉が半月形の変種。丹沢では稀。県内では箱根仙石原に多く見ら

れる。

ヒカゲスミレ　Viola yezoensis

シイ・カシ帯の樹林内に生える。丹沢では稀。土山峠、寄、世附大又沢で採集されている。

3.2.1.80. ショウカイドウ科　BEGONIACEAE

ショウカイドウ　Begonia evansiana

帰化。山麓の人家の周辺に野生化。

3.2.1.81. イイギリ科　FLACOURTIACEAE

イイギリ　Idesia polycarpa

山麓に点在する。人家周辺に多く、人里離れた山中には稀。

3.2.1.82. キブシ科　STACHYURACEAE

キブシ　Stachyurus praecox

シイ・カシ帯からブナ帯にかけて普通。

コバノキブシ　Stachyurs praecox var.microphyllus

キブシ葉の小型な変種。やや乾いた岩場的な所に見られる。西丹沢からの報告が多い。

3.2.1.83. ジンチョウゲ科　THYMELAEACEAE

オニシバリ　Daphne pseudo-mezeleum

シイ・カシ帯の明るい雑木林にやや普通。

ミツマタ　Edgeworthia papyrifera

帰化。中国原産で古くから紙の原料として栽培された。現在は栽培されていないが、山中の樹林内に逸出したものを多く見る。

コガンピ　Wikstroemia ganpi

草地に生える。箱根には多いが、丹沢では大山周辺の草地に分布が限られる。

3.2.1.84. グミ科　ELAEAGUNACEAE

ツルグミ　Elaeagnus glabra

シイ・カシ帯の林縁に普通。

ハコネグミ　Elaeagnus matsunoana

丹沢では世附川の南半分にわずかに分布するのみ。サンショウバラが似たような分布をする。

マメグミ　Elaeagnus mantana

ブナ帯の林縁に普通。県内では丹沢と箱根の高所に分布。

ナツグミ　Elaeagnus multiflora

シイ・カシ帯の林縁にやや普通。

3.2.1.85. ウリノキ科　ALANGIACEAE

ウリノキ　Alangium platanifolium var.trilobum

シイ・カシ帯からブナ帯にかけて普通。

3.2.1.86. アカバナ科　ONAGRACEAE

ミヤマタニタデ　Circaea alpina

ブナ帯上部の湿った樹林内にやや普通。山塊の中央部の標高の高い所だけに見られる。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ウシタキソウ　Circaea cordata

湿った樹林内に生える。RDB でも絶滅危惧種とされた。

タニタデ　Circaea erubescens

シイ・カシ帯上部からブナ帯の湿った樹林内に普通。

ミズタマソウ　Circaea mollis

シイ・カシ帯に普通。

ヒロハミズタマソウ　Circaea mollis var.ovata

ミズタマソウの葉が広く、基部がやや心形になる変種。丹沢ではきわめて稀。神植誌 1988 の調査では、丹沢からは山北町皆瀬川で採集されただけであったが、その後、津久井からも採集された。

ケゴンアカバナ　Epilobium amurense

ブナ帯の沢筋の湿った所に普通。ほぼ全域から報告されている。

イワアカバナ　Epilobium cephalostigma

ブナ帯の沢筋の湿った所にやや普通。三ノ塔よりも西に分布し、大山周辺からの報告はない。県内では丹沢と箱根に分布。

ヒメアカバナ　Epillobium h¥fauriei

ブナ帯の河原やガレ場に稀。丹沢では塩水川流域と神ノ川に分布する。

トダイアカバナ　Epilobium formosanum

ブナ帯の河原やガレ場に稀。県内の分布は多に限られる。神植誌 1988 では塩水川上流で採集されただけであったが、今回の調査で熊木沢でも見出された。

アカバナ　Epilobium pyrricholophum

湿地に生える。丹沢では沢筋の日当たりの良い水湿地にやや普通に見かける。

メマツヨイグサ　Oenothera biennis

帰化。山麓や林道・砂防現場に普通。

オオマツヨイグサ　Oenothera erythosepala

帰化。山中の草地や林道に見られる。

コマツヨイグサ　Oenothera laciniata

帰化。山麓の路傍にやや稀。

3.2.1.87. アリノトウグサ科 HALORAGIDACEAE

アリノトウグサ Haloragis micrantha

草地に生える。丹沢では稀。

3.2.1.88. ヤマトグサ科 THELIGONACEAE

ヤマトグサ Thelygonum japonicum

シイ・カシ帯の樹林内に稀。秦野市丹沢寺山、表丹沢県民の森、ミズヒ沢、玄倉、山神峠、石棚登山道坂小屋沢、世附川林道で採集されている。県内では丹沢と箱根に分布。

3.2.1.89. ウコギ科 ARALIACEAE

オカウコギ Acanthopanax japonicus

シイ・カシ帯の林縁に普通。

コシアブラ Acanthopanax sciadophylloides

ブナ帯に普通。大山や標高 1000 m以下の前衛の山からは記録されていない。県内では丹沢と箱根の高所にのみ分布。

ヤマウコギ Acanthopanax spinosus

シイ・カシ帯の林縁に普通。東丹沢から南丹沢の山麓では普通であるが、西丹沢や北丹沢から報告がない。

ミヤマウコギ Acanthopanax trichodon

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内に普通。スギ植林内などにも多い。

ウド Aralia cordata

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や林縁に普通。

タラノキ Aralia elata

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁に普通。刺のほとんどないものをメダラ f.canescens といい、混生する。

●タカノツメ Evodiopanax innovans

RDB でも絶滅種とされた。

ヤツデ Fatsia japonica

山麓の樹林内に幼木を見る。標高の高いところでは丹沢山で採集されている。

キヅタ Hedera rhombea

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

ハリギリ Kalopanax pictus

シイ・カシ帯に普通。

ケハリギリ Kalopanax pictus var.magnificus

ブナ帯に普通。葉の下面に縮毛が密生する変種。ハリギリは山麓に、標高の高

い所には本変種が分布する。県内では丹沢のみに産する。

トチバニンジン　Panax japonicus

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。葉が細く、重鋸歯縁のものをホソバチクセツニンジンといい、やや稀に見られる。

3.2.1.90. セリ科　APIACEAE

ノダケ　Angelica decursiva

シイ・カシ帯の草地や林縁に普通。

アマニュウ　Angelica edulis

ブナ帯の草地や林縁に稀。神奈川県では丹沢大室山に分布が見られる。

イワニンジン　Angelica hakonensis

シイ・カシ帯上部からブナ帯の沢筋や風衝草地に普通。

ハナビゼリ　Angelica inaequalis

RDB でも絶滅種とされた。

シラネセンキュウ　Angelica polymorpha

シイ・カシ帯上部からブナ帯の沢筋に普通。

シシウド　Angelica pubescens

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や林縁に普通。

ミシマサイコ　Bupleurum falcatum var.kamarowi

草地にやや稀に生える。

セントウソウ　Chamaela decumbens

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に生える。東丹沢から南丹沢にかけての山麓と三国山周辺に多い。

ミツバ　Crytotaenia japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。小葉が分裂するものをウシミツバ f.disecta といい、稀に見られる。

セリモドキ　Dystaenia ibukiensis

神奈川県では横浜市北部と三国峠に稀産する。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ハナウド　Heracleum inpponicum

山麓の川辺の湿った所に生える。丹沢では山麓に稀。

ミヤマチドメ　Hydrocotyle japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

ノチドメ　Hydrocotyle maritima

シイ・カシ帯の草地や路傍に普通。

オオバチドメ　Hydrocotyle nepalensis

暖地の植物で、丹沢では大山山麓で採集されただけである。

オオチドメ　Hydrocotyle ramiflora

シイ・カシ帯の草地にやや普通。

チドメグサ　Hydocotyle sibthorpioides

山麓の路傍に普通。

ヒメチドメ　Hydrocotyle yabei

丹沢では稀で、神植誌 1988 ではユーシン～熊木沢で採集されただけである。

セリ　Oenanthe javanica

山麓の水湿地に普通。

ヤブニンジン　Osmorhiza aristata

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内にやや普通。

ミヤマニンジン　Ostericum floenti

ブナ帯の草地に稀。県内では丹沢と箱根に見られる。姫次、畦ヶ丸山、大石山などで採集されている。

ヤマゼリ　Ostericum sieboldi

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地や林縁に普通。

イワセントウソウ　Pternopetalum tanakae

ブナ帯の樹林内にやや稀。県内では丹沢と箱根の高所に分布。

ウマノミツバ　Sanicula chinensis

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

●イブキボウフウ　Seseli libanotis ssp.japonica

林ほか(1961)に大山、丹沢山、世附であり、北丹沢で採集された標本も残されている。神植誌 1988 の調査では小仏産地で採集されただけで、丹沢では見つからなかった。

カノツメソウ　Spuriopimpinella calycina

シイ・カシ帯の樹林内に生える。東丹沢から南丹沢側の山麓にやや普通。

ヒカゲミツバ　Spuriopimpinella nikoensis

ブナ帯の樹林内に稀。県内では丹沢山から桧洞丸の稜線の北側だけに分布。

ヤブジラミ　Torilis japonica

山麓の路傍に普通。

オヤブジラミ　Torilis scabra

山麓の路傍に普通。

3.2.1.91. ミズキ科　CORNACEAE

アオキ　Aucuba japonica

シイ・カシ帯に普通

ヤマボウシ　Benthamidia japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

ミズキ　Cornus controversa

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

クマノミズキ　Cornus macrophyllla

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

ハナイカダ　Helwingia japonica

シイ・カシ帯の樹林内に普通。葉が小型のコバノハナイカダ f.parvifolia は箱根に多いが、丹沢では南部に稀に見られるのみ。

3.2.1.92. イワウメ科　DIAPENSIACEAE

アカバナヒメイワカガミ　Schizocodon ilicifolius var.australis

ブナ帯の岩場に生える。塔ノ岳から桧洞丸までの主稜線では普通に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。

3.2.1.93. リョウブ科　CLETHRACEAE

リョウブ　Clethra barvinervis

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

3.2.1.94. イチヤクソウ科　PYROLACEAE

ウメガサソウ　Chimaphila japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや稀。南丹沢山麓、大山、用木沢、ユーシン、大石山で採集されている。

シャクジョウソウ　Monotropa hypopithys

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に稀。秦野市八沢、津久井町青根、桧洞丸つつじ新道で採集されている。

アキノギンリョウソウ(ギンリョウソウモドキ)　Monotropa uniflora

シイ・カシ帯の樹林内に稀。東丹沢から南丹沢の山麓に分布が限られる。

ギンリョウソウ　Monotropastrum humile

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内にやや稀。

イチヤクソウ　Pyrola japonica

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや普通。

マルバイチヤクソウ　Pyrola nephrophylla

ブナ帯の樹林内に生える。丹沢では山麓の中央部に分布が限られる。丹沢以外では小仏産地と箱根に稀に産する。

3.2.1.95. ツツジ科　ERICACEAE

ホツツジ　Elliottia paniculata

ブナ帯に生える。丹沢ではやや稀で、ユーシン周辺に分布が限られている。寄

沢原小屋源流、ユーシン、大石山で採集されている。県内では丹沢、箱根、小仏の各産地に見られる。

サラサドウダン Enkianthus campanulatus

ブナ帯に生える。東は大山から西端の三国山まで普通に見られる。県内では丹沢と箱根の高所に分布。白花品をシロバナフウリンツツジ f.albiflorus といいやや稀に見られる。

ハコネハチヒリノキ Leucothoe grayana var.venosa

ブナ帯の岩場や沢筋のガレ場に普通に見られる。県内では丹沢と箱根に分布。

イワナンテン Leucothoe keiskei

ブナ帯の岩場にやや普通。行者岳、寄沢、ユーシン、中川川西沢、犬越路などで採集されている。

ネジキ Lyonia ovalifolia var.elliptica

シイ・カシ帯からブナ帯の尾根や岩場に普通。

ムラサキツリガネツツジ Menziesia lasiophylla

ブナ帯の岩場にきわめて稀。箱根、丹沢、愛鷹山、富士山、三ッ峠に分布する。丹沢・箱根ともに個体数が少なく、RDB でも絶滅危惧種とされた。小花柄やがくに腺毛を欠くものを特にハコツリガネツツジ f.bicolor といい、丹沢のものはこれにあたる。

アセビ Pieris japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

ミツバツツジ Rhododendron dilatatum

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。

サツキ Rhododendron indicum

シイ・カシ帯の規模の大きい渓谷の岩棚に生える。中津渓谷が分布の東端として知られ、個体数も多かったが、宮ヶ瀬ダムによりほとんど絶滅した。道志川の渓谷にはまだ自生のものが残っている。RDB では減少種とされた。

●レンゲツツジ Rhododendron japonicum

姫次に少数の株が生育していたが、絶えてしまった。

ヤマツツジ Rhododendron kaempferi

シイ・カシ帯からブナ帯の草地、岩場、疎林に普通。

ヒカゲツツジ Rhododendron keiskei

丹沢では渓谷沿いの岩場に稀に見られる。

シロヤシオ Rhododendron quinquefolium

ブナ帯に生える。東は大山周辺から西端の三国山まで普通に見られる。県内

では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

バイカツツジ　Rhododendron semibarbatum

シイ・カシ帯上部からブナ帯に生える。西丹沢、北丹沢、早戸川流域、大山周辺などに普通に見られるが、南丹沢からの報告がない。

ハコネコメツツジ　Rhododendron tanakae

ブナ帯の岩場にやや稀。塔ノ岳周辺から大室山までの主稜線としの周辺の急峻な岩場に多い。富士・箱根火山の代表種。県内では丹沢と箱根に産する。

トウゴクミツバツツジ　Rhododendron wadanum

ブナ帯に生える。東は大山周辺から西端の三国山まで普通に見られる。県内では丹沢と箱根に分布。

スノキ　Vaccinum smalii var.glabrum

ブナ帯の岩場や疎林にやや普通。県内の分布は丹沢と箱根。

3.2.1.96.ヤブコウジ科　MYRSINACEAE

カラタチバナ　Ardisia crispa

暖帯の植物で丹沢では稀。

ヤブコウジ　Ardisia japonica

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

イズセンリョウ　Maesa jopoica

暖帯の植物

3.2.1.97.サクラソウ科　PRIMULACEAE

ミヤマタゴボウ(ギンレイカ)　Lysimachia acroadenia

シイ・カシ帯からブナ帯の路傍や草地に普通。

オカトラノオ　Lysimachia clethroides

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に普通。

コナスビ　Lysimachia japonica var.subsessilis

シイ・カシ帯からブナ帯の路傍や草地に普通。

ナガエコナスビ　Lysimachia japonica var.thunbergiana

コナスビよりも花柄が長いことで区別するが、変異の範囲とする説もある。コナスビよりも標高の高い所に分布。

コイワザクラ　Primula reinii

ブナ帯の岩場にやや稀。塔ノ岳、多山、蛭ヶ岳、桧洞丸、同角山稜、大室山に分布。県内では丹沢と箱根の高所にのみ分布。

3.2.1.98.カキノキ科　EBENACEAE

リュウキュウマメガナ(シナノガキ)　Dispyros japonica

丹沢には少なく、中津渓谷周辺と皆瀬川流域から採種されている。

カキノキ　Diospyros kaki

山麓の樹林内に逸出したものを見かける。

マメガキ　Diospyros lotus

丹沢では中津渓谷や仏果山周辺に分布が限られる。

3.2.1.99.ハイノキ科　SYMPLOCACEAE

サワフタギ　Symplocos sawafutagi

神奈川県では多摩丘陵方面に多く、丹沢では山麓にきわめて稀。

タンナサワフタギ　Symplocos coreana

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内に普通。

3.2.1.100.エゴノキ科　STYRACACEAE

オオバアサガラ　Pterostyrax hispidus

ブナ帯の沢筋の樹林内に普通。分布には偏りがあり、西丹沢や北丹沢では普通。東丹沢では早戸川や塩水川の上流には多いが、大山周辺や南丹沢からの報告がない。

エゴノキ　Styrax japonicus

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

ハクウンボク　Styrax obassia

ブナ帯の沢筋に生える。オオバアサガラと同様に、西丹沢や北丹沢では普通であるが、東丹沢では仏果山から記録されただけで、南丹沢からは採集記録がない。

3.2.1.101.モクセイ科　OLEACEAE

ミヤマアオダモ　Fraxinus apertisquamifera

ブナ帯に稀。

アラゲアオダモ　Fraxinus lanuginosa

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。

ヤマトアオダモ　Fraxinus longicuspis

シイ・カシ帯からブナ帯下部にやや稀。

マルバアオダモ　Fraxinus sieboldiana

シイ・カシ帯にやや普通。

シオジ　Fraxinus spaethiana

ブナ帯の沢筋にやや稀。堂平や世附大又沢イデン沢にまとまった林がある。県内では丹沢のみに分布する。

ネズミモチ　Ligustrum japonicum

シイ・カシ帯の樹林内にやや稀。南丹沢山麓に見られる。

イボタ　Ligusturm obtusifolium

シイ・カシ帯の林縁や疎林に普通。

ミヤマイボタ　Ligustrum tschonoskii

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草原や疎林に普通。

ヒイラギ　Osmanthus heteropyllus

シイ・カシ帯の樹林帯にやや普通。

3.2.1.102. フジウツギ科　LOGANIACEAE

フジウツギ　Buddleja japonica

谷筋の河原やガレ場に普通。

ホウライカズラ　Gardneria nutans

シイ・カシ帯の樹林内に稀。

3.2.1.103. リンドウ科　GENTIANACEAE

リンドウ　Gentiana scabra var.buergeri

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。

コケリンドウ　Gentiana squarrosa

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に生え、稀。三ノ塔、ヤビツ峠、大倉尾根、犬越路で採種されている。

フデリンドウ　Gentiana zollingeri

シイ・カシ帯からブナ帯の明るい樹林内にやや普通。

ハナイカリ　Halenia coriculata

ブナ帯の草地に生え、やや稀。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ホソバツルリンドウ　Pterygocalyx volubilis

ブナ帯の草地やガレ場に稀に生える。堂平～丹沢山、犬越路、大石山、桧洞丸つつじ新道で採種されている。県内の分布は丹沢のみ。

アケボノソウ　Swertia bimaculata

シイ・カシ帯上部からブナ帯の水湿地に生える。丹沢では東丹沢から南丹沢の沢筋にやや普通に見られるが、世附川、中川川、神ノ川方面からの報告はない。

センブリ　Swertia japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや普通。

ツルリンドウ　Tripterospermum japonicum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地や疎林内にやや普通。

3.2.1.104. キョウチクトウ科　APOCYNACEAE

テイカカズラ　Trachelospermum asiaticum

シイ・カシ帯の樹林内や林縁に普通。

3.2.1.105. ガガイモ科　ASCLEPIADACEAE

タンザワイケマ　Cynanchum caudatum var.tanzawamonotanum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の疎林やガレ場に普通。丹沢産のイケマはすべて本変種。

ツルガシワ　Cynanchum grandifolium var.nikoense

樹林内に生える。

タチガシワ　Cynanchum magnificum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に稀。伊勢原市子易、日向渓谷、宮ヶ瀬、中津川石小屋、寄、焼山で採集されている。

スズサイコ　Cynanchum paniculatum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に稀。

コバノカモメヅル　Cynanchum sublanceolatum

山麓の草地にやや稀。南丹沢から東丹沢山麓に多く、西丹沢では不老山から報告されただけである。

ガガイモ　Metaplexis japonica

山麓の草地にやや稀。

オオカモメヅル　Tylophora aristolochioides

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内にやや普通。西丹沢には花序の柄が長く葉身と同長位になるものがあり、これをナガエオオカモメヅルと仮称している。

3.2.1.106.ヒルガオ科　CONVOLVULACEAE

コヒルガオ　Calystegia hederacea

山麓の路傍や畑地に普通。

ヒルガオ　Calystegia japonica

山麓の路傍や畑地に普通。

ネナシカズラ　Cuscuta japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や林縁にやや普通。つる性の寄生植物で寄主は特に決まっていない。

3.2.1.107.ムラサキ科　BORAGINACEAE

サワルリソウ　Ancistrocarya japonica

ブナ帯の湿った樹林内に稀。丹沢では大室山と白石沢付近で採集されているのみ。

ハナイバナ　Bothriospermum tenellum

山麓の路傍や畑地に普通。

オニルリソウ　Cynoglossum asperrimum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の河原やガレ場などにやや普通。

オオルリソウ　Cynoglossum zeylanicum

山麓の産地にやや稀に見られる。

ムラサキ　Lithospermum erythrorhizon

草原に生える。かつては丹沢山麓の茅場に広く分布していたが、RDBでも絶滅危惧種とされた。

ホタルカズラ　Lithospermum zollingeri

シイ・カシ帯の草地や乾燥した落葉樹林内に生える。

ヤマルリソウ　Omphalodes japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の湿った樹林内に普通。ただし、西丹沢や神ノ川などの石英閃緑岩の地域からは、山神峠の報告があるだけである。

ルリソウ　Omphalodes krameri

落葉樹林内に生える。県内では多摩丘陵に点在するが、丹沢では稀。神植誌1988では宮ヶ瀬馬場～高畑山で採集されただけである。

ミズタビラコ　Trigonotis brevipes

渓流の水に浸る所に生える。県内では稀で、箱根の一部と大山で採集されているだけである。

キュウリグサ　Trigonotis peduncularis

山麓の路傍や畑地に普通。

3.2.1.108. クマツヅラ科　VERBENACEAE

ムラサキシキブ　Callicarpa japonica

シイ・カシ帯からブナ帯までの全域に普通。葉の小さい一型をコバノムラサキシキブ f.taquetii といい、やや稀に見られる。

ヤブムラサキ　Callicarpa mollis

シイ・カシ帯上部からブナ帯の林縁や疎林にやや普通。

● カリガネソウ　Caryopteris divaricata

林縁や草地に生える。県内では三浦半島に現存する産地がある。丹沢で採集された標本も残されているが、こちらは最近の報告がない。RDB でも絶滅危惧種とされた。

クサギ　Clerodendrum trichotomum

シイ・カシ帯からブナ帯に普通。葉の下面にビロード状の毛があるものをビロードクサギ f.ferrugineum という。

3.2.1.109. シソ科　LABIATAE

カワミドリ　Agastache rugosa

シイ・カシ帯からブナ帯のガレ場や草地に稀。表丹沢県民の森、伊勢原市日向、宮ヶ瀬、寄、神ノ川、浅瀬で採集されている。

キランソウ　Ajuga decumbens

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地や明るい樹林内に普通。

オオギカズラ　Ajuga japonica

シイ・カシ帯からブナ帯にかけての樹林内や沢筋に稀に生える。

タチキランソウ　Ajuga makinoi

シイ・カシ帯からブナ帯下部の河原やガレ場に生える。

ジュウニヒトエ　Ajuga nipponensis

シイ・カシ帯の明るい雑木林に生える。東丹沢から北丹沢にかけての山麓にやや普通。県内の分布も北部に偏り、湘南から箱根方面には記録がない。

ツクバキンモンソウ　Ajuga yesoensis var.tsukubana

シイ・カシ帯の明るい雑木林に見られる。県内では多摩丘陵から三浦半島にかけて多く見られ、丹沢では東丹沢側の山麓に稀。

タニジャコウソウ　Chelonopsis longipes

シイ・カシ帯の樹林内に稀に見られる。大山山麓、谷太郎リンドウ、水無川本谷沢、神ノ川、松田町虫沢などで採集されている。県内では丹沢と三浦半島に分布。

ジャコウソウ　Chelonopsis moschata

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に稀。菩提、三廻部、大室山で採種されている。県内では丹沢と小仏山地に分布。

アシタカジャコウソウ　Chelonosis yagiharana

神植誌 1988 では大室山と不老山で採集されているが、これらはアシタカジャコウソウとジャコウソウの中間的なもの。愛鷹山産のものは全体が著しく小さく、分類学的な検討を要する。

クルマバナ　Clinopodium chinense var.parviflorum

シイ・カシ帯からブナ帯にかけての草地や林縁に普通。

トウバナ　Clinopodium gracile

シイ・カシ帯からブナ帯下部の路傍に普通。

ヒロハヤマトウバナ　Clinopodium latifolium

ブナ帯の樹林内にやや普通。神奈川県では丹沢や小仏に本変種が、箱根に母種ヤマトウバナが分布している。

イヌトウバナ　Clinopodium micranthum

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に普通。

ナギナタコウジュ　Elshrtzia ciliata

シイ・カシ帯からブナ帯にかけての林縁や路傍に普通。

フトボナギナタコウジュ　Elshortzia nipponica

シイ・カシ帯からブナ帯や林縁や路傍にやや普通に見られるが、ナギナタコウジュほど多くはない。分布は山塊の南側に偏り来た丹沢方面か Glechoma

hederacea var.grandis らの報告はない。

カキドオシ

山麓の路傍や草地に普通。

セキヤノアキチョウジ　Isodon effusus

シイ・カシ帯からブナ帯の草地や林縁に普通。

ヤマハッカ　Isodon inflexus

シイ・カシ帯の草地に普通。

ヒキオコシ　Isodon japonicus

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地の林縁に生える。東丹沢から南丹沢山麓と三国峠～高指山のススキ草原にやや稀。

イヌヤマハッカ　Isodonumbrosus

ブナ帯の林縁や草地に普通。

シモバシラ　Keiskea japonica

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える。分布には偏りがあり、東丹沢北部から北丹沢方面でやや稀に見られる。

オドリコソウ　Lamium album var.barbatum

山麓の草地や林縁に生える。南丹沢の山麓では普通見られるが、西丹沢や北丹沢方面からの報告はない。

ホトケノザ　Lamium amplexicaul

山麓の路傍や畑地に普通。

ヒメオドリコソウ　Lamium purpureum

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

メハジキ　Leonulus japonicus

シイ・カシ帯の草地や林縁にやや稀。西丹沢に点在する。

キセワタ　Leonuleu macranthus

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや稀。経ヶ岳、日向林道、二ノ岳、シダンゴ山、高松山、大野山などから記憶されている。

テンニンソウ　Lencosceptrum japonicum

やや標高の高い所に普通。茎や葉の下面中●に開出毛の著しいものをフジテンニンソウ f.barvinerve といい、この毛が少ないものをタンザワテンニンソウ f.kugawae という。

ラショウモンカズラ　Meehania uriticifolia

神植誌 1988 の調査では、丹沢から中津渓谷で採集されただけである。県内では小仏山地に多い。

ヒメジソ　Mosla dianthera

山麓の水湿地にやや稀。東丹沢から南丹沢側の山麓で記録されている。

ヤマジソ Mosla japonica

丹沢では稀で、神植誌 1988 では二ノ塔 1 か所で採集されただけである。

イヌコウジュ Mosla scabra

シイ・カシ帯からブナ帯の路傍に普通。

イヌハッカ Nepeta cataria

帰化。1991 年に大野山で採集された。牧草の種子に混じって持ち込まれたと推定される。

エゴマ Perill frutescens

帰化。山麓にやや稀。

レモンエゴマ Perilla frutescens var.citriodora

シイ・カシ帯の林縁にやや普通。

シソ Perille frutescens var.crispa

帰化。山麓の路傍に普通。

トラノオジソ Perilla frutescens var.hirtella

シイ・カシ帯の林縁にやや稀。不動尻、三廻部、寄で採集されている。

ウツボグサ Prunella vulagalis ssp.asiatica

山麓の草地にやや普通。

アキノタムラソウ Salvia japonica

山麓の草地に普通。

ケナツノタムラソウ Salvia lutescens var.crenata

ナツノタムラソウの花序やがくに腺毛が出る型。ナツノタムラソウよりも標高の高い所にやや稀。

ナツノタムラソウ Salvia lutescens var.intermedia

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。

キバナアキギリ Salbia nipponica

山麓に普通。

オカタツナミ Scutellaria brachyspica

山麓の樹林内や林縁に生える。南丹沢から東丹沢の山麓に多い。

タツナミソウ Scutellaria indica

山麓の草地に生える。丹沢から南丹沢から東丹沢山麓に多い。

コバノタツナミソウ Scutellaria indica var.parvifolia

沿海地の植物で、丹沢では南丹沢から東丹沢山麓にやや普通。

ヤマタツナミソウ Scutellaria pekinensis var.transitra

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁や草地にやや稀。東丹沢から南丹沢に多く、

世附川や中川川方面からの報告はない。

ミヤマナミキ　cutellaria　shikokiana

ブナ帯の樹林内にやや稀。西丹沢に比較的多く見られる。宮ヶ瀬、原小屋沢、世附川大又沢、浅瀬、白石沢、用木沢、尊仏の土平で採集されている。県内の山地は丹沢と小仏山地。

イヌゴマ　Stachys riederi var.hispidula

山麓の水湿地にやや稀。標高の高い所では三国山から高指山にかけての草地に見られる。

ニガクサ　Teucium japonicum

南丹沢から東丹沢山麓にやや普通。

ツルニガクサ　Teucrium viscidum var.miquelianum

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや普通。

3.2.1.110.ナス科　SOLANACEAE

ヨウシュチョウセンアサガオ　Datura stramonium var.chalybea

帰化。東丹沢山麓に稀。

クコ　Lycium chinse

山麓の路傍や林縁に普通。

イガホオズキ　Physaliastrum echinatum

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや普通。分布には偏りがあり、西丹沢方面では不老山から報告があるのみ。

アオホオズキ　Physaliastrum japonicum

ブナ帯の樹林内にやや普通。

ハシリドコロ　Scopolia japonica

ブナ帯の樹林内に生える。神奈川県内では東丹沢に分布が限られる。

アメリカイヌホオズキ　Solanum americanum

帰化。平地では普通であるが、丹沢では世附大又沢で採集されたのみ。

テリミノイヌホオズキ　Solanum americanum var.modiflorum

帰化。神植誌 1988 では経ヶ岳で採集されている。

ヤマホロシ　Solanum japonense

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。

タカホロシ　Solanum japonse var.takaoyamense

ヤマホロシの変種で、葉の緑に不変則な波状の鋸歯が出る。ヤマホロシよりも少ない。長者舎～犬越路下、中川川西沢、用木沢で採集されている。

ヒヨゴリジョウゴ　Solanum lyratum

シイ・カシ帯の林縁に普通。

マルバノホロシ　Solanum maximowiczii

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内にやや稀。

イヌホオズキ　Solanum nigrum

山麓の路傍や畑地に普通。

ハダカホオズキ　Tubocapsicum anomalum

シイ・カシ帯の樹林内にやや普通。

3.2.1.111. ゴマノハグサ科　SCROPHULARIACEAE

タチコゴメグサ　Euphrasia maximowiczii

ブナ帯の草地にやや稀。表尾根や姫次の草地に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。

ヤマウツボ　lathraea japonica

シイ・カシ帯上部からブナ帯にやや稀。長尾根、堂平、神ノ川、早戸川、畦ヶ丸山、大石山、西沢～権現山、白石沢、用木沢などで記録されている。

ウリクサ　Lindernia crustacea

山麓の路傍や畑地にやや稀。

アゼナ　Lindernia provumbens

水田雑草であるが、林道の溝などで稀に見られる。

ムラサキサギゴケ

山麓の水田畦や湿った草地に生える。ときに白花品があり、これをサギゴケという。

ヤマサギゴケ　Mazus miqyelii var.rotundifolius

ムラサキサギゴケが水田の畦に生えるのに対して、本変種は山地の湿った所に生えている。ムラサキサギゴケよりも葉が丸く毛や腺毛が多いとされているが、中間形も見られる。

トキワハゼ　Mazus pumilus

山麓の路傍や畑地に普通。

ミゾホオズキ　Mimulus nepalensis

山麓の沢筋に普通。

キリ　Paulownia tomentasa

シイ・カシ帯にやや稀。里近くに植栽される。

ハンカイシオガマ　Pedicularis gloriosa

ブナ帯の樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根の高所に分布。

シオガマギク　Pedicularis resupinata var.oppositifolia

ブナ帯の草地や林縁にやや普通。稀に山麓部でも記録される。県内では丹沢、箱根、小仏の各山地に見られる。

コシオガマ　Phtherirospermum japonicu,

シイ・カシ帯の草地に普通。

ヒメトラノオ　Pseudolysimachion rotundum var.petiolatum

ブナ帯のススキ草原に稀。神奈川県では三国峠から高指山にかけての草地と箱根仙石原に分布。かつては丹沢山や姫次にもあったというが、最近は見られない。RDB では減少種とされた。

ヒナノウスツボ　Scrophularia duplicato-serrata

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや稀。オオヒナノウスツボよりも標高の高い所に見られる。県内では丹沢と箱根に分布する。

オオヒナノウスツボ　Scrophlaria kakudensis

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁にやや稀。

ヒキヨモギ　Siphonostegia chinensis

山麓に稀、経ヶ岳と宮ヶ瀬で採集されている。

ビロードモウズイカ　Verbascum thapsus

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

クワガタソウ　Veronica miqueliana

シイ・カシ帯では谷筋の湿った樹陰に、ブナ帯では尾根の林床で普通。

オオイヌノフグリ　Veronica persica

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

イヌノフグリ　Veronica polita var.lilacina

山麓の人家周辺に稀。

クガイソウ　Veronicastrum japonicum

かつては蛭ヶ岳や不動の峰の草地に生えていたが、最近は発見することができない。RDB でも絶滅種とされた。

3.2.1.112.ハマウツボ科　OROBANCHACEAE

ナンバンギセル　Aeginetia indica var.gracilis

山麓のススキに寄生。

オオナンバンギセル　Aeginetia sinensis

ブナ帯のススキ草原にやや稀。丹沢・箱根ともに山麓にナンバンギセル、標高の高い所に本種が分布している。

キヨスミウツボ　Phacellanthus tubiflorus

タマアジサイやニシキウツギなどに寄生。丹沢ではやや稀。

3.2.1.113.イワタバコ科　GESNERIACEAE

イワタバコ　Conandron ramondioides

シイ・カシ帯からブナ帯の岩場に普通。県内の分布は、丹沢、箱根、小仏の各

山地に限られる。花期7～8月。

ケイワタバコ　Conandron ramondioides var.pilosum

シイ・カシ帯からブナ帯の岩場にやや普通。丹沢や箱根の山地だけでなく、鎌倉、逗子周辺に藻見られる。イワタバコとは花茎や葉の毛の有無だけでなく、葉の形も異なり、花期も6～7月で灼く1か月早い。

3.2.1.114.キツネノゴマ科　ACANTHACEAE

キツネノゴマ　Justicia procumbens

山麓の路傍や畑地に普通。

ハグロソウ　Peristrophe japonica

シイ・カシ帯の樹林内にはえる。丹沢では山麓にやや稀に見られるのみ。

3.2.1.115.ハエドクソウ科　PHRYMACEAE

エハドクソウ　Phryama leptostachya var.asiatica

全域の樹林に普通。葉が細長いものをエガバハエドクソウ f.oblongifolia という。

3.2.1.116.オオバコ科　PLANTAGINACEAE

オオバコ　Plantago asiatica

全域にの路傍に普通。

ヘラオオバコ　Plantago lanceolata

帰化。林道や砂防工事現場の法面などに見られる。高地では三ノ塔から記録されている。

3.2.1.117.アカネ科　RUBIACEAE

アリドオシ　Damnacanthus indicus

シイ・カシ帯の樹林内に生える。丹沢ではきわめて稀。

ヒメヨツバムグラ　Galium gracilens

山麓の路傍や草地に普通。

オオバノヨツバムグラ　Galium kantschaticum var.acutifoium

RDB でも絶滅種とされた。

キクムグラ　Galium kikumugura

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

キヌタソウ　Galium kinuta

ブナ帯の草地や林縁に普通。シイ・カシ帯の乾いた落葉樹林内にも稀にみあっける。

ミヤマムグラ　Galium paradoxum

ブナ帯の湿った樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根の高所に分布。

ヤマムグラ　Galiu, pogonanthum

シイ・カシ帯からブナ帯の乾いた落葉樹林内や岩場に普通。

オオバノヤエムグラ　Galium pseudo-asprellum var.bingoense

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に普通。

ビンゴムグラ

オオバノヤエムグラの小型な変種。早戸川や蛭ヶ岳で確認された。最近発表された変種で、今後、丹沢でも各地から報告される可能性がある。

ヤエムグラ　Galium spurium var.echinospermum

山麓の路傍や荒れ地に普通。

ヨツバムグラ　Galium trachyspermum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に普通。

オククルマムグラ　Galium trifloriforme

クルマムグラと同じような所に生えるが、丹沢では西丹沢から報告されている。県内では丹沢と箱根に分布。

クルマムグラ　Galium trfloriforme var.nipponicum

主にブナ帯の湿った樹林内にやや普通。稀に山麓の谷筋の樹陰にも見られる。県内では丹沢と箱根に分布。

カワラマツバ　Galium verum var.asiaticum f.nikkoense

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや稀。南丹沢と不老山～三国峠周辺のススキ草原に見られる。

ツルアリドオシ　Mitchella undulata

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に稀。

ハシカグサ　Neanotis hirsuta

シイ・カシ帯の樹林内に生える。東丹沢から南丹沢山麓、玄倉、世附などのスギ植林地に多い。

ヘクソカズラ　Paederia foetida

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁に普通。

イナモリソウ　Psudopyxis depressa

東丹沢の山麓樹林内に稀。県内には少なく、小仏山地から中津山地にかけて分布。RDB でも絶滅危惧種とされた。

シロバナイナモリソウ　Pseudopyxis heterophylla

シイ・カシ帯の樹林内に生える。分布には偏りがあり、大山から表尾根にかけての南側斜面に集中している。西丹沢では犬越路で記録されただけである。県内では丹沢周辺と箱根に分布

アカネ　Rubia argyi

シイ・カシ帯の林縁に普通。

オオヌキタソウ　Rubia chinensis var.glabrescens

神奈川県ではきわめて稀。RDBでは減少種とされた。

3.2.1.118.スイカズラ科　CAPRIFOLIACEAE

ツクバネウツギ　Abelia spathulata

シイ・カシ帯からブナ帯までの林縁に普通。

ベニバナツクバネウツギ　Abelia spathulata var.sanguinea

ブナ帯の風衝地にやや稀。三ツ峰、丹沢山、蛭ヶ岳、大室山に分布。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

オオツクバネウツギ　Abelia tetraseoala

シイ・カシ帯上部からブナ帯下部にやや稀。ほぼ全域に点在するが、いまのところ世附川流域からの報告はない。県内では丹沢と小仏山地に分布し、箱根からは報告がない。

ヤマウグイスカグラ　Lonicera gracilipes

神奈川県では箱根と丹沢と三国峠周辺にのみ分布。

ウグイスカグラ　Lonicera gracilipes var.glabra

シイ・カシ帯の樹林内に普通。東部に偏って分布し、西丹沢からの報国は少ない。

スイカズラ　Lonicera japonica

シイ・カシ帯の林縁に普通。

ニッコウヒョウタンボク　Lonicera mochidzukiana

草地や疎林内に生える。姫次～釜立沢で採集された古い標本が残されているが、最近の調査では発見できなかった。RDBでも絶滅種とされた。

コウグイスカグラ　Lonicera ramosissima

ブナ帯の風衝地にやや稀。丹沢山と蛭ヶ岳周辺に分布。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

ソクズ　SAmbucus chinensis

南丹沢山麓の草地や林縁にやや普通。

ニワトコ　Sambucus chinensis

シイ・カシ帯からブナ帯までの林縁に普通。

ガマズミ　Viburnum dilatatum

山麓から標高1000 m位までに普通。

ハコネガマズミ　Viburnum dilatatum

ガマズミの葉に極端に小さい変種。箱根に比べて丹沢では少ない。

テリハコバノガマズミ　Viburnum erosum

コバノガマズミに比べて葉の上面に毛が少なく光沢がある。県内では低地に多く、丹沢では稀。

コバノガマズミ Viburnum erosum var.punctatum

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

オオカメノキ Viburnum furcatum

ブナ帯上部にやや普通。

オトコヨウゾメ Viburnum phlebotrichum

シイ・カシ帯上部からブナ帯にかけてやや普通。

ヤブデマリ Viburnum plicatum var.tomentosum

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

ゴマギ Viburnum sieboldii

湿地に生える。神植誌 1988 では南丹沢山麓の菩提で採集された。

オオミヤマガマズミ Viburum wrightii var.stipellatum

シイ・カシ帯上部からブナ帯に普通。ミヤマガマズミの変種で葉の上面に星状毛がある。丹沢のものはすべて本変種である。

ハコネウツギ Weigela coraeensis

山麓の林縁に普通。本来は沿海地種類で、丹沢山麓ではニシキウツギとの区別が困難な固体が多い。花がはじめから紅色のものをバニバナハコネウツギ var.rubriflora という。

ニシキウツギ Weigela decora

シイ・カシ帯からブナ帯まで普通。花がはじめから紅色のものをベニバナニシキウツギ、白色のまま咲き終わるものをシロバナニシキウツギといい、母種に混生する。

ヤブウツギ WEigela floribunda

中川川、世附川、皆瀬川、神ノ川、早戸川流域にやや稀に分布。県内では丹沢から小仏山地にかけて分布し、箱根にはない。

フジベニウツギ Weigela fujisanensis

ニシキウツギとケウツギの中間的なもの、鉄砲木の頭、明神峠、中川川西沢で採集されている。

キバナウツギ Weigela maximowiczii

ブナ帯上部に生える。塔ノ岳から大室山にかけての高所にのみ産する。県内の分布は丹沢に限られる。

3.2.1.119. レンプクソウ科　ADOXACEAE

レンプクソウ Adoxa moschatellian

丹沢では稀。神植誌 1988 の調査では丹沢山地内から仏果山で記録されただけである。大谷(1961)はヤビツ峠～札掛を記録している。神奈川県では小仏山地から相模原台地の段丘崖にかけて分布している。

3.2.1.120.オミナエシ科　VALERIANACEAE

オミナエシ　Patrinia scabiosifolia

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に生える。山塊の周辺部に多く、塔ノ岳～丹沢山～蛭ヶ岳～桧洞丸の主稜線や玄倉川流域からの報国はない。

キンレイカ　Patrinia triloba var.palmata

ブナ対の岩場や草地にやや普通。県内では丹沢と箱根にのみ産する。

オトコエシ　Patrnia villosa

全域に普通。

ツルカノコウソウ　Valeriana flaccidissima

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

3.2.1.121. マツムシソウ科　DIPSACACEAE

ナベナ　Dipsacus japonicus

草地やガレ場に稀。かつては県西の山地に散在していたようだが、最近の記録は少ない。

マツムシソウ　Scabiosa japonica

草地に稀。箱根山地には多いが、丹沢では少ない。RDBでは減少種とされた。

3.2.1.122. ウリ科　CUCURBITAVEAE

アマチャヅル　Gynostemma pentaphylla

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

スズメウリ　Melothria japonica

山麓の林縁にやや稀。

アレチウリ　Sicyos angulatus

帰化。山麓の水辺に稀。

カラスウリ　Trichosanthes cucueroides

山麓の林縁に普通。

キカラスウリ　Trichosanthes kirilowii var.japonica

シイ・カシ帯の林縁にやや稀。カラスウリよりも山奥にまで分布する。

3.2.1.123. キキョウ科　CAMPANULACEAE

フクシマシャジン　Adenophora divaricata

北丹沢のブナ帯に稀。県内では丹沢と小仏山地に分布。

ソバナ　Adenophora remotiflora

県内では多摩丘陵のような低地にも見られるが、多では蛭ヶ岳周辺にのみ産する。

イワシャジン　Adenophora takedae

シイ・カシ帯上部からブナ帯の岩場にやや普通。

ツリガネニンジン　Adenophora triphylla var.japonica

シイ・カシ帯の草地に普通。

ホタルブクロ　Campanula punctata

全域に普通。

ヤマホタルブクロ　Campanula punctata var.hondoensis

全域に普通。ガレ場に多い。

ツルニンジン　Codonopsis lanceolata

シイ・カシ帯からブナ帯下部に普通。

ミゾカクシ　Lobelia chinensis

水田雑草であるが、稀に山中の湿った所に見られる。

タニギキョウ　Paracarpa carnosa var.circaeoides

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に普通。

キキョウ　Platycodon grandiflorum

草原に生える。かつては県内各地に分布していたが、最近はほとんど見つからない。丹沢でも最近の調査では見出されていない。RDB でも絶滅危惧種とされた。

3.2.1.124.キク科　COMPOSITAE

アメリカトゲミギク　Acanthospermum hispidum

帰化。南アメリカ原産。宮ヶ瀬が日本最初の帰化地として報国された。

ヤマノコギリソウ　Achillea alpina var.discoidea

ブナ対の草地に稀。姫次と三国峠周辺に見られる。県内では丹沢と箱根に産する。

セイヨウノコギリソウ　Achillea millefolium

帰化。山麓に稀。

ノブキ　Adenocaulon himalaicum

山麓の路傍に普通。

オクモミジハグマ　Aisuliaea acerifolia var.subapoda

主にブナ帯の樹林内に生え、稀にシイ・カシ帯にも見られる。

キッコウハグマ　Ainsuliaea apiculata

シイ・カシ帯からブナ帯下部の樹林内に普通。

ブタクサ　Ambrosia artrmisiifolia

帰化。山麓の路傍に普通。

オオブタクサ　Ambrosia trifida

帰化。山麓の水辺に見られる。

ヤマハハコ　Anaphalis margaritacea var.angustir

沢筋やガレ場に普通。

カワラハハコ　Anaphalis margaritacea var.yedoensis

河川中流の河原は生える。

ヤハズハハコ　Anaphalis sinica

主にブナ帯の岩場やガレ場に生える。中川川から神ノ川を結ぶ線の東側に分が偏る。世附川流域からの報国はない。県内では丹沢にのみ分布。

カワラヨモギ　Artemisia capillaris

河原に生える。丹沢では稀。宮ヶ瀬、法論堂林道、河内川塩沢で得られている。

ヒメヨモギ　Artemisia feddei

草地に稀に見られる。関西の典型的なヒメヨモギとは若干異なり、ヨモギとの関係で検討を要する。丹沢寺山、宮ヶ瀬から中津渓谷、三国峠で得られている。

イワヨモギ　Artemisia gmelini

帰化。国内の自然分布は北海道。

オトコヨモギ　Artemisia japonica

河原やガレ場に普通。神ノ川、早戸川方面からの報国がない。

キレハオトコヨモギ Artemisia japonica var.laciniata

オトコヨモギ葉の裂片が細かい変種で稀。県内では三国山と世附大棚で採集されただけである。

イヌヨモギ　Artemisia keiskeana

シイ・カシ帯からブナ帯下部の林縁にやや稀。中津渓谷、仏果山、蓑毛、風巻尾根、玄倉林道、河内河塩沢などに知られる。

ヨモギ　Artmisia indica var.maximowiczii

全域に普通。

ホソバコンギク　Aster ageratoides var.angustifolius

規模の大きい渓谷の流れに近い岩に生える。中津渓谷、塩水川、水無川、神ノ川などに知られる。

ノコンギク　ASter ageratoides var.ovatus

山麓から中腹にかけて普通。

タテヤマギク　Aster dimorphophyllus

ブナ帯の樹林内にやや普通。世附川流域からの報国は少ない。葉が掌状に分裂するものをミミジバタテヤマギク f.divisius という。県内では丹沢と箱根に分布。

ユウガギク　Aster iinumae

水田の畦などに普通に見られる植物であるが、丹沢では明るい沢筋に稀に見られる。同族のカントウヨメナは山麓の水田地帯まで下りないと見られない。

カワラノギク　Aster kantoensis

河川中流の河川に生える。かつては酒匂川流域にも見られ、中川温泉附近で採集された標本も残されているが、最近の調査では見出すことができない。1972年に集中豪雨により出水により失われた可能性がある。相模川中流や中津川には現存し、RDBでも絶滅危惧種とされた。

ヨロメナメ　Aster leiophyllus

全域に普通。

サガミギク　Aster leiophyllus var.harae

シイ・カシ帯上部からブナ帯の渓谷や岩場に生える。

ヒロハシロヨメナ　Aster leiophyllus var.latifolius

葉が卵形の変種。大室山にのみ見られる。

キントキシロヨメナ　Aster leiophyllus var.sawadae

ブナ帯の樹林内に生える。サガミギクと同様に分類学的に検討を要する変種である。

シラマギク　Aster scaber

シイ・カシ帯の草地や明るい雑木林に普通。

ホウキギク　Aster subulatus var.obtusifolius

帰化。南丹沢山麓に稀。

ヒロハホウキギク　Aster subulatus var.subulatus

帰化。南丹沢山麓。

ハコネギク　Aster viscidulus

ブナ帯の草地や林縁に生える。丹沢山、蛭ヶ岳、桧洞丸、同角山稜、大室山、畦ヶ丸山、菰釣山にかけて分布。大山や南丹沢からの報国はない。県内では丹沢と箱根の高所にのみ分布。箱根や伊豆達磨山のものはきわめて密集した株になるが、丹沢のものはまばらな株しかつくらない。

オケラ　Atractylodes ovata

シイ・カシ帯の雑木林にはえる。分布は東丹沢や南丹沢山麓に偏り、西丹沢山麓からの報国はない。

コバノセンダングサ　Bidens bipinnata

帰化。西丹沢山麓に稀。世附大棚と山市場で得られている。

センダングサ　Bidens biternata

帰化。南丹沢山麓にやや稀。

アメリカセンダングサ　Bidens frondosa

帰化。山麓に普通。

コセンダングサ　Bidens pilosa

帰化。山麓の路傍に普通。

コシロノセンダングサ　Bidens pilosa var.minor

帰化。山麓に稀。

カニコウモリ　Cacalia adenostyloides

本来ブナ帯からシラビソ帯に分布する種類であるが、標高の低い津久井町青根の道志川底で見出されている。蛭ヶ岳で採集された古い標本も残されているが、最近の調査では丹沢の高所では見出すことができない。RDB でも絶滅危惧種とされた。

モミジガサ　Cacalia delphiniifolia

全域に普通。

ウスゲタマブキ　Cacalia forforifolia

シイ・カシ帯からブナ帯下部の湿った樹林内に生える。大山周辺からの南丹沢、三国峠から不老山に分布。

コウモリソウ　Cacalia maximowicziana

ブナ帯上部の樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根の高所にのみ産する。

テバコモミジガサ　Cacalia tebakoensis

ブナ帯の湿った樹林内にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

ヤマタイミンガサ　Cacalia yatabei

ブナ帯の樹林ないにやや普通。県内では丹沢の高所にのみ産する。

ヒレアザミ　Carduus crispus

山間の人家周辺に稀に見られる。津久井町音久和、世附川、箒沢、不老山で採集されている。

ヤブタバコ　Carpesium abrotanoides

シイ・カシ帯の樹林内に普通。

コヤブタバコ　Carpesium cernuum

シイ・カシ帯樹林内にやや普通。分布は南丹沢や東丹沢に偏り、西丹沢からの報国は少ない。

ガンクビソウ　Carpesium divaricatum

シイ・カシ帯の樹林内に普通。ただし、世附川からの報国はない。

ノッポロガンクビソウ　Carpesium divaricatum var.matsuei

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に稀。

ホソバガンクビソウ　Carpesium divaricatum var.abrotanoides

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える。南丹沢や世附川流域に多く、神ノ川や早戸川方面からの報告は少ない。

サジガンクビソウ　Carpesium glossophyllum

シイ・カシ帯の樹林内に生える。分布は東丹沢に偏る。

オオガンクビソウ Carpesium glossophyllum

シイ・カシ帯からブナ帯の樹林内に生える。今回の調査で菰釣山で記録された。

ヒガンクビソウ Carpesium rosulatum

シイ・カシ帯上部からブナ帯の樹林内にやや普通。東丹沢では普通に見られるが、西丹沢では稀で、犬越路、玄倉、ユーシンなどに報告があるのみ。

ミヤマヤブタバコ Carpesium triste

ブナ帯の樹林内に普通。県内では丹沢と箱根に分布。

トキンソウ Centipeda minima

山麓の路傍や畑地に普通。

ノアザミ Cirsium japonicum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に普通。

アズマヤマアザミ Cirsium microspicatum

シイ・カシ帯からブナ帯の林縁に普通。

タイアザミ Cirsium nipponicum var.incomptum

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地や林縁に普通。

ハコネアザミ Cirsium nipponicum var.sawadae

タイアザミノ風衝草地型。タイアザミと連続的に変化し、分けられないとの意見もある。箱根に多いが、丹沢でも姫次や三国峠で記録されている。

ハラアザミ Cirsium oligophyllum

北丹沢から東丹沢の山麓の草地に普通。西丹沢からの報告はない。

タカザミ Cirsum pendulum

山麓に稀。河原や原野に生えるが、宅地造成地などにも生じる。

フジアザミ Cirsium prurpuratum

河原やガレ場に普通。

ホソエノアザミ Cirsium tenuipedunculatum

ブナ帯の草地や林縁に普通。

ホソエアズマヤマザミ Cirsium tenuipedunculatum × microspicatum

ホソエノアザミとアズマヤマザミの自然雑種。水無川戸沢、長者舎～犬越路下、鍋割沢、不老山などで採集されている。

ホソエタイアザミ Cirsium tenuipedunculatum × nipponicum var.incomptum

ホソエノアザミとタイアザミの自然雑種。神植誌ではユーシンで採集されている。

タンザワアザミ Cirsium tenuipedunculatum × purpuratum

ホソエノアザミとフジアザミの自然雑種。丹沢山、ユーシン、神ノ川広河原、世附

大棚などで採集されている。

アズマタイアザミ　Cirsium microspicatum × nipponicum var.incomptum

アズマヤマアザミとタイアザミの自然雑種。水無川本谷、丹沢山、切通峠、世附川大股沢などで採集されている。

フジアズマヤマザミ　Cirsium microspiciatu × purpuratum

アズマヤマアザミとフジアザミの自然雑種。

ミサワアザミ　Cirsium × misawaense

フジアザミとタイアザミの自然雑種。

ヒメムカシヨモギ　Conyza canadensis

山麓の路傍に普通。

オオアレチノギク　Conyza umatrensis

帰化。山麓の路傍に普通。

オオキンケイギク　Coreopsis lanceolata

帰化。山麓に稀。

ベニバナボロギク　Crassocephalum crepidioides

帰化。シイ・カシ帯からブナ帯下部までの林縁に普通。

ヤネタビラコ　Crepis tectorum

帰化。神植誌 1988 の調査で津久井町茨菰山で採集された。

キクタニギク　Dendranthema boreale

シイ・カシ帯の草地や林縁に稀。伊勢原市子易や宮ヶ瀬越で記録された。

リュウノウギク　Dendranthema japonicum

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に普通。

クサヤツデ　Diaspanthus uniflorus

明神峠附近の世附国有林で採集された。最近の調査では見出すことができず。RDB でも絶滅種とされた。

タカサブロウ　Eclipta prostrata

水田雑草であるが、林道沿いの溝などに稀に見られる。

ダンドボロギク　Erechtites hieracifolia

帰化。山麓に普通。

ヒメジョオン　Erigeron annuus

山麓に普通。

ハルジョオン　Erigeron philadelphicus

山麓に普通。

ヘラバヒメジョオン　Erigeron strigosus

帰化。林道沿いにかなり山奥にまで浸入している。

アズマギク　Erigeron thunbergii

芝地に生える。丹沢産の標本が複数残されており、かつては広く分布していたことがわかる。最近の調査ではまったく見出すことができない。県内では箱根にわずかに生育が確認されており、RDB でも絶滅危惧種とされた。

ホソバヨツバヒヨドリ(ハジネヒヨドリ)　Eupatorium hakonense

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地や林縁に生える。典型的なヨツバヒヨドリに比べて茎や葉が細い。神奈川県産のヨツバヒヨドリはすべてこのタイプである。ヨツバヒヨドリ E.glehni と区別できないとの説もある。

エダウチヒヨドリバナ　Eupatorium hakonense × makinoi

ホソバヨツバヒヨドリとヒヨドリバナの雑種と推定されている。丹沢山、塩水川、長者舎～犬越路下、世附大棚、中川川西沢、ユーシン～熊木沢などで記録されている。

サワヒヨドリ　Eupatorium lindleyanum

湿った草地に生える。焼山、鉄砲木ノ頭、シダンゴ山、南丹沢山麓に見られる。

ヒヨドリバナ　Eupatorium makinoi

山麓から中腹にかけて普通。2 倍体を var.makinoi、倍数体を var.oppositifolium という。

ミツバヒヨドリバナ　Eupatorium makinoi

ヒヨドリバナとサワヒヨドリの雑種起源とされる。

ハキダメギク　Galinsoga quandriradiata

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ハハコグサ　Gnaphalium affine

山麓の路傍や畑地に普通。

チチコグサ　Gnaphalium japonicum

山麓の芝地に普通。

セイタカハハコグサ　Gnaphalium luteo-album

帰化。山麓に稀。

チチコグサモドキ　Gnaphalium pensylvanicum

帰化。山麓の路傍や畑地に普通。

ウラジロチチコグサ　Gnapharium spicatm

帰化。県内で急速に分布を広げている。。

キクイモ　Heliathus tuberosus

帰化。山麓にやや普通。

キツネアザミ　Hemistepta lyrata

山麓の畑地に普通。

ヤナギタンポポ Hieracium umbellatum

草地に稀。神奈川県では山中湖に近い甲相国境尾根の草地に見られるだけである。RDB でも絶滅危惧種とされた。

ブタナ Hypochoeris radicata

帰化。山麓にやや普通。

オグルマ Inula britanica var.chinensis

シイ・カシ帯からブナ帯の草地に稀。松田町寄と三国峠周辺から報告されている。

カセンソウ Inula salicina var.asiatica

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや稀。

●タカサゴソウ Ixeris chinensis

草地や礫地に生える。中津渓谷で採集された古い標本があるが、最近の調査では丹沢からは記録されていない。RDB でも絶滅危惧種とされた。

オオジシバリ Ixeris debilis

山麓の草地に普通。

ニガナ Ixeris dentata

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地や明るい樹林内に普通。

ハナニガナ Ixeris dentata var.amplifolia

ニガナと同じような所にはえるが、やや標高の高い所に多く見られる。

サガミニガナ Ixeris dentata var.sagamiensis

規模の大きい渓谷の岩棚に生える。丹沢では中津渓谷に見られたが、宮ヶ瀬ダムにより大半が水没したものと思われる。県内では他に道志川に分布。

イワニガナ Ixeris stolonifera

全域に普通。

カワラニガナ Ixeris tamagawaensis

河川中流の河川に生える植物で、丹沢では山麓に稀に見られるのみ。経ヶ岳、松田町寄、玄倉小菅沢で記録された。

アキノノゲシ Lactuca indica

山麓の路傍に普通。

ヤマニガナ Lactuca raddeana var.elata

山麓から中腹にかけて普通。

ムラサキニガナ Lactuca sororia

シイ・カシ帯の樹林内にやや稀。花序の枝や花柄に腺毛の出るものをケムラサキニガナ VAR.PILIPES といい、この方が多い。変種と区別するほどのものではないと考える。

ヤブタビラコ　Lapsana humilis

山麓の湿った樹林内に普通。

センボンヤリ　Leibnitzia anandria

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地や乾燥した樹林内にやや普通。山塊の東半に多く、西丹沢では稀。

ウスユキソウ　Leontopodium japonicum

ブナ帯の岩場に生える。山塊の中央に多く、大山、三ノ塔、塔ノ岳、鍋割山、丹沢山、蛭ヶ岳、桧洞丸、玄倉川上流などに分布。世附川流域からの報告はない。県内では丹沢と箱根の高所に分布。

マルバダケブキ　Ligularia dentata

ブナ帯の樹林内の草地に普通。

メタカラコウ　Ligularia stenocephala

シイ・カシ帯からブナ帯の湿った所に生える。丹沢では宮ヶ瀬周辺のみに産するが、多くはダム湖に水没した可能性が高い。県内では他に小仏山地に分布する。神植誌 1988 の箱根のメタカラコウの分布点はオタカラコウに訂正されている。

イヌカミツレ　Matricaria inodora

帰化。稀。

オオモミジガサ　Miricacalia makineana

ブナ帯の樹林内にやや稀。尾根上の平らな部分に生える。大山、塔ノ岳から大室山まで見られる。最近は大室山以外ではシカに食べられてしまうためか開花するような株は見あたらない。RDB でも絶滅危惧種とされた。県内の分布は丹沢の高所のみ。

ヤクシソウ　Paraixeris denticulata

シイ・カシ帯からブナ帯下部の荒れ地や林縁に普通。

ナガバノコウヤボウキ　Pertya glabrescens

ブナ帯の樹林内に普通。

カシワバハグマ　Pertya robusta

シイ・カシ帯からブナ帯下部の乾いた樹林内に生える。分布は山麓の東半に偏り、西丹沢からの報告がない。

コウヤボウキ　Pertya scandens

シイ・カシ帯上部までの乾いた樹林内に普通。カシワバハグマと同様に分布は東半に偏り、西丹沢からの報告がない。

フキ Petasites japonicus

全域に普通。

コウゾリナ　Picris hieracioides ssp.japonica

山麓から中腹にかけて普通。

アカイシコウゾリナ Picris hieracioide ssp.japonica var.akaishiensis

ブナ帯のガレ場や河原にやや稀。塩水川、玄倉川流域、中川川モノクボ沢などに分布。未調査であるが、神ノ川源流も分布の可能性がある。県内では丹沢のみに分布。

フクオウソウ Prenanthes acerifolia

ブナ帯の樹林内に普通。茎と総苞に腺毛を欠くものをフクオウニガナ F.NIPPONICA という。県内では丹沢、箱根、小仏の各山地に分布。

シュウブンソウ Rhynochospermum verticillatum

シイ・カシ帯の樹林内に生える。南丹沢山麓と世附にやや稀。

ハナガサギク Rudbeckia laciniata var.hortensis

帰化。山麓に稀。

ミヤコザミ Saussurea maximowiczii

草地に生える。神植誌 1988 では箱根や横浜市緑区で採集されただけで、丹沢からは記録されなかった。南丹沢で採集された標本が数多く残っており、かつては茅場に生育していたことがわかる。

ヒメヒゴタイ Saussurea pulchella

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地に稀。

キントキヒゴタイ Saussurea sawadae

シイ・カシ帯上部からブナ帯下部の草地にやや稀。仏果山の尾根を東北端として、南丹沢の尾根と山麓にやや普通。高松山、大野山を経て、西は不老山～三国山～高指の尾根に分布。県内では丹沢と箱根に分布。

セイタカトウヒレン saussurea tankae

ブナ帯の草地にやや稀。

タンザワヒゴタイ(トゲキクアザミ) Saussurea triptera var.hisauchii

ブナ帯の岩場や草地にやや普通。塔ノ岳、丹沢山、蛭ヶ岳、桧洞丸、大室山にかけての主稜線とその支尾根に多い。西は菰釣山まで分布する。県内では丹沢と箱根金時に産する。

キクアザミ Saussurea ussuriensis

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にややまれ。最近の記録は経ヶ岳、栗ノ木洞、大山、高指山、高松山、松田山など東丹沢から南丹沢に限られるが、神ノ川方面からの古い記録もある。

ハンゴンソウ Senecio cannabifolius

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

コウリンカ Sencio flammeus var.glabrifolius

ブナ帯の草地に稀。

オカオグルマ　Senecio integrifolius var.fauriei

シイ・カシ帯の湿った草地にやや稀。

キオン　Senecio nemorensis

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地や林縁にやや普通。県内では丹沢と箱根に分布。

サワギク　Senecio nikoensis

シイ・カシ帯上部からブナ帯の湿った樹林内に普通。

ノボロギク　Sencio nikonesis

山麓の路傍に普通。

タムラソウ　Serratula coronata ssp.insularis

シイ・カシ帯からブナ帯の草地にやや稀。

コメナモミ　Siegesbeckia glabrescens

シイ・カシ帯からブナ帯下部の荒れ地に普通。

メナモミ　Siegesbeckia pubescens

シイ・カシ帯からブナ帯下部の荒れ地に普通。

セイタカアワダチソウ　Solidago altissima

帰化。山麓に普通。

オオアワダチソウ　Solidago gigantea var.leiophylla

帰化。山麓に稀。

アキノキリンソウ　Solidago virgaurea var.asiatica

シイ・カシ帯の雑木林やブナ帯の草地に普通。

オニノゲシ　Sonchus asper

帰化。山麓の路傍に普通。

ノゲシ　Sonchus oleraceus

山麓の路傍に普通。

ヤブレガサ　Syneilesis palmata

シイ。カシ帯の雑木林に普通。

ハバヤマボクチ　Synurus excelsus

シイ・カシ帯からブナ帯下部の草地にやや稀。神奈川県内ではオヤマボクチよりも標高の低い所に多い。南丹沢山麓、焼山登山道、三国峠から高指山に見られる。

オヤマボクチ　Synurus pungens

シイ・カシ帯上部からブナ帯の草地に普通。山塊全域に見られる。

シオザキソウ　Tagetes minuta

帰化。山麓に稀。

アカミタンポポ　Taraxacum laevigatum

帰化。山麓にやや稀。林道沿いにかなり山奥まで浸入していることもある。

セイヨウタンポポ　Taraxacum officinale

帰化。山麓の路傍に普通。

カントウタンポポ　Taraxacum platycarpum

山麓の路傍に普通。

エゾタンポポ　Taraxacum venustum

ブナ帯のガレ場や草地にやや稀。

オオオナモミ　Xanthium occideatale

帰化。山麓の路傍にやや普通。

オニタビラコ　Yongia japonica

山麓の路傍に普通。

マンネンスギ　Lycopodium obscurum

丹沢、箱根ともに、最近の報告はなく、RDBでも絶滅種とされた。箱根産の標本は残されているが、丹沢産のものは確認できなかった。

ヒモカズラ　Selaginella shakotanensis

近年まったく見出されず、RDB でも絶滅種とされたが、標本は確認出来なかった。

コシダ　Dicranopteris pedata

暖地の植物で神奈川県では三浦半島や真鶴・湯河原には普通に見られる。丹沢産の標本が残されているのか不明。

サトメシダ　Athyrium deltoidofrons

箱根産の標本は残されているが、丹沢産のものは確認されていない。

ミヤマヘビノネゴザ　Athyrium rupestre

高山帯や亜高山帯に分布する種なので、標本を再検討する必要がある。

オオバショリマ　Lastrea quelpaertensis

ブナ帯からシラビソ帯の林縁や沢筋の斜面に生える。RDBでも絶滅種とされた。分布の可能性は高いが、標本が確認できない。

ハチジョウカグマ　Woodwardia prolifera

RBD では消息不明種

ヌリトラノオ　Asplenium normale

県内では三浦半島、逗子市、南足柄市にわずかに現存している。RDB でも絶滅危惧種とされた。

イヌチャセンシダ　Asplnium tripteropus

県内では箱根、湯河原、山北町酒水の滝に現存し、RDBでは減少種とされた。

イワヤナギシダ　Loxogramme salicifolia

沢筋の岩場や樹幹に生える。RDBでも絶滅危惧種とされた。

ヒトツバ　Pyrrosia lingua

クラガリシダ　Drymotaenium miyoshianum

シシラン　Vittaria flexuosa

RDBでも絶滅種とされた。丹沢産の標本が未確認なので消息不明種とした。

ナカミシシラン　Vittaria fudzinoi

丹沢の記録は疑問であるが、奥多摩が北限産地になっている。

イラモミ　Picea bicolor

トウヒ　Picea jezoensis var.hondoensis

クロベ　Thuja standishii

ネズミサシ　Juniperus rigida

分布の可能性はあるが、標本が未確認。

シオツザサ　Sasa pachyphylla

シオツザサ Sasa pachyphylla はタキザワザサ Neosasamorpha takizawano よ同じものとされている。

イワノガリヤス　Calamagrostis langsdorffii

丹沢の記録は疑問。

カリヤス　Miscanthus tinctorius

丹沢の記録は疑問。

ヒゲシバ　Sporobolus japonicus

分布の可能性はあるが、標本は未確認。

ハタガヤ　Bulbostylis barbata

箱根や丘陵地でのみ採集されている。丹沢にも分布しそうであるが、標本は確認できていない。

コタヌキラン　Carex doenitzii

丹沢産の標本見ていない。

ヒナスゲ　Carex grallatoria

分布の可能性はあるが、標本が未確認。

サナギスゲ　Carex grallatoria var.heteroclita

ウマスゲ　Carex iduroei

湿地の植物であり、丹沢の分布は疑わしい。

アズマスゲ　Carex lasiolepis

ミコシガヤ　Carex neurocarpa

相模湖周辺、相模川の低地、川崎などの標高の低い所で採集されており、丹沢や箱根などの山地からの記録はなかった。分布の可能性はあるが、標本は未確認。

ミヤマシラスゲ　Carex confertiflora

箱根や丘陵地の湿地で採集されており、丹沢の稜線で採集される可能性はない。なにかの誤認と考えられる。

カワズスゲ　Carex omiana var.monticola

山地はあげずに名前のみをあげている。調査では神奈川県内からは発見されなかった。湿地の植物でもあり、丹沢の分布は疑わしい。

ヒメスゲ　Carex oxyandra

分布の可能性はあるが、標本が未確認。

コジュズスゲ　Carex parciflora var.macroglossa

丹沢では記録されていない。分布の可能性はあるが、標本が未確認。

ヒロハテンナンショウ　Arisaema robustum

神奈川県は分布範囲からはずれており、分布の可能性はない。

スルガテンナンショウ　Arisaema yamatense var.sugimotoi

分布が離れており、標本の確認が必要である。

イヌイ　Juncus yokoscensis

海岸に近い砂地に生える植物である。丹沢に産するのは疑問。

ミヤマスズメノヒエ　Luzula sudetica var.nipponica

県内の分布は疑問。

ナベワリ　Croomia heterosepala

分布の可能性はあるが、丹沢産の標本は確認されていない。

ギョウジャニンニク　Allium victorialis var.platyphyllum

分布は疑問視されており、標本の確認が必要。

ツバメオモト　Clintonia udensis

オオウバユリ　Cardiocrinum codatum var.glehnii

スズラン　Convalloris keiskei

カタクリ　Erythronium japonicum

周辺の藤野町、相模湖町、津久井町、城山町、厚木市などには産するが、今回の調査地域にはない。

ショウジョウバカマ　Heloniopsis orientalis

ムサシノワスレグサ　Hemerochallis exilis

標本の確認が必要。

タチシオデ　Smilax nipponica

ヤマジノホトトギス　Tricyrtis affinis

ウチワドコロ　Dioscorea nipponica

イワチドリ　Amitostigma keiskei

シュスラン　Goodyera velutina

RDB では丹沢を En と評価しているが、この根拠となった山北町産の標本はベニシュスランとの誤同定と判明した。

ダイサギソウ　Habenaria dentata

RDB でも絶滅種とされた。

アリドオシラン　Myrmechis japonica

RDB でも絶滅種とされた。最近、箱根から再発見されたが、丹沢では今回の調査でも見出せなかった。

ヤマサギソウ　Platanthera mandarinorum

神奈川県レッドデータ生物調査報告書では絶滅種とした。

ムヨウラン　Lecanrchi japonica

標本の確認が必要。

トキソウ　Pogonia joponica

ヤマトキソウとの誤認の可能性がある。

ショウキラン　Yoania japonica

分布的に本種が神奈川県にあると思えない。キバナショウキランとの誤認と思われる。

シライヤナギ　Salix shiraii

RDB では丹沢の分布は疑問としている。

ミヤマハンノキ　Alnus maxumowiczii

丹沢の分布は疑問。

ネコシデ　Betula corylifolia

丹沢の分布は疑問。

ハルトラノオ　Bistorta tenuicaulis

丹沢からは記録されていない。分布の可能性はあるが、標本が確認できない。

ナガバノウナギツカミ　Persicaria hastato-sagittata

湿地の植物であり、丹沢の分布は疑問である。

ホソバイヌタデ　Persicaria trigonocarpa

本種は湿地の植物であり、世附や不老山の記録は標本を確認してから判断したい。

ワダソウ　Pseudostellaria heterophylla

相模湖周辺でも得られている。しかし、丹沢方面で採集された標本はない。丹

沢の主稜線に多いワチガイソウの葉が接近してついたものを誤認したと推定される。

ヒメワダソウ　Pseudostellaria koidzumiana

やはりワチガイソウとの誤認の可能性が高い。

フジナデシコ(ハマナデシコ)　Dianthu japonicus

本種は海岸岩場の植物で丹沢での分布は疑問である。

レイジンソウ Aconitum loczyanum

神奈川県のものはアズマレイジンソウ A.pterocaule と考えられる。丹沢では記録されていない。

ホソバトリカブト　Aconitum senanense

本州中部以北の亜高山帯に産する種類で丹沢にはない。ヤマトリカブトの一型を誤認したものであろう。

キケンショウマ　Cimicifuga acerina var.peltata

ミヤマハンショウヅル　Clematis ochotensis

分布的に丹沢の記録は疑問。

バイカオウレン　Coptis quiunquefolia

丹沢産の標本は見出されていない。

ノカラマツ　Thalictrum simplex var.brevipes

丹沢では採集された標本は残されていない。神奈川県では横浜で採集された古い標本は残されているが、最近の記録がなく、RDB でも絶滅種とされた。

オオバクロモジ　Lidera membranacea

分布的に見てクロモジの誤認であろう。

ヤマキケマン　Corydalis ophiocarpa

コンロンソウ　Cardamine leucantha

レッドデータ生物報告書で丹沢で(V)と評価しているが、この標本はヒロハコンロンソウの誤りであった。

ハナハタザオ　Dontostemon dentatus

神奈川県では平塚や茅ヶ崎で採集された標本は残されているが、丹沢産の標本はない。神奈川県では最近の記録がなく、RDB でも絶滅種とされた。丹沢産の標本は確認されていない。

メノマンネングサ　Sedum japonicum

丹沢産の標本は未確認。

トリアシショウマ　Astibe thunbergii var.congesta

コガクウツギ　Hydrangea luteovenosa

ジンジソウ　Saxifraga cortusaefolia

ダイモンジソウの誤認であろう。

ズダヤクシュ Tiarella polyphylla

ザイフリボク Amelanchier asiatica

分布の可能性はあるが、標本が見出せない。

ナガバモミジイチゴ Rubus palmatus

本種の分布は中部地方以西であり、丹沢の分布は疑問である。

コバノフユイチゴ Rubus pectinellus

分布の可能性はあるが、標本が見出せない。

イワシモツケ Spiraea nipponica

標本を確認する必要がある。

オオバヌスビトハギ DEsmodium laxum

本州(千葉県以西)~九州に分布する。暖地の植物であり、丹沢の分布は難しいと思われる。

クサフジ Vicia cracca

県内から 1 か所しか記録されなかった。過去の神奈川県のクサフジの記録については標本を再確認する必要がある。

ミツバフウロ Geranium wifordii

丹沢の分布の可能性はあるが、標本を確認していないので消息不明種とした。

オオヤマカタバミ Oxalis obtriangulata

東京大学、国立科学博物館塔ノ岳に標本はなく、その分布域から考えて誤認の可能性もある。

ケケンポナシ Hovenia tomentella

県内のケケンポナシの分布を今後の検討課題としている。

ヨコグラブドウ Vitis saccharifera var.yokogurana

丹沢の自然分布は疑問である。

ナツツバキ Stewartia pseudo-camellia

ヒメオトギリ Sarothra japonica

低湿地の植物で丹沢の記録は疑問である。

シャク Anthriscus sylvestris

丹沢の分布の可能性はあるが、標本を確認していない。

イワミツバ Aegopodium podagraria

ヨーロッパ原産の帰化植物。標本を確認していないので消息不明とした。

ゴゼンタチバナ Cornus canadensis

種の分布域から考えて丹沢の分布は疑問である。

コイワカガミ Schizocodon soldanelloides f.alpinus

アカバヒメイワカガミの誤認であろう。

ヤマイワカガミ　Schizocodon incifolius var intercendens

アカバナヒメイワカガミの誤認であろう。

ベニバナイチヤクソウ　Pyrola incarnata

目立つ植物なので誤認するとは思えないが、標本を確認できないので消息不明種としておく。

アブラツツジ　Enkianthus subsessilis

丹沢の分布は疑わしい。

ハナヒリノキ　eucothoe grayana

やや大型のものをハナヒリノキとしたものと思われるが、

キヨスミミツバツツジ　Rhododendron kiyosumense

丹沢産の標本はまだ確認されていない。

ウスノキ　Vaccinium hirtum

神奈川県産の標本は確認できない。また、Thunberg の記載は箱根の標本に基づくとされている

ナツハゼ　Vaccinium oldhamii

丹沢の分布の可能性はあるが、標本が確認されていないので消息不明種とした。

クロウスゴ　Vaccinium ovalifolium

分布的に丹沢の記録は疑わしい。

ノジトラノオ　Lysimachia barystachys

分布の可能性はあるが、丹沢産の標本は確認されていない。

ミヤマコナスビ　Lysimachia tanakae

標本を再確認する必要がある。

クサレダマ　Lysimachia vulgaris var.davurica

湿地の植物であるが、谷筋の湿った所に生育する可能性はある。丹沢産の標本が確認できないので消息不明種とした。

コハクウンボク　Styrax shiraianus

標本は国立科学博物館にあるというが、確認はしていない。最近の調査では発見されていない。RDB でも絶滅種したが、標本を確認していないので、今回の報告では消息不明種とした。

オヤマリンドウ　Gentiana makinoi

分布的に丹沢の記録は疑わしい。

クサタチバナ　Cyananchum ascyrifolium

最近の県内の報告はなく、レッドデータ調査報告書でも絶滅種とされた。標本

の確認ができない。

コイケマ Cynanchum wilfordii

タンザワイケマとの誤認の可能性が高い。

コカモメヅル Tylophora floribunda

神奈川県には花序が比較的発達するオオカモメヅル(ナガエオオカモメヅルと仮称)が多いので、これを誤認している可能性が高く、標本で確認ができないかぎり、分布を認めがたいとしている。

ツルカメバソウ Trigonotis icumae

県内の分布は疑わしい。

ツルカコソウ Ajuga shikokotanesis

RDB でも絶滅危惧種とされた。過去の分布の可能性は高いが、標本が確認できない。

クロバナヒキオコシ Isodon trichocarpus

標本の再確認が必要である。

ヤマジオウ Lamium humile

分布の可能性はあるが、標本を確認したい。

ミゾコウジュ Salvia plebeia

県内では低湿地で見られる。湿地の植物でもあり、大山やヤビツ峠などの分布は誤認の可能性が高い。

トウゴクシソバタツナミ Scutellaria abbreviata

コバノタツナミの誤認と考える。

シソバタツナミソウ Scutellaria laeteviolacea

コバノタツナミの誤認と考える。

オニク Boschniakia rossica

ミヤマハンノキに寄生するが、箱根からミヤマハンノキの報告はない。神奈川県のミヤマハンノキの分布も確かな標本がなく疑問視されている。

ママコナ Melmpyrum roseum var.japonicum

RDB でも絶滅種とされた。過去に分布していた可能性はあるが、標本が確認できない。

ゴマノハグサ Scrophularia buergeriana

分布の可能性はるが、標本を確認していない。

サツヒナノウスツボ Scrophularia musahiensis

分布の可能性はあるが、標本が確認されていない。

スズムシバナ Strobilanthes oligantha

丹沢の記録は疑問。

トウオオバコ　Plantago japonica
　標本の確認が必要。
コツクバネウツギ　Abelia serrata
　分布的に見て丹沢の記録は疑問。
ミヤマウグイスカグラ　Lonicera gracilipes var.gladulosa
　標本の確認が必要。
ミヤマニワトコ　Sanbucus microsperma
　日本海側のもので丹沢の記録は疑問。
ミヤマシグレ　Viburnum urceolatum vara.proumbens
　標本の確認が必要。
サワギキョウ　Lobelia sessilifolia
　県内には箱根仙石原にあるが、湿地の植物であり、丹沢の分布は難しい。
バアソブ　Codonpsis ussuriensis
　県内に稀に産するが、丹沢産の標本は確認できていない。
テイショウソウ　Ainsuliaea cordifolia
　丹沢の分布は疑わしい。
オオヨモギ　Anitemisia montana
　日本海側の多雪地に多い種類で、丹沢の記録は疑問。
ゴマナ　Aster glehni ssp.hondoensis
　本種は神奈川県にないと思われる。おそらく、シロヨメナ類のどれかと誤認したものと考える。
サワシロギク　Aster rugulosus
　県内では箱根や多摩丘陵で採集されているが、丹沢産の標本は確認していない。
ヨブスマソウ　Cacalia hastata ssp.orientalis
　本種は関東北部から北に産するもので神奈川県の記録は誤認と考えられる。
イズハハコ(ワタナ)　Conyza japonica
　分布の可能性は高いが、丹沢産の標本が未確認。
ミヤマヨメナ Gymnaster savatieri
　植えられたものを記録した可能性がある。
オタカラコウ　Ligularia fischerii
　箱根に現存するが、丹沢の報告はない。
ハンカイソウ　Ligularia japonica
　神奈川県の分布は疑問である。
ヤマボクチ　Synurus palmatopinnatifidus var.indivisus

愛知県以西に分布する種類で丹沢の記録は疑問。

3.2.2.蘚綱 Musci(Byyopsida)

3.2.2.1.キセルゴケ科 *Buxbaumiaceae*

イクビゴケ Diphyacium fulvifolium

3.2.3.スギゴケ科 Polytrichaceae

ナミガタタチゴケ Atrichum undulatum

ウマスゴケ Polytrichum commune

オオスギゴケ Polytrichum formosm

コスゴイゴケ Pogonatum inflexum

チャボスギゴケ Pogonatum inflexum

コセイタカスギゴケ Pogonatum contortum

ハズミゴケ Pogonatum spinulosum

3.2.3.1.ホウオウゴケ科 *Fissidentaceae*

サツマホウオウゴケ Fissidens hyalinus

ジングウホウオウゴケ Fissidens obsculius

キュウシュウホウオウゴケ Fissidens closteri subsp.kiushuennisi

トサカホウオウゴケ Fissidens cristatus

キャラボクゴケ Fissidens taxifolius

コホウオウゴケ Fissidens adelhinus

ヒメホウオウゴケ Fissidens gymnogynus

ナガサキホウオウゴケ Fissidens geminiglorus

3.2.3.2.キンシゴケ科 *Ditrichaceae*

ヤノウエノアカゴケ Ceratodon purpureus

キンシゴケ Ditrichum pallidum

3.2.3.3.エビゴケ科 *Bryoxophiaceae*

エビゴケ Bryoxipyium norvegicum

3.2.3.4.シッポゴケ科 *Dicranaceae*

ユミダイゴケ Trematodon longicollis

ススキゴケ Dicranella heteromalla

フデゴケ Campylopus rihardii

ユミゴケ Dicranodontium denudatum

シシゴケ Brothera leana

チヂミバコブゴケ Oncophorus' crispifolius

ヤマトマイマイゴケ Hoiomitrium japonicum

カモジゴケ Dicranum scoparium

シッポゴケ　Dicranum japonicum

3.2.3.5. シラガゴケ科　Leucobyaceae

オソバオキナゴケ　Leucobryum neilherrense

オオシラガゴケ　Leucobryum scabrum

3.2.3.6. センボンゴケ科　Pottiaceae

ネジラッキョウゴケ　Anoectangium aestivum

ツチノウエノタマゴケ　Astomnm crispum

ツチノウエノコゴケ　Weissia controversa

ハマキゴケ　Hyophila propgulifera

ネジクチゴケ　Barbula unguiculata

3.2.3.7. ギボウシゴケ科　Grimmiaeae

スナゴケ　Rhacomitrium canescens

ナガエノスナゴケ　Rhacomitrium anmodontoides

ハチヂジゴケ　Ptychomitriu dentatum

イノウエノヒダゴケ　Pyychomitrium linearifolium

3.2.3.8. ヒナノハイゴケ科　Erpodiaceae

サヤゴケ　Glyphomitrium humilimum

ヒノハイゴケ　Venturiella sinensis

3.2.3.9. ヒョウタンゴケ科　Funariaceae

ヒョウタンゴケ　Funaria hygrometrica

ヒロクチゴケ　Physcomitrium eurystomum

3.2.3.10. カサゴケ科　Bryaceae

ホウソリゴケ　Brachymenium exile

ヒメギンゴケモドキ　Anomobryum filforme

ハリガネゴケ　Bryum capillare

ギンゴケ　Bryum argenteum

オオサカゴケ　Rhodobryum giganteum

サカゴケモドキ　Rhodobryum antariense

3.2.3.11. チョウチンゴケ科　Mniaceae

ナメリチョウチンゴケ　Mnium Laevinerve

コバノチョウチンゴケ　Trachycystis microphylla

ツルチョウチンゴケ　Plagiomnium maximovicaii

オオバチョウチンゴケ　Plagiomnium vesicatum

コツボゴケ　Plagiomnium trichomanes

ケチョウチンゴケ　Rhizomnium tuomikoskii

3.2.3.12. ヒノキゴケ科　Rhizogoniaceae

ヒノキゴケ　Rhizogonium dozyanumLac

3.2.3.13. タマゴケ科　Bartramiaceae

タマゴケ　Bartramia pomifromi

サワゴケ　Philonotis fontana

コツクシサワゴケ　Philonotis socia

3.2.3.14. タチヒダゴケ科　Oythotrichceae

コダマゴケ　Orthotrichum consobrinum

カラフトキンモウゴケ　Ulota crispa

ミノゴケ　Macromitrium japonicum

3.2.3.15. コウヤノマンネングサ科　Climaciaceae

コウヤノマンネングサ　Climaciun japonicum

フジノマンネングサ　Pleuroziopsis ruthenica

3.2.3.16. イタチゴケ科　Leucodontaceae

イボヤマトイタチゴケ　Leucodon noguchii

3.2.3.17. ヒムロゴケ科　Pterobryaseae

ヒムロゴケ　Pterobryum arbuscula

ハイヒモゴケ　Miteoriaceae

キヨスミイトゴケ　Barbella asperifolia

3.2.3.18. ヒラゴケ科　Neckeraceae

ヤマトヒラゴケ　Homalia japonika

3.2.3.19. トオノゴケ科　Embophyllaceae

トラノオゴケ　Dolichomitra cymbifolia

コクサゴケ　Dolichomitriopsis diveraiformis

3.2.3.20. アブラゴケ科　Hookerianeae

アブラゴケ　Hookeria acutifolia

3.2.3.21. クジャクゴケ科　Hypopterrygiaceae

ヒメクジャクゴケ　Hypopterygium iaponicum

3.2.3.22. ウスゴロゴケ科　Leskeaceae

オカムラゴケ　Okammuraea Hakoniensis

3.2.3.23. シノブゴケ科　Thuidiaceae

イワイトゴケ　Hoplohymenium triste

オオギボウシゴケモドキ　Anomodon giraldii

ラセンゴケ　Herpetineuron toccae

ノミハニワゴケ　Haploadium angustifolium

チャボスズゴケ　Boulaya mittenii

トヤマシノブゴケ　Thuidium kanedae

3.2.3.24. ヤナギゴケ科　Anbystegiaseae

ミズシダゴケ　Cratoneuron filicinum

3.2.3.25. アオギヌゴケ科　Brachytheciaceae

ネズミノオゴケ　Myuroclada maximoviczii

ハネヒツジゴケ　Bravhythecium plumosum

ハラハヒツジゴケ　Brachythecium brotheri

コカヤゴケ　Rhynchostegium pallidifolium

3.2.3.26. ツヤゴケ科　Entodontaceae

ツクシツヤゴケ　Entodon macropdus

ヒロハツヤゴケ　Entodon challengeri

オオミヤツゴケ　Entodon conchophyllus

エダツヤゴケ　Entodon ubicundus

3.2.3.27. サナダゴケ科　Plagiotheciaceae

オオサナダゴケモドキ　Plagiothecium euryphyllum

キャラハゴケ　Taxiphyllum taxirumeum

サナダゴケ　Taxiphyllum aomoriense

アカイチゴケ　Isopterygium pohliaecarpum

3.2.3.28. ハシボソゴケ科　Sematophyllaceae

コモチイトゴケ　Clastobryella kusatsuensis

カガミゴケ　Brotherella henonii

3.2.3.29. ハイゴケ科　Hypnaceae

ハイゴケ　Hypnum pkumaeforme

イトハイゴケ　Hypnum tristo virde

3.2.4. 苔綱　Hepaticae(Hepaticopsida)

3.2.4.1. ムクムクゴケ科　Thichocleaceae

イヌムクムクゴケ　Trichocoleopsis sacculata

3.2.4.2. ムチゴケ科　Lepidoziaceae

スギバゴケ　Lepidozia uitrea

ヤマトムチゴケ　Bazzania japonica

3.2.4.3. ツキヌキゴケ科　Calypogeiaceae

ツクシホラゴケモドキ　Calpogeia tsukushiensis

3.2.4.4. ツボミゴケ科　Hungermanniaceae

アカウロコゴケ　Nardia sieboldii

オオホウキゴケ　Jungermannia infusca

3.2.4.5. ウロコゴケ科　Lophocoleaceae

トサカゴケ　Lophocolea therophylla

フジウロコゴケ　Chiloscyphus polyanthos

オオウロコゴケ　Hetroscyphus argtus

3.2.4.6. ハネゴケ科　Plagiochilaceae

マルバハネゴケ　Plagiochila ovalifolia

コハネゴケ　Plagiochila acanthophylla subsp.japonica

タカネハネゴケ　Plagiochila semidecurens

3.2.4.7. ヤバネゴケ科　Cephaloziaceae

オタルヤバネゴケ　Cephalozia otaruensis

カタヤバネゴケ　Cephalozia nipponica

クチキゴケ　Odeontoschisma denudatum

3.2.4.8. クラマゴケモドキ科　Porellaceae

クラマゴケモドキ　Porella perrottetiana

ニスビキカヤゴケ　Porella vernicsa

チヂミカヤゴケ　Macvicaria ulophylla

3.2.4.9. ヤスデゴケ科　Frullanianeae

カラヤスデゴケ　Frullnia muscicola

クロヤスデゴケ　Frullania amplicrania

タカユヤスデゴケ　Frullnia oakesiana

シダレヤスデゴケ　Frullanaia tamarisci

3.2.4.10. クサリゴケ科　Lejeuneaceae

フルノコゴケ　Trocholejeunea sandvicensis

ヤマトコミミゴケ　Lejeunea japonaica

ウスバゼニゴケ　Blasiaceae

ウスバゼニゴケ　Blasia pusilla

3.2.4.11. ミズゼニゴケ科　Dilenaceae

マキノゴケ　Makinoa crispata

ホソバミズゼニゴケ　Pellia endvifolia

クモノスゴケ　Pallavicinia longispina

エゾヤハズゴケ　Moerckia erimona

3.2.4.12. フタマタゴケ科　Metzgeriaceae

ヤマトフタマタゴケ　Metzgeria conjugata subsp.japonica

カギフタマタゴケ　Metzgeria hamata

3.2.4.13. ジンガサゴケ科　Grimaldiaceae

ジンガサゴケ　Reboulia hemisphaerica

3.2.4.14. ジャゴケ科　Conocephlaceae

ジャゴケ　Conocephalum conicm

ヒメジャゴケ　Conocephalum supradecompositum

アズマゴケ　Wiesnerella denudata

3.2.4.15. ゼニゴケ科　Marchantiaceae

ゼニゴケ　Marchantia polymorpha

トサノゼニゴケ　Marchantia emarginata tosano

フタバネゼニゴケ　Marchantia subsp.diptera

ケゼニゴケ　Dumoritieru hirsuta

3.2.4.16. ミカヅキゼニギケ科　Lunuilaceae

ミカヅキゼニギケ　Lunularia cruciata

3.2.4.17. ウキゴケ科　Ricciaceae

イチョウウキゴケ　Ricciocarpus natans

ハタケゴケ　Riccia glauca

ウキゴケ　Riccia fluitans

3.2.5. ツノゴケ綱　Anthocerotae(Anthocerotopsida)

3.2.5.1. ツノゴケ科　Anthocerotaceae

ニワツノゴケ　Phaeoceros laevis corolinius

ナガサキツノゴケ　Anthoceros punctatus

ツノゴケモドキ　Notothylasa joponica

3.2.6.地衣類

3.2.6.1.子のう菌類　Ascomycetes(子のう地衣類　Ascolichens)

3.2.6.1.1. レカノラ目　Lecanorales

3.2.6.1.1.1.テロスキステス科　Teloschistaceae

ダイダイゴケ　Coloplaca aurantiaca

3.2.6.1.1.2.ムカデゴケ科　Physciaceae

ヒメゲジゲジゴケ Anaptychia palmulata

トゲヒメゲジゲジゴケ　A.isidiza

キウラゲジゲジゴクモドキ　A.dendrititica

オオゲジゲジゴケ　A.diademata

チヂレゲジゲジゴケ　A.dissecta

ウラジロゲジゲジゴケ　A.hypoleuca

ヒメゲジゲジゴケ　A.palmulata

ヤマゲジゲジゴケ　A.pseudospeciosa
チジレウラジロゲヂゲヂゴケ　A.microphylla
アカハラムカデゴケ　Physcia endococina
コフキヂリナリア　Dirinaria applanata

3.2.6.1.1.3.サルオガセ科　**Uneaceae**

カラタチゴケ　Ramalina calicaris var. japonica
イワカラタチゴケ　R.yasudae
ヨコワサルオガセ　Usnea diffracta
トゲサルオガセ　U.aciculifera
コフクレサルオガセ　U.bismolliuscula
ヤマヒコノリ　Evernia esorediosa
バンダイキノリ　Alectoria sulcata

3.2.6.1.1.4.ウメノキゴケ科　**Parmeliaceae**

ヒメリボンゴケ　Hypogymnia vittata
センシゴケ　Menegazzia terebrata
キクバゴケ　Parmelia conspersa
メキシコキクバゴケ　P.mexicana
キウメノキゴケ　P.caperata
トゲハクテンゴケ　P.rudecta
ハクテンゴケケ　P.borreri
カラクサゴケ　P.squarrosa
コウマクカラクサゴケ　P.adavgescens
ナメラカラクサゴケ　P.fertilis
シナノウメノキゴケ　P.shinanoana
ヒモウメノキゴケ　P.laevior
ウチキウメノキゴケ　P.homogenes
ニセウチキウメノキゴケ　P.subaurulenta
コナウチキウメノキゴケ　P.aurulenta
マツゲゴケ　P.clavulifera
ヤママツゲゴケ　P.perlata
トゲウメノキゴケ　P.dissecta
オオマツゲゴケ　P.reticulata
ウメノキゴケ　P.tinctorum
ナミガタウメノキゴケ　P.austrosinensis
ウチキアワビゴケ　Cetraria ornata

アワビゴケ C.asahinae
トコブシゴケ Cetrelia nuda
チヂレトコブシゴケ C.japonica

3.2.6.1.1.5.ロウソクゴケ科 Candelariaceae

ロウソクゴケ Candelaria concolor
ロウソクゴケモドキ Candelariella vitellina

3.2.6.1.1.6.チャシブゴケ科 Lecanoraceae

クロイボゴケ Lecanora atra
チャシブゴケ L.allophana
モエギイボゴケ L.yasudae

3.2.6.1.1.7.トリハダゴケ科 Pertusariaceae

イワニクイボゴケ Ochrolechia parellula
モエギトリハダゴケ Pertusaria flavicans

3.2.6.1.1.8.ハナゴケ科 Cladoniaceae

ハナゴケ Cladonia rangiferina
マタゴケ C.furcata
ショクダイゴケ C.crispata
ウロコハナゴケ C.squamosa
マキバハナゴケ C.polycarpoides
アカミゴケ C.pleurota
ヤグラゴケ C.krempelhuberi var. subevoluta
ヒメヤグラゴケ C.calycantha
ジョウゴゴケ C.chlorophaea
ヒメジョウゴゴケ C.conistea
ヒメレンゲゴケ C.pityrea
コアカミゴケ C.floerkeana
ヘラゴケ Glossodium japonicum

3.2.6.1.1.9.センニンゴケ科 Baeomycetaceae

センニンゴケ Baeomyces fungoides
ヒロハセンニンゴケ B.placophyllus

3.2.6.1.1.10.キゴケ科 streocaulaceae

キゴケ Stereocaulon exutum
ヤマトキゴケ S.japonicum

3.2.6.1.1.11.ヘリトリゴケ科 Lecideaceae

ヘリトリゴケ Lecidea albocaerulescens

オオコゲボシゴケ　Megalospora tuberculosa
クロアカゴケ　Mycoblastus japonicus

3.2.6.1.1.12.ヨロイゴケ科　Stictaceae

ナメラカブトゴケ　Lobaria orientalis
ヘラガタカブトゴケ　L.spathulata
チヂレカブトゴケ　L.isidiophora
カブトゴケモドキ　L.kurokawae
エビラゴケ　L.discolor
テリハヨロイゴケ　Sticta nylanderiana

3.2.6.1.1.13.ツメゴケ科　Peltigeraceae

ヒロハツメゴケ　Peltigera leucophlebia
モミジツメゴケ　P.polydactyla
ナガネツメゴケ　P.dolichorrhiza
ナメラウラミゴケ　Neohroma bellum

3.2.6.1.1.14.カワラゴケ科　Coccocarpiaceae

コナカワラゴケ

3.2.6.1.1.15.イワノリ科　Collemataceae

コバノアオキノリ　Leptogium molucanum var. myriophyllinum
ヤマトカワホリゴケ　Collema japonicum

3.2.6.1.1.16.モジゴケ科　Graphidaceae

セスジモジゴケ　Graphis proserpens
ミチノクモジゴケ　G.rikuzensis

3.2.6.1.1.17.サネゴケ科　Pyrenulaceae

アオゾメサネゴケ　Pyrenula japonica

3.2.6.1.2.スフェリア目(球菌目)　Sphaeriales

3.2.6.1.2.1.アナイボゴケ科　Verrucariaceae

イワウロコゴケ　Endocarpon pusillu

3.2.6.1.3.不完全菌類　Fungi Imperfecti

レプラゴケ　Lepraria sp.